

Panasonic®

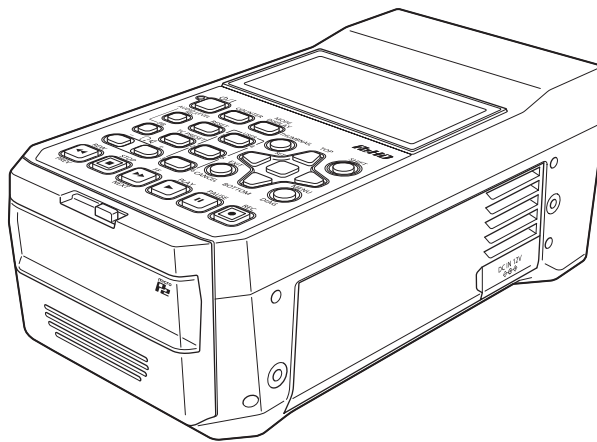
取扱説明書

メモリーカード ポータブルレコーダー

品番 **AJ-PG50**

P2HD

micro
P2



HDMI



AVCULTRA

AVCINTRA

AVCLONGG

DVCPROHD

DVCPRO50

DVCPRO

DV

このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」(5～8 ページ)を必ずお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

JAPANESE

VQT5L33A-7

- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI, High-Definition Multimedia Interface, およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- QuickTimeおよびQuickTimeロゴはライセンスに基づいて使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。
- Apple, Mac, Mac OS, MacBook, iPhone, iPod touch, iPad, QuickTime, Safari は、米国Apple Inc. の米国および他の国で登録された商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本書内のイラストについて

- レコーダー本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを(→「***」*ページ)のように示しています。

用語について

- SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、およびSDXCメモリーカードのいずれも「SDメモリーカード」と記載しています。
- 「P2」ロゴがついたメモリーカード(別売のAJ-P2E064FG など)を「P2メモリーカード」と記載しています。
- 「microP2」ロゴがついたメモリーカード(別売のAJ-P2M032AG など)を「microP2メモリーカード」と記載しています。
- 「P2メモリーカード」および「microP2メモリーカード」を、「P2カード」と記載しています。
また、「P2メモリーカードスロット」および、「microP2メモリーカードスロット」を、「P2カードスロット」と記載しています。
- システム周波数を、23.98 Hz、24 Hzで記録することを「ネイティブ記録」と記載しています。
- 本書では、下記OS(オペレーティングシステム)を、「Windows 7」と記載しています。
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
- 本書では、下記OS(オペレーティングシステム)を、「Windows 8」と記載しています。
- Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版
- USBに接続される外部ハードディスクドライブ(HDD)などのメディアを「ストレージデバイス」と記載しています。
- 1回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。
- 本機パネルのオレンジ色の文字のボタン名は[SHIFT] ボタンを押しながらそのボタンを押したときの名称です。操作説明上は「SHIFTを押しながら」とは記載せずにボタン名のみを記載しています。

本製品のプロキシ記録について

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスをうけた提供者から入手されたAVC ビデオを再生する場合
詳細については米国法人MPEG LA, LLC(<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

WebサイトURLについて

- 日本語 https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav
- 英語 <https://pro-av.panasonic.net/>

著作権について

- あなたが録画や録音した内容は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

この装置は、クラスB情報技術装置です。

この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

目次

安全上のご注意	5	テキストメモやショットマークを付加する	46
使用上のご注意	9	クリップをコピーする	47
本機について	9	クリップを削除する	48
ACアダプターについて	10	クリップを修復・連結する	48
バッテリーについて	10	クリップの情報を表示・修正する	49
使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先	10	サムネールを変更する	50
使用済み充電式電池の取り扱いについて	10	クリップ記録時にメタデータを付加する	51
バッテリーの特性について	11	P2カード/SDメモリーカードを フォーマットする	53
使い終わったら、必ずバッテリーを 外してください	11	カードの状態を確認する	53
バッテリーの端子部を保護してください	11	CPSの手動認証 / 自動認証	54
ご使用前に	11	USB HOST 端子で外部機器と接続する	56
ご使用地域への設定(フレーム周波数等の設定)	11	本機をネットワークに接続して利用する	64
必ず年月日・時刻、タイムゾーンの確認・設定を 行いましょう	11	ネットワーク接続について	64
本機で使えるメディアについて	11	接続のための準備	65
ドライバーのインストールについて	12	ネットワーク設定	66
付属品	12	ネットワーク機能	71
別売品	12	FTPクライアント機能を利用する	73
各部の名称と機能	13	FTPサーバー上のクリップのサムネール表示 (FTPサムネール画面)	74
操作部	13	FTPサーバー上のクリップを削除する	75
スロットおよび入出力他	15	FTPサーバー上のクリップの情報を表示する	75
入出力端子および電源部	17	クリップを転送する	75
準備	19	SDメモリーカードのデータを転送する	77
電源の供給	19	レックデュアリングアップロード機能	78
バッテリーの充電	19	USBデバイスモード	81
バッテリーを使う	21	P2プレイリスト編集モード	82
取り付け	21	画面の表示	83
取り外し	21	OSD表示	83
ACアダプターを使う	22	デッキ情報(ダイアグ)表示	85
取り付け	22	ウェブフォームモニター(WFM)表示	85
取り外し	22	タイムコード・ユーザズビット・CTL	86
電源の入れ方・切り方	23	タイムコード	86
電源をONにする	23	ユーザズビット	86
電源をOFFにする	23	CTL	86
動作中の自動電源オフについて	23	タイムコード/ユーザズビットの設定	86
年月日・時刻を合わせる	24	設定メニュー	88
P2カードについて	25	メニューの操作	88
P2カードアクセスランプとP2カードの 状態について	25	メニュー構成	89
P2カードの記録時間について	25	メニュー一覧	91
記録データの取り扱いについて	27	CLIP	91
SD/SDHC/SDXCメモリーカードの ご使用について	28	REC/PB	96
各種モードについて	29	I/F SETUP	102
メインモード	30	FILE	111
録再画面	30	SYSTEM	114
クリップを記録する	30	入力/出力対応フォーマット一覧	116
ストリーミング機能	33	キーボードの利用	117
クリップを再生する	36	フルキーボード	117
サムネール画面	39	テンキーボード	117
サムネール画面を表示する	39	USBキーボード	117
サムネール画面の各部の名称とはたらき	40	末永くお使いいただくために	118
サムネール画面の表示の変更	43	お手入れについて	118
クリップの再生	44	結露	118
クリップの選択と解除	46	保管上のお願い	118
		ワーニングシステム	119
		ワーニング内容一覧	119




エラーコード	120
本機搭載ファームウェアのアップデート	127
保証とアフターサービス (よくお読みください)	128
定格	129
さくいん	133

安全上のご注意








必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。




■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

    	してはいけない内容です。
 	実行しなければならない内容です。

危険

バッテリーは…	
	<ul style="list-style-type: none">■ 指定以外のものを使わない■ 端子部(+-)に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない■ バッテリーを分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、過熱、火中投入などをしない■ 電子レンジやオーブンなどで加熱しない■ 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない (液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。) ⇒ 使用しないときは、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。 ⇒ 不要(寿命)になったバッテリーについては10 ページをご参照ください。 ⇒ 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。 ⇒ 液が身体や衣服に付いたときは、水ですぐ洗い流してください。 ⇒ 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none">■ バッテリーは、専用のバッテリーチャージャーで充電する (指定以外のバッテリーチャージャーで充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。)
バッテリーチャージャーは…	
	<ul style="list-style-type: none">■ 本機専用のバッテリー以外の充電には使わない (液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。)



警告

バッテリーは…

異常、故障時には直ちに使用を中止する



- 異常があったときは、直ちにバッテリーを外す
[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]
(そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。)
⇒ ACアダプターで使っている場合は、ACアダプターを外してください。
⇒ 販売店に相談してください。

ACアダプター、バッテリーチャージャーは…

異常、故障時には直ちに使用を中止する



電源
プラグを
抜く

- 異常があったときは、ACアダプターの電源プラグを抜く
[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]
(そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。)
⇒ ACアダプターを電源コンセントの近くに設置し、プラグに簡単に手が届くようにしてください。本機を電源から完全に遮断するには、電源コンセントからプラグを抜く必要があります。
⇒ お買い上げの販売店に相談してください。



- ACコードが破損するようなことはしない
[傷つける、加工する、高音部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど]
(ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。)
⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に相談してください。
- コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流100 V～240 V以外での使用はしない
(たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。)
- 水などの液体をかけたりぬらしたりしない
(ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。)
⇒ 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。
- 専用のACアダプター以外は使用しない
(定格外のACアダプターを使用すると、火災の原因になります。)

本機は…

異常、故障時には直ちに使用を中止する



電源
プラグを
抜く

- 異常があったときは、電源プラグを抜く
[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]
(そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。)
⇒ 本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。
⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。



警告(つづき)




	<p>■ 電源プラグは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。</p>
	<p>■ 電源プラグのほこりなどは、定期的にとる (プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。) ⇒ 半年に一度はプラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。</p>
	<p>■ 外部DC電源を使用するときは、電源電圧、およびDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続する (誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると火災や故障の原因になります。) ⇒ 詳しくは18 ページを参照してください。 (DC電源は本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)</p>
	<p>■ 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。</p>
	<p>■ 不安定な場所に置かない (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)</p>
	<p>■ 電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない (本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど※の原因になります。) 長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。 ※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。</p>
	<p>■ 分解や改造をしない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ 指定のカバー以外は外さない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない (感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 水場で使用しない (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない (感電の原因になります。)</p>

付属品、別売品は…

	<p>■ 付属品は指定の製品を使用する (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)</p>
	<p>■ SD / SDHC / SDXCメモリーカード(別売品)、microP2メモリーカード(別売品)は、乳幼児の手の届く所に置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>

注意

本機やACアダプターは…

	■ 本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)
	■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。) (本機を絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。)
	■ 油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない (火災や感電の原因になります。)
	■ 電源プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。) ⇒ 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。
	■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない (落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。) (重さで外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)
	■ コードを下にたらしたり、接続したコードを通路で引き回したりしない (足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、けがの原因になります。)
	■ ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない (ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)
	■ 病院内や飛行機内では、病院や航空会社の指示に従う (本機が出す電磁波などが、計器類に影響を及ぼすおそれがあります。)
	■ 1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談をする (本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になります。)
 電源 プラグを 抜く	■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーを外し、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)

■ 本機で使えるバッテリーについて(2019年4月現在)

本機で使用できるパナソニック製バッテリーはAG-VBR59(付属品)およびAG-VBR89 / AG-VBR118 / VW-VBD55 / VW-VBD58です。

パナソニック純正バッテリー(充電式電池)ご使用のおすすめ

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、当社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。

なお、当社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 本製品(付属品を含む)に表示の記号は以下を示しています。(本機では表示されていないシンボルもあります。)

- I 電源ON
- ⏻ スタンバイ(OFF)
- ~ AC(交流)
- == DC(直流)
- ⏚ クラスII 機器(二重絶縁構造)

使用上のご注意

本機について

■ 録画内容の補償はできません

- 本機およびP2カードの使用上、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

■ 雨天、降雪中、海岸などで使うときは、本機に水が入らないようお気をつけください。

- 本機やカードの故障につながります。(修理できなくなることがあります)

■ 本機を直射日光にさらされた場所に置かないでください。

- キャビネットの劣化や、液晶画面の損傷のおそれがあります。

■ 磁気を発生する機器(テレビ、テレビゲームなど)から本機を遠ざけてください。

- テレビの上やその周辺で本機を使用すると、電磁波の放射により画像や音声にひずみが生じることがあります。
- スピーカーや大型モーターが発生する強力な磁場は、録画内容を破損したり、画像をゆがめたりすることがあります。
- マイクロコンピュータから放出される電磁波は、本機に悪影響を及ぼし画像や音声にひずみを生じさせることがあります。
- 磁気を発生する機器により本機が悪影響を受け、正確に動作しなくなった場合は、本機の電源を切り、ACコードをコンセントから抜きます。そしてもう一度ACコードを接続します。その後本機の電源を入れます。

■ 本機をラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用しないでください。

- ラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用すると、記録した画像や音に悪影響が出るおそれがあります。

■ 海岸や野外などで使用する場合、砂やほこりが本機に入らないようお気をつけください。

- 砂やほこりで本機やカードが破損することがあります。(カードを出し入れするときには、お気をつけください)

■ 本機を持ち運ぶとき、落とさないようにお気をつけください。

- 強い衝撃で本機本体が破損し、正しく動作しなくなることがあります。

■ 本機に殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。

- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、本機本体が変形したり、塗装がはげたりするおそれがあります。
- 本機は、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

■ メモリーカードやストレージデバイスを破棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパーソナルコンピュータの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカードやストレージデバイス内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカードやストレージデバイス本体を物理的に破壊するか、市販のパーソナルコンピュータ用データ消去ソフトなどを使って、メモリーカードやストレージデバイス内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカードやストレージデバイス内のデータはお客様の責任において管理してください。

■ 液晶について

- 液晶モニターのドットについては有効画素の99.99%以上の高精度管理をしていますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 表示映像によっては、画面にムラが発生する場合があります。
- 液晶部を固い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつく原因となります。
- 液晶の応答速度や輝度は使用温度によって変化します。
- 本機を、温度や湿度の高いところに長時間放置すると、液晶パネルの特性が変化し、ムラの原因となります。
- 本機に、不正規な信号を長時間入力すると、液晶パネルの特性が変化し、ムラの原因となります。
- 液晶モニターはその特性上、明るい静止画などの長時間連続表示や、高温多湿環境下での連続使用をされると、残像、輝度低下、焼きつき、すじなどが発生したり、パネルの一部分の明るさが、しみのように恒久的に変化したままになる場合があります。

特に、次のような映像の長時間連続表示は避けてください。

- 明るい静止画
- 固定されたロゴマークなどの映像
- サムネール画面
- コンピューターのウインドウなどの明るい表示
- モニターのアスペクト比と異なるアスペクト比の映像(レターボックスなどの帯が表示される映像)

また、次のような環境での連続使用は避けてください。

- 高温多湿になる密閉された場所
- 空調設備の吹き出し口近くなど

上記のような映像や環境での長時間使用は液晶パネルの経年変化を早めます。

経年変化の現象を未然に防ぐため、次のことをおすすめします。

- 明るい静止画などは長時間連続して表示しない
- 輝度を下げる

- 使用しない場合は本体の電源を切る

残像現象は、画面表示を変えることで徐々に解消される場合もあります。

■ ネットワーク機能のご使用に関するお願い

ネットワーク機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害に対して、当社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。また、本機能を使用した結果生じた損害に対しましても、当社では補償できませんので、併せてご了承ください。

■ セキュリティに関するお願い

ネットワークをご使用になる場合、下記のような被害を受けることが想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

パーソナルコンピューターや携帯端末のセキュリティ対策を十分に行ってください。

- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック コネクト株式会社および、その関係会社がお客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
- 本製品を修理、保守、廃棄、譲渡する場合は、情報の漏えいを防ぐためネットワーク設定の初期化を行ってください。

■ 本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License(GPL)ならびにGNU Lesser General Public License(LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。
2. 本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
3. This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)
4. 本製品には、OpenBSD Licenseに基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
5. This product includes PHP, freely available from <<http://www.php.net/>>
6. This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
7. 本製品には、MOZILLA PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。これらの内容(原文【英文】で記載しております)と、ソースコードの入手については、次のWeb サイトを参照してください。(→「WebサイトURLについて」2 ページ)
なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

ACアダプターについて

付属のACアダプターを使用してください。ご使用の際には、取扱説明書(本書)をよく読んでご使用ください。(→「ACアダプターを使う」22 ページ)

バッテリーについて

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先

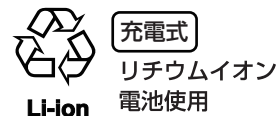
最寄りのリサイクル協力店へ。

詳細は、一般社団法人JBRCのWebサイトをご覧ください。

- WebサイトURL:
<http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



バッテリーの特性について

本機のバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。この化学反応は周囲の温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほどバッテリーの有効使用時間は短くなります。極端に温度が低い環境で使用した場合は、満充電でも5分ほどしか動作しないこともあります。バッテリーが極端に高温になると、保護機能が働き、しばらく使用できなくなります。

使い終わったら、必ずバッテリーを外してください

本機からバッテリーを確実に外してください。付けたままにしておくと、本機の電源が切れていても、微量電流が消費されてしまいます。長期間バッテリーを付けたままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

バッテリーの端子部を保護してください

バッテリーの端子部にほこりや異物が付かないようにしてください。また、バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。変形したバッテリーを本機に入れたり、バッテリーチャージャーに付けたりすると、本機やバッテリーチャージャー側を傷めることがあります。

ご使用前に

ご使用地域への設定（フレーム周波数等の設定）

本機は使用地域が未設定の状態でご出荷されています。初めて本機をご使用になるときには、同梱のチラシを参照してください。

必ず年月日・時刻、タイムゾーンの確認・設定を行いましょ

記録したコンテンツの管理、再生順序に影響します。記録の前に年月日・時刻、タイムゾーンの設定・確認を行ってください。本機を長時間(約3か月)無通電で放置すると、電源投入時に「BACKUP BATT EMPTY」と表示されることがあります。その場合は年月日・時刻情報が初期化されていますので、再度設定を行ってください。(→「年月日・時刻を合わせる」24 ページ) また、バックアップ電池の充電をおこなってください。(→「BACKUP BATT EMPTY」121 ページ)

本機で使えるメディアについて

以下のメディアが使用できます。詳しくはそれぞれのページをご覧ください。

■ 記録再生

- P2メモリーカードおよびmicroP2メモリーカード(→「P2カードについて」25 ページ)

■ プロキシ記録、データ保存

- SD / SDHC / SDXCメモリーカード(→「SD / SDHC / SDXCメモリーカードのご使用について」28 ページ)

ドライバーのインストールについて

ご使用前に、当社Webサイトから必要なドライバーをパーソナルコンピューターにインストールしてください。
ドライバーのインストール手順は、当社Webサイトにあるインストールマニュアルをご参照ください。

ドライバーに関する最新情報は当社Webサイトをご覧ください。(→「WebサイトURLについて」2 ページ)をご覧ください。

付属品

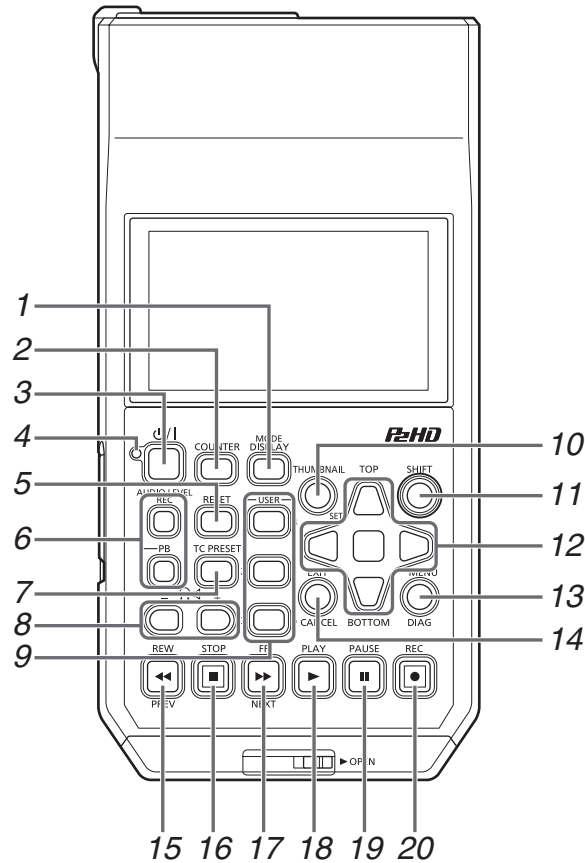
付属品については、同梱のチラシを参照してください。

別売品

- バッテリー AG-VBR59 (7.28 V/5900 mAh: 付属のバッテリーと同等品)
- バッテリー AG-VBR89 (7.28 V/8850 mAh)
- バッテリー AG-VBR118 (7.28 V/11800 mAh)
- バッテリー VW-VBD58 (7.2 V/5800 mAh)
- バッテリーチャージャー AG-BRD50 (8.4 V/4.0 A)
- バッテリーチャージャー AG-B23 (8.4 V/1.2 A)

各部の名称と機能

操作部



ボタン名表示について:ボタン表記でオレンジ色の名称は[SHIFT]ボタンと同時に押したときの名称です。

<例> [SHIFT] ボタンと[DISPLAY / **MODE**] ボタンの同時押しは、[**MODE**] ボタンと呼びます。

1. DISPLAY・**MODE**ボタン

[DISPLAY] ボタン:

OSDの表示を「表示なし」→「OSD表示」→「表示なし」と切り替えることができます。

(→「画面の表示」83 ページ)

[**MODE**] ボタン:

USB デバイスモード(USB DEVICE)、およびPLAYLIST編集モードに切り替えるときに使用します。

(→「USBデバイスモード」81 ページ、「P2 プレイリスト編集モード」82 ページ)

2. COUNTERボタン

カウンタ表示を以下の順番で切り替えることができます。

TC→UB→CTL→TC

(→「タイムコード・ユーザーズビット・CTL」86 ページ)

3. 電源(電源)ボタン

電源のON / OFFを行います。

(→「電源の入れ方・切り方」23 ページ)

4. 電源(電源)ランプ

本機の動作状態を表します。

(→「電源の入れ方・切り方」23 ページ)

電源を入れた後や操作中に異常が検出されると電源ランプ、およびビープ音で異常発生を知らせます。

(→「ワーニング内容一覧」119 ページ)

5. RESETボタン

表示パネルのカウンター表示がCTLのとき、このボタンを押すとカウンター表示が「0:00:00:00」になります。

(→「タイムコード・ユーザーズビット・CTL」86 ページ)

6. AUDIO LEVELボタン

[AUDIO LEVEL-REC]ボタン:

ボタンを押すと記録音声レベル調整画面が表示されます。(→「クリップを記録する」30 ページ)


[AUDIO LEVEL-PB]ボタン:

ボタンを押すと再生音声レベル調整画面が表示されます。(→「クリップを再生する」36 ページ)

7. TC PRESETボタン

TCやUBの値を設定するボタンです。
(→「タイムコード・ユーザーズビット・CTL」86 ページ)

8. (モニター音量調整)ボタン

モニター音量調整:
 ボタンの[+]/[-] ボタンを押すと、スピーカーとヘッドホン端子から出力される音量調整値が表示され、音量を調節できます。一定時間経過後、または[SET] ボタンあるいは[EXIT] ボタンを押すと通常の表示へ戻ります。

9. USER 1-3・4-6ボタン

ユーザーが任意の機能を割り当てできるボタンです。
(→「USER BUTTON」110 ページ)

10. THUMBNAILボタン

サムネール画面の表示・非表示を切り替えます。
(→「サムネール画面を表示する」39 ページ)

11. SHIFTボタン

このボタンを押しながら他のボタンを同時に押すことで、定義されたボタン操作を行います。

12. カーソル操作ボタン

[上]/[下]/[左]/[右]カーソルボタン:

- サムネールやメニューなどのカーソル移動の操作を行います。
- 再生中に[左]/[右] 十字カーソルボタン押しで、SHTLモードとなり速度を可変できます。
(→「可変速再生」36 ページ)
- 可変速再生中に[SET]ボタンを押すと再生が一時停止します。
- 再生静止画を表示中に[上]/[下]カーソルボタンを押すと、コマ送りができます。(→「コマ送り再生」37 ページ)
- 記録再生音声レベル調整の音声チャンネル切り替えに、[左]/[右]カーソルボタンを使用します。
(→「クリップを記録する」30 ページ)

[TOP]/[BOTTOM] ボタン:

サムネールの先頭(TOP)あるいは最終 (BOTTOM)へカーソルを移動します。

[SET] ボタン:

サムネールの選択やメニュー選択などの操作を行います。

13. MENU・DIAGボタン

[MENU]ボタン:
ボタンを押すとメニューを表示します。

[DIAG]ボタン:
メニューを表示していないときにボタンを押すと、各種状態表示を行うダイアグ画面を表示します。
(→「デッキ情報(ダイアグ)表示」85 ページ)

14. EXIT・CANCELボタン

[EXIT]ボタン:
メニューを閉じたり、ストレージ・エクスポアアから通常の表示へ戻ります。

[CANCEL]ボタン:

選択の解除やコピー操作の中断などを行います。

15. REW・PREV ボタン

[REW]ボタン:
早戻し再生します。
速度は、メニュー「FF.REW MAX」(→97 ページ)で選択可能です。

[PREV] ボタン:
再生中に、現在または前のクリップ、あるいはクリップおよびテキストメモ位置の頭だしを行います。

16. STOP ボタン

再生または記録を停止します。

17. FF・NEXT ボタン

[FF]ボタン:
早送り再生します。
速度は、メニュー「FF.REW MAX」(→97 ページ)で選択可能です。

[NEXT] ボタン:
再生中に次のクリップ、あるいはクリップおよびテキストメモ位置の頭だしを行います。

18. PLAY ボタン



再生します。
(→「クリップを再生する」36 ページ)

19. PAUSE ボタン

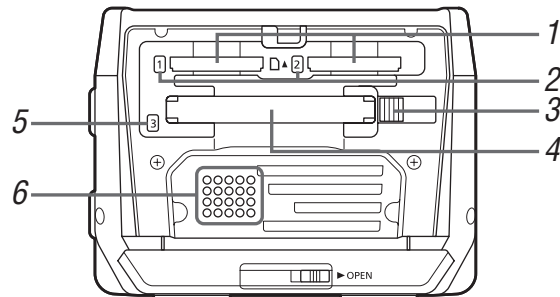
再生中に押すと一時停止(STILL)し、静止画を表示します。
一時停止中に押すと再生が開始されます。
記録中に押すと記録待機(PAUSE)状態となります。
記録待機状態中に押すと記録が開始されます。

20. REC ボタン

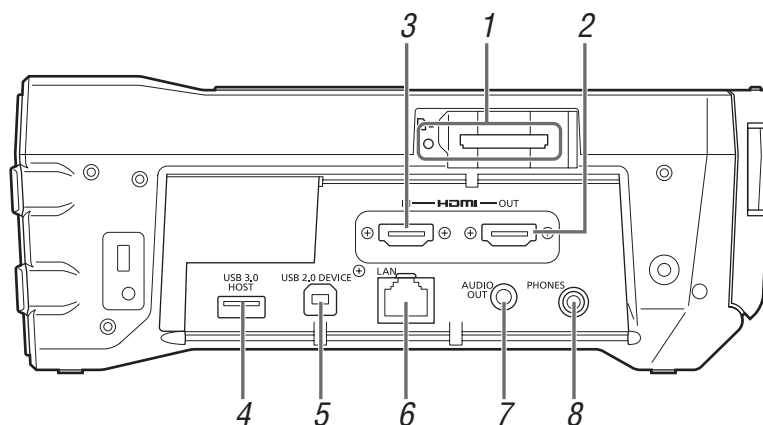
再生画出力中にEEの映像と音声を確認できます。ボタンを押している間、EEを継続します。
EEの確認は、再生画のフォーマットとメニュー「LINE&FREQ」(→114 ページ)の設定が一致するときのみ可能です。記録可能なメディアがない場合は動作しません。

[PLAY]  ボタンと同時に押すと記録を開始します。
[PAUSE]  ボタンと同時に押すと記録待機状態となります。メニューを設定することでカメラからのリモート記録ができます。
リモート記録の設定はメニュー「AUTO REC」(→96 ページ)で行います。

スロットおよび入出力他



1. microP2メモリーカードスロット
(→「P2カードについて」25 ページ)
2. microP2メモリーカードアクセスランプ
(→「P2 カードアクセスランプとP2カードの状態について」25 ページ)
3. EJECTボタン
(→「P2カードについて」25 ページ)
4. P2メモリーカードスロット
(→「P2カードについて」25 ページ)
5. P2メモリーカードアクセスランプ
(→「P2 カードアクセスランプとP2カードの状態について」25 ページ)
6. スピーカー
オーディオのモニター音を出力します。
ヘッドホンを接続するとモニター音は出力されません。



1. SD / SDHC / SDXCメモリーカードスロット / アクセスランプ

SD / SDHC / SDXCメモリーカードを挿入します。挿入するときは、カードのラベル面を上にしてコーナークット側から入れ、ロックされるまで挿入します。取り出すときは、アクセスランプが緑色点灯していないことを確認し、カードを挿入した方向に押ししてロックを解除します。

◆NOTE:

SD / SDHC / SDXCメモリーカードは、CPSパスワードの読み込み、メニューの読み書き、メタデータの読み書き、プロキシー記録に使用します。
(→「SD / SDHC / SDXCメモリーカードのご使用について」28 ページ)

2. HDMI OUT端子

HDMIケーブルを使用し、モニターやテレビと接続します。

◆NOTE:

- 本機はビエラリンクに対応していません。ビエラリンク対応機器とHDMIケーブルで接続すると、他の機器のビエラリンクが正しく動作しないことがありますのでお気をつけください。
- 本端子に接続するケーブルは、ダブルシールドのものをご使用ください。
- 「VIDEO」-「INPUT SEL」で「HDMI」を選択した場合、HDMI出力端子からはEE映像・音声等の信号は出力されません。サムネール画面も出力されません。

3. HDMI IN端子

HDMIケーブルを使用し、カメラレコーダーなどと接続します。

◆NOTE:

- 本機はビエラリンクに対応していません。ビエラリンク対応機器とHDMIケーブルで接続すると、他の機器のビエラリンクが正しく動作しないことがありますのでお気をつけください。
- 本端子に接続するケーブルは、ダブルシールドのものをご使用ください。
- HDCP信号を検出したときは、外部出力は停止し、記録はできません。サムネール画面も出力されません。

- 本機は、60 Hz JUST周波数信号には対応していません。入力信号には、59.94 Hz系または50 Hz系信号をご使用ください。また、59.94 Hz系または50 Hz系の信号であっても、周波数がずれている場合は、受信することができません(一部のパーソナルコンピューターなど)。
- 入力信号が受信できない信号の場合、「INVALID INPUT FORMAT」のワーニングを表示し、映像をブラックミュートします。

4. USB3.0 HOST端子(USB3.0 TYPE A)

(→「USB HOST端子で外部機器と接続する」56 ページ)

◆NOTE:

- 本端子に接続するケーブルは、ダブルシールドのものをご使用ください。
- USB3.0対応のストレージデバイスと接続する場合は、USB3.0規格準拠のケーブルをご使用ください。
- 本機をバッテリーでご使用時、[USB3.0 HOST]端子へ接続するストレージデバイスには、外部から電源を供給ください。

5. USB2.0 デバイス端子

(→「USBデバイスモード」81 ページ)

◆NOTE:

本端子に接続するケーブルは、ダブルシールドのものをご使用ください。

6. LAN端子

100BASE-TX / 10BASE-Tでネットワーク接続することができます。

(→「本機をネットワークに接続して利用する」64 ページ)

◆NOTE:

- 本端子に接続するケーブルは、シールド付きのものをご利用ください。
- LANリンクが確立している場合は、オレンジのランプが点灯します。データ転送中は緑のランプが点滅します。

7. AUDIO OUT端子

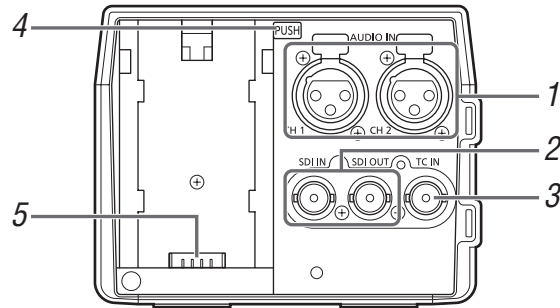
オーディオ信号(CH1~CH4)の中からメニュー「MONITOR CH」(→104 ページ)で選択した信号を出力します。

8. PHONES(ヘッドホン)端子

ヘッドホンジャック:

ステレオヘッドホンを接続すると、記録・再生中の音声をヘッドホンで聞くことができます。

入出力端子および電源部



1. ANALOG AUDIO IN端子

アナログオーディオの入力端子です。

2. HD / SD - SDI IN / OUT端子

シリアル・デジタル・コンポーネント・オーディオ / ビデオ信号の入出力ができます。

メニュー「OSD OUTPUT」(→108 ページ)の設定により、スーパーを重畳する出力端子、およびメニュー「GUI OUTPUT」(→108 ページ)の設定によりサムネール画面を重畳する出力端子を変更することができます。

◆NOTE:

本端子に接続するケーブルは、5C-FB相当のダブルシールドのものをご使用ください。

3. TIME CODE IN端子

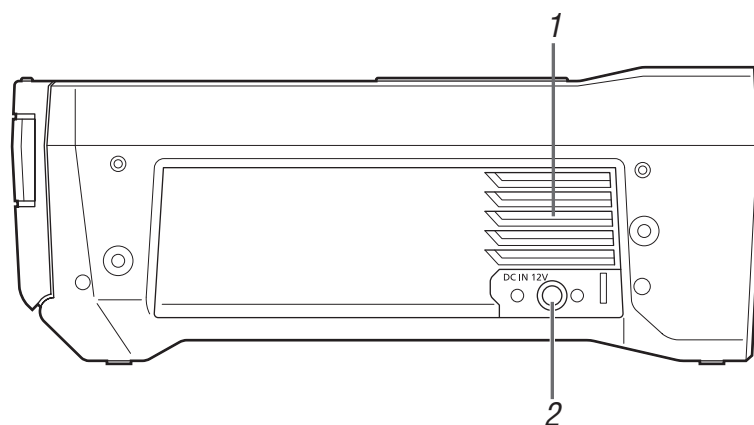
外部タイムコードを、P2カードに記録するための端子です。

4. バッテリーロック解除ボタン

(→「バッテリーを使う」21 ページ)

5. バッテリー装着部

(→「バッテリーを使う」21 ページ)



1. FAN

本機冷却用のファンです。通風を妨げないように設置してください。

◆NOTE:

電源ON中に、ファンが停止したときは、ワーニング表示として「FAN STOPPED」(→121 ページ)が表示されます。すみやかに使用を中止の上、電源OFFし、販売店にご相談ください。

2. DC IN端子

DC12Vの電源を接続します。

電圧が約10.0 Vまで低下したとき、本機の電源は自動的にOFFになります。

その後、電源電圧が回復しても自動的に復帰しません。復帰させるには、[ON/OFF]ボタンを1秒以上押してください。

◆NOTE:

外部DC電源を使用するときは、必ず、外部DC電源の定格をご確認のうえ、本機に適合するものを使用してください。外部DC電源のDC出力端子と本機のDC IN端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。誤ってGND端子に+12 Vの電源を接続すると、火災やけがの原因になります。

準備

電源の供給

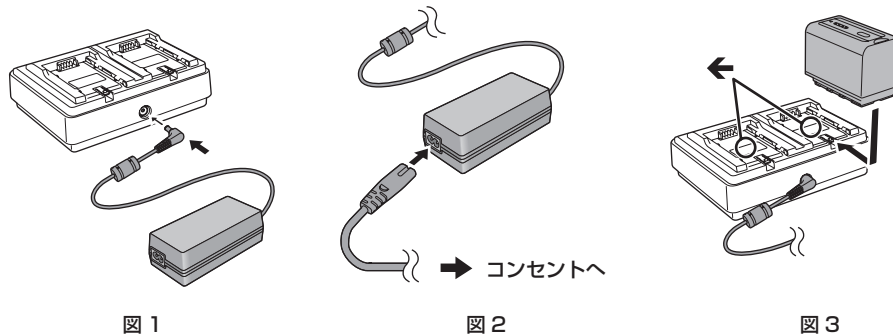
本機の電源には、バッテリー、または付属のACアダプターが使用できます。

- 本機は、次のバッテリーに対応しています。(2019年4月現在)
 - AG-VBR59(付属品 / 別売品、急速充電対応)
 - AG-VBR89(別売品、急速充電対応)
 - AG-VBR118(別売品、急速充電対応)
 - VW-VBD55(別売品:販売終了)
 - VW-VBD58(別売品)

バッテリーの充電

お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。バッテリーを使用する前に、バッテリーチャージャーで満充電してください。予備のバッテリーを1本用意することをお勧めします。

- バッテリーの充電は、周囲の温度が10℃～30℃(バッテリーの温度も同様)のところで行うことをお勧めします。
- 付属のACコードは、本機専用です。ほかの機器には使用しないでください。また、ほかの機器のACコードを本機に使用しないでください。
- 付属のバッテリーチャージャーは、2個のバッテリーを同時に充電できます。また、急速充電対応バッテリーに対応しています。



1 ACアダプターのDCプラグをバッテリーチャージャーのDC IN 12V端子に接続する(図1)

2 ACコードをACアダプターに接続する(図2)

- ACコードが奥に突き当たるまで差し込んでください。

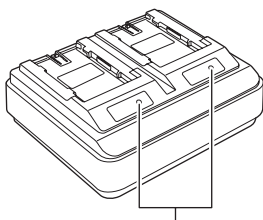
3 電源プラグをコンセントに接続する(図2)

4 バッテリーチャージャーにバッテリーを取り付ける(図3)

バッテリーを取り付けた側の充電ランプが点灯し、充電が開始されます。

- ←マークに沿ってバッテリーを水平にのせてスライドさせてください。
- 充電が完了すると、〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉ランプ(充電ランプ)が消灯します。バッテリーをスライドさせて取り外してください。

■ 〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉ランプの表示



〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉 ランプ

付属のバッテリーチャージャーの〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉ランプ(充電ランプ)は、充電の状態を次のように表示します。

〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉ランプの表示	充電の状態
緑色(点灯)	急速充電中
オレンジ色(点灯)	通常充電中
オレンジ色(点滅)	異常により充電を停止中
消灯	充電完了、またはバッテリーが取り付けられていない

◆NOTE:

- バッテリーチャージャーは、バッテリーを取り付けたあとにバッテリーの状態を判断します。このため、充電ランプが点灯するまでに時間がかかることがあります。10秒以上経過しても充電ランプが点灯しないときは、バッテリーを取り付け直してください。
- 急速充電対応バッテリーが2個取り付けられた場合、〈CHARGE1〉側の急速充電が優先され、〈CHARGE2〉側は通常の充電になります。〈CHARGE1〉側のバッテリーの充電が進むと、自動的に〈CHARGE2〉側が急速充電に切り替わります。また、バッテリーの充電状態により、〈CHARGE2〉側に取り付けたバッテリーのインジケータが消灯することがあります。
- バッテリーチャージャーは、バッテリーの状態を判断してから最適な充電をします。充電が開始されると、急速充電対応バッテリーのインジケータが点滅表示になります。また、〈CHARGE1〉側と〈CHARGE2〉側の両方で充電しているときに、どちらかのバッテリーを取り付け/取り外ししたり、交換したりすると、両方の充電を中止します。再度、バッテリーの状態を判断してから充電を開始します。
- 優先して充電するバッテリーは、〈CHARGE1〉側に取り付けて充電してください。

■ 充電時間と再生時間の目安

バッテリー品番	電圧/容量(最小)	充電時間	連続再生時間
AG-VBR59(付属品/別売品)	7.28 V/5900 mAh	約200分	約170分
AG-VBR89(別売品)	7.28 V/8850 mAh	約240分	約255分
AG-VBR118(別売品)	7.28 V/11800 mAh	約280分	約345分
VW-VBD55(別売品)	7.2 V/5400 mAh	約320分	約160分
VW-VBD58(別売品)	7.2 V/5800 mAh	約320分	約170分

- 充電時間は、付属のバッテリーチャージャーを使用して充電したときの時間です。
- 充電時間は、動作周囲温度25℃、動作相対湿度60%での時間です。その他の温度や湿度では、充電時間が長くなる場合があります。
- 充電時間は、バッテリーの充電容量を使い切ってから充電した場合の時間です。高温/低温時など、使用状況によって充電時間、連続再生可能時間は異なります。

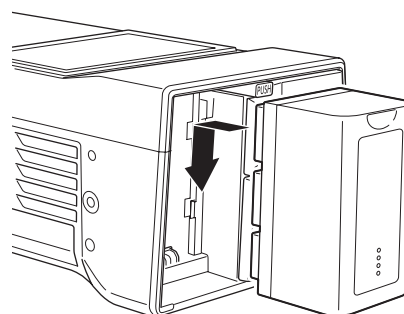
◆NOTE:

- 使用後や充電後はバッテリーが温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリーチャージャーAG-B23(DE-A88)(別売品)でも充電できますが、充電時間が長くなります。

バッテリーを使う

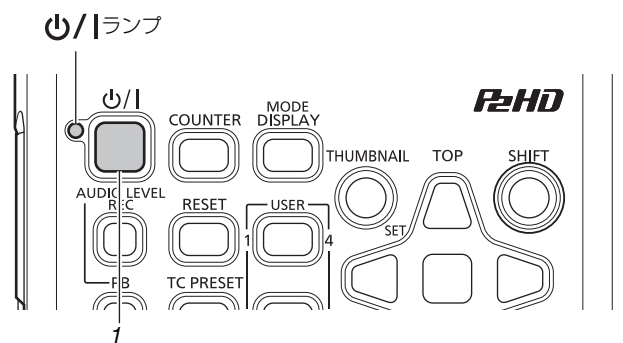
取り付け

- 1 バッテリーをカチッという音がするまでスライドさせて取り付ける



準備

取り外し

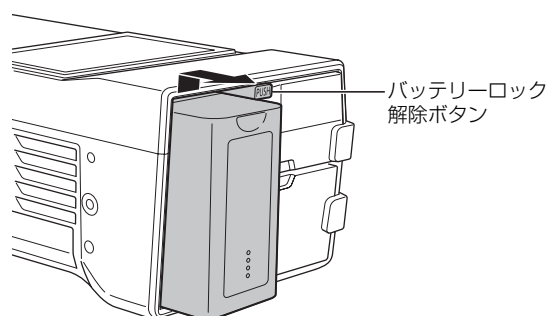


- 1 [電源/ランプ]ボタンを2秒以上押し、本機の電源をOFFにし、電源ランプが消灯したことを確認する

- 2 バッテリーロック解除ボタンを押しながらバッテリーを取り外す
バッテリーを落下させないように手で支えておいてください。

◆NOTE:

本機の電源がONの場合は、必ず本機の電源をOFFにしてから、バッテリーを取り外してください。

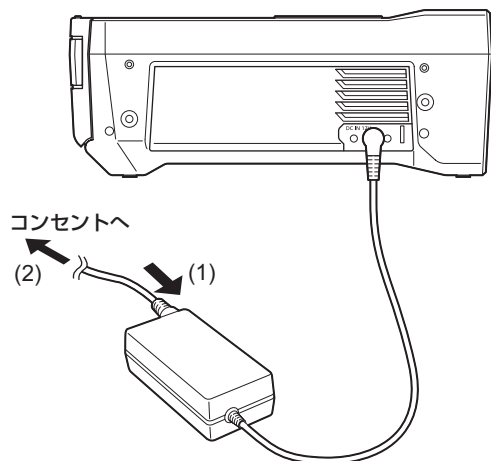


ACアダプターを使う

取り付け

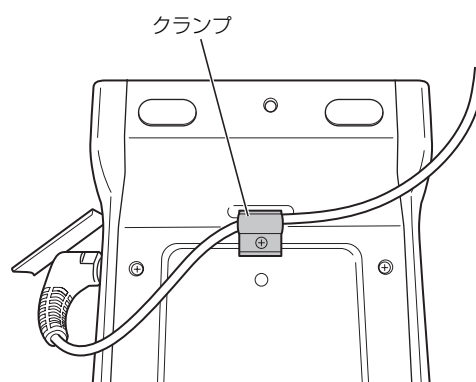
1 ACコードを接続する

図の順番で差し込んでください。



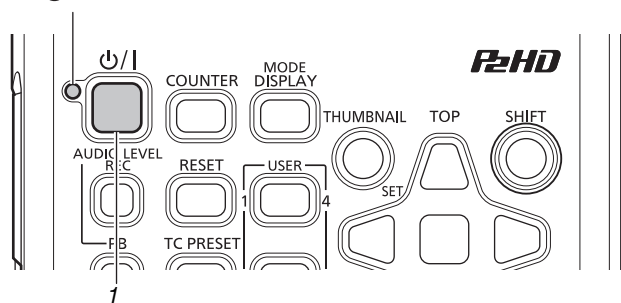
2 DCコードのプラグをDC IN端子に接続する

3 DCコードをクランプする



取り外し

電源ランプ



3 ACコード(ACアダプター用)をコンセントから抜く

◆NOTE:

- ACアダプターは全世界の電源電圧(100 V ~ 240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)で動作するように設計されています。ただし、国によって電源コンセントの形状は異なります。その国に合ったプラグを準備してください。変換プラグはお買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。
- 本機を使用しないときは、ACコード(ACアダプター用)をコンセントから外してください。

1 [電源ランプ]ボタンを2秒以上押して本機の電源をOFFにし、電源ランプが消灯したことを確認する

2 DCコードのプラグを取り外す

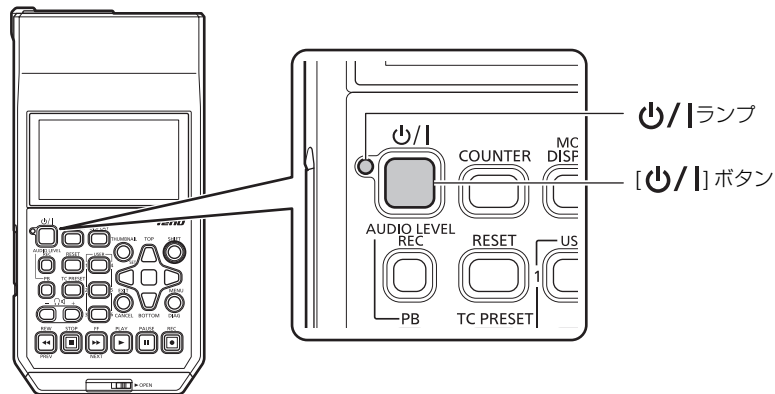
◆NOTE:

- 本機の電源がONの場合は、必ず本機の電源をOFFにしてから、DCコードのプラグを取り外してください。

電源の入れ方・切り方

電源をONにする

電源がOFFの状態ですべてのボタンを押すと、電源がONになります。
起動後は電源ランプが緑色に点灯します。



◆NOTE:

起動中は以下のメッセージが表示されます。

- 「STARTING SYSTEM...」: 起動中点滅します
- 「AUTO POWER OFF = * min」: 「*」にはメニュー「AUTO POWER OFF」(→102 ページ)で設定されている時間が表示されます。また、メニュー設定を「OFF」に設定すると、このメッセージは表示されません。



電源をOFFにする

電源ONの状態ですべてのボタンを押すと、電源がOFFになります。
電源OFF処理中は電源ランプが点滅し、その後電源ランプが消灯します。

動作中の自動電源オフについて


本機は、記録、再生、コピーおよびフォーマットなどの動作をしていない状態がしばらく経過すると自動的に電源がOFFになる機能があります。自動でOFFになった後でご使用になるときには、再度電源をONにしてください。

◆NOTE:

- 電源を自動的にOFFにするまでの時間は、メニュー「AUTO POWER OFF」(→102 ページ)で設定できます。

年月日・時刻を合わせる

本機を最初に使用する前に時計の設定を行います。

1 本機の[/|] ボタンを1秒以上押し、電源をONにする

2 [MENU] ボタンを押し、メニューを表示する
(→「メニューの操作」88 ページ)

3 カーソルボタンで、メニュー「CLOCK」(→102 ページ)を選択し、[SET] ボタンを押す
時計の設定画面が表示されます。初期値は現在時刻です。



4 [左]/[右] カーソルボタンで設定したい部分にカーソルを移動する

- 年/月/日/時/分/タイムゾーンの順で表示されています。
- タイムゾーンでは、グリニッジ標準時間からの時差を設定します。
- 時刻は24時制で表示しています。

5 [上]/[下] カーソルボタンで年月日・時刻・タイムゾーンを設定する

6 設定後、[SET] ボタンを押す

[SET] ボタンを押すことで変更した時刻が時計に設定されます。

◆NOTE:

- 時刻には誤差が生じますので、使用前に時間が合っているか確認してください。
- 正確な時刻を必要とするときは、ご使用前に、時刻確認、再設定を行ってください。

■ タイムゾーン表

時差	地域	時差	地域
00:00	グリニッジ	+ 01:00	中央ヨーロッパ
- 00:30		+ 01:30	
- 01:00	アゾレス諸島	+ 02:00	東ヨーロッパ
- 01:30		+ 02:30	
- 02:00	中部大西洋	+ 03:00	モスクワ
- 02:30		+ 03:30	テヘラン
- 03:00	ブエノスアイレス	+ 04:00	アブダビ
- 03:30	ニューファンドランド島	+ 04:30	カブール
- 04:00	ハリファックス	+ 05:00	イスラマバード
- 04:30	カラカス	+ 05:30	ムンバイ
- 05:00	ニューヨーク	+ 06:00	ダッカ
- 05:30		+ 06:30	ヤンゴン
- 06:00	シカゴ	+ 07:00	バンコク
- 06:30		+ 07:30	
- 07:00	デンバー	+ 08:00	北京
- 07:30		+ 08:30	
- 08:00	ロスアンゼルス	+ 09:00	東京
- 08:30		+ 09:30	ダーウィン
- 09:00	アラスカ	+ 10:00	グアム
- 09:30	マルケサス諸島	+ 10:30	ロード・ハウ・アイランド
- 10:00	ハワイ	+ 11:00	ソロモン諸島
- 10:30		+ 11:30	
- 11:00	ミッドウェイ諸島	+ 12:00	ニュージーランド
- 11:30		+ 12:45	チャタム諸島
- 12:00	クワジャリン	+ 13:00	フェニックス諸島
+ 00:30			

■ 内蔵時計の電池について

長期間電源を入れていない場合など内蔵時計の電池が空になると、「BACKUP BATT EMPTY」警告が表示されます。その場合は、ACアダプターを接続し、約4時間そのままにして電池の充電を行ってください。

充電後も「BACKUP BATT EMPTY」の警告が表示される場合は、内蔵電池の交換が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

P2カードについて

P2 カードアクセスランプとP2カードの状態について

P2カードアクセスランプ	P2カードの状態	
緑色に点灯	記録可能	書き込み/読み出しとも可能です。
オレンジ色に点灯	記録対象	書き込み/読み出しとも可能で、現在記録の対象になっています。
オレンジ色の点滅	アクセス中	現在、書き込み/読み出し中です。
オレンジ色の早い点滅	カード認識中	P2カードを認識中です。
緑色の遅い点滅	カードフル	P2カードのメモリー残量がありません。読み出しのみ可能です。
	ライトプロテクト	P2カードのライトプロテクトスイッチがProtect側になっています。読み出しのみ可能です。
	記録対象外のカード	SDメモリーカードなどが挿入されているため、現在設定されている記録フォーマットでは、記録できません。読み出しのみ可能です。記録するには、記録フォーマットを変更するか、P2カードをご使用ください。
	記録対象外のスロット	メニュー「REC MEDIA」(microP2/P2) (→97 ページ)の設定と異なるスロットにカードが挿入されています。
消灯	対象外のカード	本機では使用できないカードです。カードを交換してください。
	フォーマット不正	P2カードが正規のフォーマットをされていません。フォーマットをやり直してください。
	カードなし	P2カードが挿入されていません。カード認識待ち。
	認証外のカード	認証できないmicroP2メモリーカードです。「CPSの手動認証 / 自動認証」(→54 ページ)を参照して認証してください。
	USB非アクセス	USBデバイスモードでP2カードにアクセスしていません。

◆NOTE:

microP2メモリー カードをゆっくりと挿入したり、カードの端子に汚れがあったりした場合、「FORMAT ERROR!」や「NOT SUPPORTED!」、[CHECK SLOT<スロット番号>]が表示されることがあります。その場合、もう一度挿入しなおしてください。

P2カードの記録時間について

本機で使用できるP2カード

本機では、別売品の4 GBから64 GBのP2メモリーカードおよびmicroP2メモリーカードが使用できます。(2014年12月現在)

◆NOTE:

- 1080/59.94p、1080/50pのAVC-Intra100選択時、およびLINE&FREQの設定にかかわらずAVC-Intra200選択時は、以下のP2カードには記録できません。
 - H、R、A、EシリーズのP2メモリーカード
 - microP2カードアダプタ(AJ-P2AD1G)へ装着のカード
- AJ-P2C002SG(2 GB)のカードは使用できません。
- P2カードの種類によっては、本機のアップデートが必要になることがあります。
- 取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、Webサイトを参照してください。(→「WebサイトURLについて」2 ページ)

P2カードの記録時間

(64 GB カード 1 枚使用の場合の例)

「LINE&FREQ」設定 (記録フォーマット)	「REC FORMAT」設定 (コーデック)	記録時間
1080-59.94P、1080-50P	AVC-I100	約32分
	AVC-G25	約110分
1080-59.94i、1080-50i	AVC-I100	約64分
	AVC-G25	約220分
720-59.94P、720-50P	AVC-I100	約64分
	AVC-G25	約220分
480-59.94i、576-50i	DVCPRO50	約128分
	DVCPRO	約256分

◆NOTE:

- 32 GBのP2カードの場合は上記の各記録時間の 1/2、16 GB の P2カードの場合は 1/4、8 GBのP2カードの場合は1/8となります。
- 表示容量には管理領域などが含まれており、記録に使用できる容量は上記より少なくなります。

P2カードに記録されるクリップの分割について

本機で8 GB以上のP2カードを使用した場合、1回の連続記録時間が下表に示す時間を超えると、自動的に別のクリップとして記録を続けます。

記録フォーマット(ネイティブ記録を除く)	連続記録時間
AVC-I200、AVC-I100(1080p)	約3分
AVC-I100(1080i)、DVCPRO HD	約5分
AVC-G50、AVC-I50、DVCPRO50	約10分
AVC-G25、DVCPRO、DV	約20分

また、メニュー「FILE SPLIT」(→97 ページ)の設定により記録するクリップを約128秒ごとに分割することができます。この分割機能を用いてレックデュアリングアップロード機能を使用することにより、クリップの転送タイミングを早めることができます。P2機器でクリップのサムネイル操作(表示、削除、修復など)を行う場合は、分割されたクリップも1つのクリップとして操作できます。

ただし、ノンリニア編集ソフト、およびパーソナルコンピューターなどでは、別々のクリップとして表示されることがあります。なお、AVC-LongGコーデックを使用し32 GB超のmicroP2メモリーカードへ記録を行う場合は、メニュー「FILE SPLIT」(→97 ページ)の設定により同一クリップとして記録を継続することができます。

同一クリップでは4 GBを超えた記録が行えませんが、本機のusb-hostモードによるストレージコピーは行えません。

またパーソナルコンピューターなどストレージ側のフォーマットで1 ファイルの最大容量が4 GBなどに制限されている場合(NTFS、FAT32など)は、クリップがコピーできませんので、お使いの環境に合わせて設定してください。

◆NOTE:

クリップを128秒ごとに分割で記録した場合は、最大213分までしか記録できません。

CPS(Content Protection System)について

microP2メモリーカードは、暗号化フォーマットを行うことで、第三者へのデータ流出を防止するセキュリティ機能である「Content Protection System」をサポートしています。

CPS 機能を利用するためには、本体にCPS パスワードを設定し、microP2メモリーカードの認証機能(→「CPSの手動認証 / 自動認証」54 ページ)と暗号化フォーマット機能(→「P2カード / SDメモリーカードをフォーマットする」53 ページ)を有効にします。同一のCPS パスワードが設定された機器間でのみ、暗号化フォーマットされたmicroP2メモリーカードが自動認証され、記録・再生可能なmicroP2メモリーカードとして利用することができます。なお、CPSパスワードについては「CPSの手動認証 / 自動認証」(→54 ページ)を参照してください。

◆NOTE:

- パスワードは16文字まで入力可能です。
- 暗号化されたmicroP2メモリーカードはパーソナルコンピューターのSDカードスロットでは認識できません。
- 認証エラーになった場合、正しいパスワードで認証しなおすか、フォーマットすることで記録メディアとして使用いただくか、機器から取り出してください。認証エラーのカードを挿入したままで、手動認証、フォーマット以外の操作はしないでください。
- USBデバイスモードでパーソナルコンピューターから暗号化されたmicroP2メモリーカードにアクセスする場合は、P2 Viewer Plus で暗号化されたmicroP2メモリーカードを認証してください。

記録データの取り扱いについて

P2メモリーカードおよびmicroP2メモリーカードは、プロフェッショナル映像制作・放送用機器“P2シリーズ”の記録メディアに採用した半導体メモリーカードです。

■P2フォーマットの記録データはファイル形式のため、パーソナルコンピューターとの親和性にすぐれていますが、そのファイル構造は独自フォーマットであり、MXFファイル化される映像・音声データだけでなく、さまざまな重要情報が含まれており、右のようなフォルダー構成にて関連付けられています。

これらの情報が一部でも変更、または削除されると、P2データとして認識できない、もしくはカードがP2機器で使えなくなるなどの不具合が発生する場合があります。

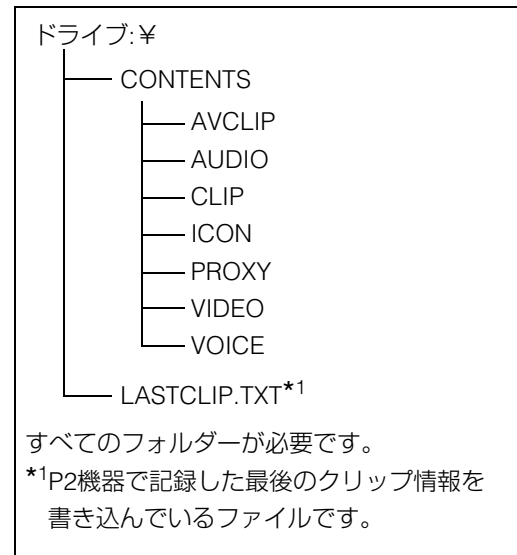
■microP2メモリーカード対応機器以外でフォーマットしたP2カードにはAVCLIPフォルダーはありません。AVCLIPフォルダーがないP2カードはmicroP2メモリーカード対応機器で記録をするときに自動でフォルダーを作成します。

■P2カード内のデータをパーソナルコンピューターなどに転送したり、パーソナルコンピューターに格納したデータをP2カードに書き戻したりする際は、情報の欠落を防ぐために、必ず専用ソフトウェア「P2 Viewer Plus」をWebサイトよりダウンロードし、お使いください。

URLについては(→「WebサイトURLについて」2ページ)をご覧ください。

■Microsoft Windows ExplorerやApple Finderなど、一般のITツールを使用してパーソナルコンピューターに転送する場合は、下記のように行ってください。なお、P2カードへ戻す場合は、必ずP2 Viewer Plusをご使用ください。

- CONTENTS フォルダーとLASTCLIP.TXT ファイルごとに行ってください。
CONTENTSフォルダー以下は操作しないでください。
コピーするときは、CONTENTSフォルダーと同時にLASTCLIP.TXTファイルも行ってください。
- 複数のP2カードをパーソナルコンピューターに転送する場合、同一クリップ名の上書きを防ぐため、P2カードごとにフォルダーを作成してください。
- P2カード内のデータ消去は行わないでください。
- P2カードをフォーマットする場合は、必ずお使いのP2機器、もしくはP2 Viewer Plusにて行ってください。



SD / SDHC / SDXCメモリーカードのご使用について

本機で使用するSD / SDHC / SDXCメモリーカード*¹は、SD / SDHC / SDXC*³規格に準拠したものをお使いください。SD / SDHC / SDXC以外のメモリーカード(マルチメディアカード*²など)は使用できません。

*¹ SDHCメモリーカードは、2006年にSDアソシエーションにより策定された、2 GBを超える大容量メモリーカードの新規格 (version2.0)です。

*² マルチメディアカード(MMC)は、InfineonTechnologies AG社の登録商標です。

*³ SDXCメモリーカードは、2009年にSDアソシエーションにより策定された、32 GBを超える大容量メモリーカードの新規格 (version3.0)です。

- miniSD / miniSDHC、microSD / microSDHC / microSDXCカードを本機で使用する場合は、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。(アダプターのみを本機に挿入すると正常に動作しません)

- フォーマットは、必ず本機で行ってください。

- 本機では、以下の容量のSD / SDHC / SDXCメモリーカードが使用できます。

SD(8 MB ~ 2 GB まで)

SDHC(4 GB ~ 32 GB まで)

SDXC(32 GB超)

当社製のSD / SDHC / SDXCメモリーカードおよびminiSD / miniSDHCカード、microSD / microSDHC / microSDXCカードをご使用いただくことをお勧めします。

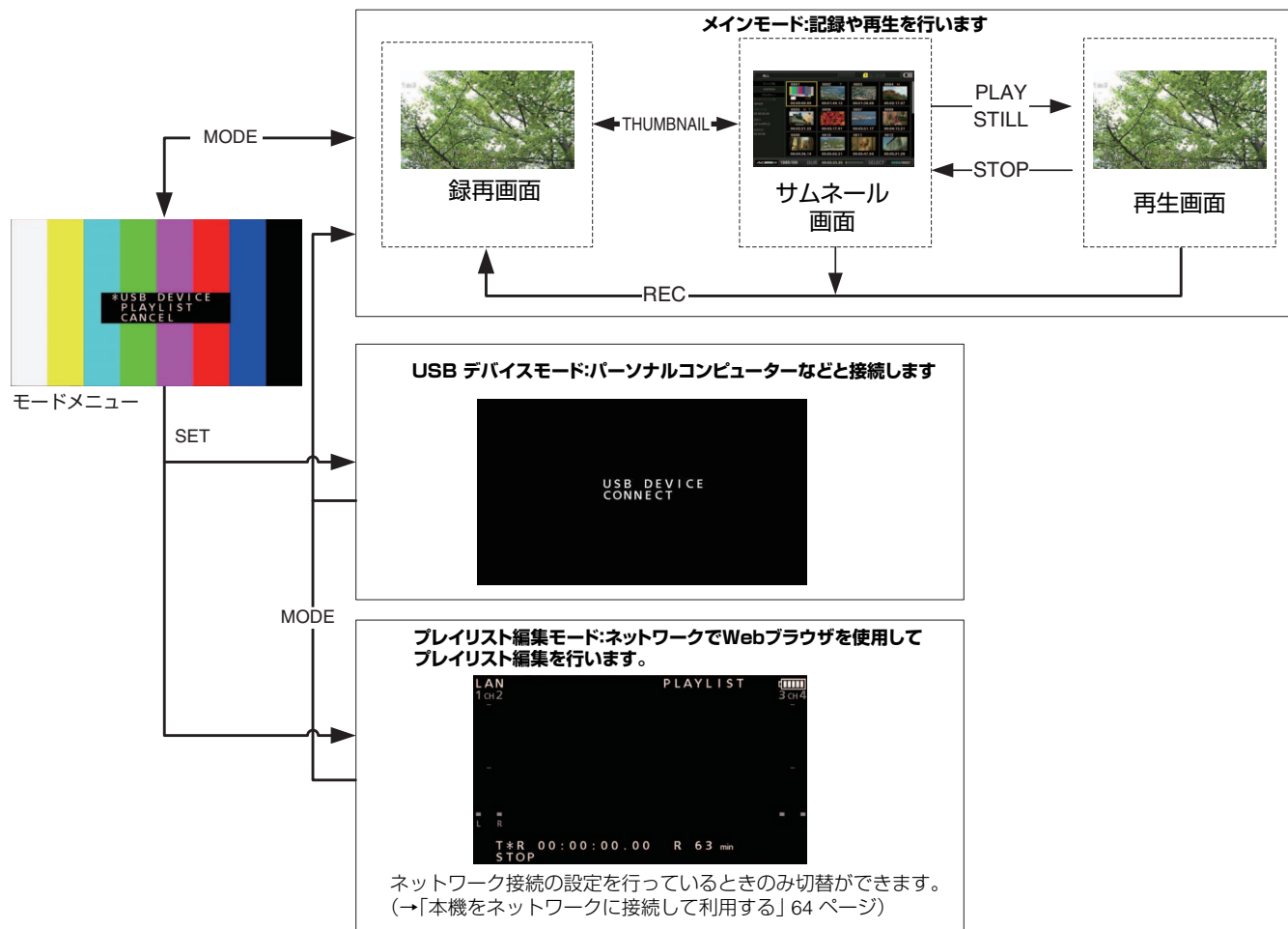
- 本機で使用可能なメモリーカードについての最新情報はWebサイトより、P2のサポートページをご覧ください。URLについては(→「[WebサイトURLについて](#)」2 ページ)をご覧ください。

各種モードについて

本機には、メインモード、USBデバイスモード、プレイリスト編集モードの3種類のモードがあります。これらのモードは、[MODE]ボタンを押すと表示されるメニュー項目で、選択・切り替えができます。また、メインモードにはクリップのサムネールなどの表示・管理およびクリップの再生を行う「サムネール画面」と記録・再生を行う「録再画面」があります。

各モードの概要は、下図の通りです。

- **録再画面:** 映像表示、タイムコードなどの表示、記録・再生操作を行います。
- **サムネール画面:** クリップのサムネールや各種プロパティなどの表示、およびクリップの管理と再生を行います。



メインモード

録再画面

録再画面では以下のことが行えます。

- P2カードへの記録
- 全カードの記録日時順の再生

クリップを記録する

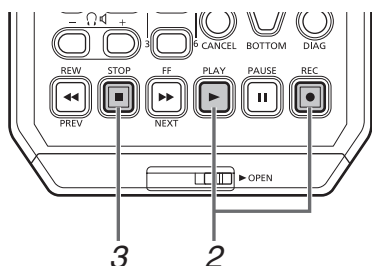
映像と音声をクリップとして記録します。

クリップの記録

記録する前にメニューで記録する周波数やフォーマット、記録するスロットおよび入力信号などを設定します。
(→設定メニュー「SYSTEM MODE」114 ページ、「REC/PB」96 ページ)

◆NOTE:

オーディオの入力にアナログを選択した場合は、音声ファイルは4チャンネル作成されますが、CH1,CH2以外には無音が記録されます。



1 P2カードを挿入する

2 [REC] ボタンを押しながら[PLAY] ボタンを押す

P2カードアクセスランプがオレンジ色に点灯しているスロットに、記録を開始します。

◆NOTE:

メニュー「CODEC USAGE」(→98 ページ)を「PROXY REC(P2)」または「PROXY REC(P2&SD)」に設定して記録することにより、本素材の記録と同時にプロキシ記録を開始します。(→「デュアルコーデック(プロキシ)記録」32 ページ)

3 [STOP] ボタンを押して記録を停止する

◆NOTE:

本機のP2メモリーカードスロット(3)とmicroP2メモリーカードスロット(1,2)の混在した記録はできません。メニュー「REC MEDIA」(→97 ページ)で記録対象のスロットを選択してください。

■ 記録音声レベル調整について

次の方法で記録する音量レベルの変更ができます。

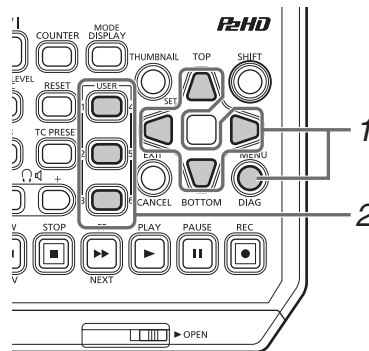
1. [AUDIO LEVEL-REC]ボタンを押す
記録ボリュームが表示されます。
2. [上] / [下]カーソルボタンを操作する
3. [左] / [右]カーソルボタンで音声チャンネルを個別に選択する
選択したチャンネル番号が点滅し、チャンネルごとに操作ができます。
4. 調整を終了後、[AUDIO LEVEL - REC]ボタン、または[SET]ボタン、または[EXIT]ボタンを押す
設定値を保存し、表示が消えます。

◆NOTE:

- 設定した値は、電源を切っても変わりません。
- 音声レベルの変更中に[RESET]ボタンを押すと、選択チャンネルのレベルを基準値に戻すことができます。

■ 記録スロットの変更について

microP2カードスロットでは、記録中または停止中に記録対象のスロットを変更することができます。



1. メニュー「USER BUTTON」(→110 ページ)で、[USER] ボタンに「SLOT SEL」機能を割り当てる

2. 記録中または停止中に、[USER] ボタンを押す。 押すたびに記録スロットが変更されます。

◆NOTE:

- 記録対象のP2カードに切り替えを行った直後などでSLOT SELECTが行えなかった場合は、メニュー「OSD TC SELECT」(→108 ページ)を「T&S&M」に設定しているときに、OSDの3行目に「SLOT SEL INVALID」と表示します。
- SLOT SEL機能で切り替わるスロットは、メニュー「REC MEDIA」(→97 ページ)でmicroP2を選択した場合に限定されます。

さまざまな記録

■ ホットスワップ記録

microP2メモリーカードスロットの両方にP2カードを装着すれば、2枚のカードにわたって連続記録することができます。また、1枚を記録中にもう片方のカードを差し替えて、3枚以上のカードに連続記録することもできます(ホットスワップ記録)。

◆NOTE:

- 空きスロットにP2カードを挿入するタイミング(2つのスロットにわたって連続記録するときの前後)によって、P2カードの認識が遅くなり、ホットスワップ記録ができない場合があります。P2カードを挿入する際は、現在記録中のカードの残量が1分以上の状態で行うことを推奨します。
- 本機はホットスワップ再生に対応しておりません。

■ LOOP REC

microP2メモリーカードスロットに2枚のP2カードが挿入されているとき、順次記録対象カードを切り替えながら連続記録する機能が“LOOP REC”です。P2カードの記録残量がなくなった時点で最初に戻って、古い記録を消去しながら新規に記録を行うことにより、継続的な記録が可能となります。LOOP REC機能を使用するには、メニュー「RECORDING」(→96 ページ)にて「LOOP」を選択してください。

◆NOTE:

- microP2メモリーカードのみLOOP REC機能が使用可能です。P2メモリーカードでは使用できません。
- LOOP RECには、1分以上の記録残量があるP2カードをご使用ください。
- LOOP REC中は、記録に使用するP2カードのP2カードアクセスランプが、すべてオレンジ色に点灯します。これらのP2カードを抜くと、LOOP RECは停止しますのでお気をつけください。

メニュー「RECORDING」にて「LOOP」を選択しているときは

- OSDの2行目に「LOOP」と表示されます。ただし「RECORDING」にて「LOOP」を選択しているときでも、カードが1枚しか挿入されていないなかったり、カードの記録残量が1分未満の場合、LOOP RECは機能しません。この場合、OSDの「LOOP」表示が点滅します。
- P2カード残量は記録フォーマットに応じた標準的な記録保証時間を表示します。古い記録を消去した直後にLOOP RECを停止した場合、実際の残量は表示された時間より少なくなることがあります。
- プロキシ記録はできません。

LOOP REC中は

- ショットマークの付加、削除はできません。また、テキストメモの付加はできません。

LOOP RECモードを解除するには

- メニュー「RECORDING」にて「NORMAL」を選択する。

■ AUTO REC

本機能に対応したカメラとHD SDIまたはHDMIで接続しているときに、カメラのREC START / STOPに連動して自動的に記録を開始・停止させることができます。

1. メニュー「AUTO REC」(→96 ページ)を使用するカメラに合わせる

2. 本機の[REC] ボタンと[PAUSE] ボタンを同時に押しREC PAUSEモードにする

カメラのREC START / STOPに連動して記録・停止を繰り返します。

◆NOTE:

本機の記録開始・停止タイミングはカメラよりも遅れることがあり、精度を保証するものではありません。

■ SIMUL REC

microP2メモリーカードスロットに2枚のP2カードが挿入されているとき、同じ映像を2枚のP2カードに記録する機能です。

SIMUL REC機能を使用するには、メニュー「SIMUL REC」(→96 ページ)にて「ON」を選択してください。

◆NOTE:

- メディア残量表示には、SIMUL RECができる残量時間(記録残量が少ないほうのメモリーカード残量時間)が表示されます。
- 各スロットどちらかのP2カードの記録残量がなくなった場合、SIMUL RECを停止します。
- SIMUL RECはメニュー「LINE&FREQ」(→114 ページ)が「1080-59.94P」または「1080-50P」に設定されているときは記録できません。
- SIMUL REC中にどちらかのP2カードに記録異常が発生し、記録が停止した場合、もう一方のP2カードは継続して記録します。ただし、アクセス中にカードを抜いた場合は記録を終了します。
- P2カードが2枚とも認識されてから記録を開始してください。P2カードが2枚とも認識される前に記録を開始した場合は、認識されたどちらか1枚のP2カードで通常記録を行います。その場合、記録の終了後にカードの状態を確認しますので、その時点で2枚を認識すればSIMUL RECを行います。

メニュー「SIMUL REC」にて「ON」を選択しているときは

- OSDの2行目に「SIMUL」と表示されます。ただし、「SIMUL REC」を「ON」に設定しているときでも、カードが1枚しか挿入されていない場合はSIMUL RECは機能しません。この場合、OSDの「SIMUL」表示が点滅します。
- 「SIMUL」表示が点滅しているときに記録ボタンを押すと、記録残量のあるP2カードに通常記録を行います。

SIMUL RECモードを解除するには

- メニュー「SIMUL REC」にて「OFF」を選択する。

デュアルコーデック(プロキシー)記録



本機で記録した本素材の映像・音声記録とは別に、H.264形式の映像とタイムコードデータなどのリアルタイムデータを、P2カードおよびSDメモリーカードに同時に記録します。

(→メニュー「DUAL CODEC SETUP」98 ページ)

■ 記録モードと記録信号(ビデオ、オーディオ)

記録モード	ビデオ			オーディオ		
	解像度	コーデック	ビットレート	コーデック	チャンネル数	1チャンネルあたりのビットレート
LOW 2CH MOV	1080iモード 480 × 270 1080 59.94/50pモード 320 × 180	H.264 Baseline Profile	800 kbps	AAC-LC	2CH	64 kbps
HQ 2CH MOV	640 × 360	H.264 High Profile	1500 kbps	AAC-LC	2CH	64 kbps
SHQ 2CH MOV	960 × 540	H.264 High Profile	3500 kbps	リニアPCM	2CH	768 kbps
AVC-G6 2CH MOV	1920 × 1080	H.264 High Profile	6 Mbps	AAC-LC	2CH	64 kbps

■ プロキシーデータの記録

メニュー「CODEC USAGE」(→98 ページ)を「PROXY REC(P2)」または「PROXY REC(P2&SD)」に設定して、[REC]  ボタンを押しながら [PLAY]  ボタンを押すことにより、本素材の記録と同時にプロキシー記録を開始します。

- 記録されたプロキシーデータの詳細情報を、クリップのプロパティから確認することができます。

(→「クリップメタデータ情報の表示」49 ページ)


- プロキシーデータは、映像音声ファイルとリアルタイムメタデータファイルとして、P2カードやSDメモリーカードに記録されます。

映像音声ファイル:*****.MOV

リアルタイムメタデータファイル:*****.BIN
フレーム単位にタイムコード、ユーザズビットなどの情報を記録します。

- プロキシーデータをSDメモリーカードに記録中は、SDメモリーカードアクセスランプが、緑色に点灯します。
- 短い記録を繰り返すと、記録できる時間が空き容量に比べ大きく減少することがあります。
- クリップ数が1000以上になると、容量が残っていてもSDメモリーカードにプロキシーデータを記録することができません。メニュー「SD CARD PROPERTY」(→111 ページ)の「NUMBER OF CLIP」で、SDメモリーカードに記録されているクリップ数を確認します。
- SDメモリーカード内のクリップには、ショットマーク、およびテキストメモを付けることができません。
- サムネール画面で、P2 カードに記録されたクリップを削除しても、SDメモリーカードに記録されたプロキシーデータは削除されません。

■ プロキシーデータの確認

- プロキシーデータの記録を行った素材のクリップには  のインジケーターが表示されます。
- プロキシーデータは、P2 Viewer Plusで確認してください。P2 Viewer Plusのバージョンによっては確認できない場合があります。P2 Viewer Plusに関する情報は当社Webサイトをご覧ください。(→「WebサイトURLについて」2 ページ)
- プロキシーデータは、本機では再生できません。

◆ NOTE:

- 次のモードのときは、デュアルコーデック記録はできません。
 - LOOP REC
 - SIMUL REC
 - 480-59.94i, 576-50iのとき
 - AVC-I200のとき
- メニュー「LINE&FREQ」(→114 ページ)で「1080-59.94p」または「1080-50p」に設定している場合は記録できません。
- メニュー「REC FORMAT」(→114 ページ)で「DVCPRO HD」または「AVC-G12」、「AVC-I50」に設定している場合は、「AVC-G6 2CH MOV」は記録できません。
- メニュー「FILE SPLIT」(→97 ページ)で「ONE FILE」に設定している場合は記録できません。
- プロキシー記録をする場合は、class2 以上のクラス表示があるSDメモリーカード、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカードをご使用ください。プロキシーデータの記録フォーマットが「SHQ 2CH MOV」または「AVC-G6 2CH MOV」の場合は、class4以上のカードをご使用ください。

ストリーミング機能

本機で記録中の映像や音声を、ネットワーク経由(有線LAN、ワイヤレスLAN、4G / LTE)でストリーミング配信ができます。本機とネットワーク接続された機器のアプリケーションソフト(P2 Browser やP2 Streaming Receiver)、または本機から配信されるストリーミング映像が受信可能なサーバーなどに配信します。ストリーミング配信を開始するには、アプリケーションソフトから操作する方法と、本機から操作する方法があります。

◆NOTE:

P2 Browserでストリーミング映像を表示するには、アプリケーションソフトから操作する方法でストリーミング配信を開始してください。本機から操作する方法ではストリーミング映像を表示できません。

ネットワーク接続の設定

アプリケーションソフトの設定に従って、本機のネットワーク設定をします。

1 ネットワークの接続方法を設定する

メニュー「NETWORK SEL」(→105 ページ)でネットワークの接続方法を選択します。

2 ネットワークの各種設定を行う

•本機のメニューで設定する場合

ネットワーク接続の各種設定をメニュー「NETWORK」(→105 ページ)で行います。詳しくは「ネットワーク接続について」(→64 ページ)を参照ください。

•SDメモリーカード内の設定値を直接参照して設定する場合

SDメモリーカード内の設定値を本機に保存することなく、直接参照して設定します。

- 1) 本機側のメニュー「SETTING DATA」(→105 ページ)で「SD CARD」を選択します。
- 2) あらかじめ、設定値が保存されているSDメモリーカードを挿入して、カメラ本体の電源を入れます。

◆NOTE:

SDメモリーカードの設定値は、次の方法で保存できます。

- メニュー「STREAMING SETTING」(→106 ページ)で「SAVE(SD CARD)」を選択します。
- 使用するアプリなどでSDカードへ設定を保存します。

•SDメモリーカード内の設定値を本機に保存してから設定する場合

- 1) メニュー「SETTING DATA」(→105 ページ)で「INTERNAL」を選択します。
- 2) 設定値が保存されているSDメモリーカードを挿入し、メニュー「STREAMING SETTING」(→106 ページ)で「LOAD(SD CARD)」を選択します。

ストリーミング機能の利用

ネットワーク接続の設定が完了したら、ストリーミング機能についての設定をします。

1 メニュー「CODEC USAGE」(→98 ページ)で「STREAMING」を選択する

ストリーミング機能が有効になります。

2 メニュー「STREAMING MODE」(→98 ページ)で、ストリーミングモードを設定する

- 「[LOW]」、「[HQ]」、「[AVC-G6]」、「[SHQ(QoS)]」、「[AVC-G(QoS)]」のいずれかを選択します。
- システムモードとストリーミングモードの組み合わせについては、「システムモードとストリーミング出力対応一覧」(→35 ページ)の表を参照してください。

3 ストリーミング配信を開始する方法を設定する

•アプリケーションソフトからの操作で配信を開始する場合

メニュー「START TRIGGER」(→106 ページ)で「RECEIVER」を選択します。

•本機からの操作で配信を開始する場合

1) メニュー「START TRIGGER」(→106 ページ)で「AJ-PG50」を選択します。

2) 手順2でストリーミングモードを「[SHQ(QoS)]」または「[AVC-G(QoS)]」に設定した場合は、次の設定をします。

- メニュー「QoS MAX RATE」(→98 ページ)および「QoS MIN RATE」(→98 ページ)を設定します。
- メニュー「STREAMING LATENCY」(→99 ページ)でストリーミング配信時の遅延モードを設定します。「[NORMAL]」は、ストリーミングの安定性を重視する場合に、「[SHORT]」は、ストリーミングの遅延を少なくすることを重視する場合に設定します。

4 ストリーミング配信を開始する

• アプリケーションソフトからの操作で配信を開始する場合

アプリケーションソフトで配信を開始する操作をした場合、本機はストリーミング映像の配信を開始します。

• 本機からの操作で配信を開始する場合

メニュー「STREAMING」(→106 ページ)で「START」を選択します。

本機が配信先にネットワーク接続されると、ストリーミング映像の配信を開始します。

ストリーミング映像の配信を停止する場合は、メニュー「STREAMING」(→106 ページ)で「STOP」を選択します。

◆NOTE:

- P2 Browserを使用してストリーミング映像を表示するには、Windows OSではVLC Media Player、Mac OSではQuickTime Playerが必要です。
ただし、P2 BrowserはQoS機能に対応していません。
- ビデオストリーミング対応のアプリケーションソフトのダウンロードや動作環境については、次のWebサイトのサポートデスクを参照してください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav
- ストリーミング機能は、デュアルコーデック記録およびサイマル記録と同時に使用できません。
- ストリーミング機能は、レックデュアリングアップロード機能と同時に使用できません。
- ネットワークを利用できる帯域が低く、ストリーミング再生が途切れる場合は、「STREAMING MODE」でより低いビットレートのモードを選択するか、「SHQ(QoS)」または「AVC-G(QoS)」を選択すると、改善することがあります。なお、「SHQ(QoS)」または「AVC-G(QoS)」を選択する場合、ストリーミングデータの受信端末がQoS機能に対応している必要があります。
- 再生モード(レックチェックを含む)では、本機からのストリーミング配信映像は黒画面になります。
- ストリーミング配信中にメニュー「INPUT SEL」(→103 ページ)を切り替えたときは、ストリーミング配信が停止することがあります。
- ストリーミング配信中に入力信号が乱れたときは、ストリーミング配信が停止することがあります。

システムモードとストリーミング出力対応一覧

本機のシステムモードとストリーミングモードは次のような関係になります。

- 「○」は対応、「-」は非対応を示します。

SYSTEM MODE		STREAMING MODE	
LINE&FREQ	REC FORMAT	HDストリーミング AVC-G6、AVC-G(QoS)	SDストリーミング HQ、LOW、SHQ(QoS)
1080-59.94i	AVC-I100/60i	○	○
	AVC-I50/60i	-	○
	AVC-G50/60i	○	○
	AVC-G25/60i	○	○
1080-50i	AVC-I100/50i	○	○
	AVC-I50/50i	-	○
	AVC-G50/50i	○	○
	AVC-G25/50i	○	○
720-59.94P	AVC-I100/60P	○	○*1
	AVC-I50/60P	-	○*1
	AVC-G50/60P	○	○*1
	AVC-G25/60P	○	○*1
720-50P	AVC-I100/50P	○	○*1
	AVC-I50/50P	-	○*1
	AVC-G50/50P	○	○*1
	AVC-G25/50P	○	○*1

*1 「LOW」は選択できません。

ストリーミングモードの解像度 / フレームレート一覧

ストリーミングモード	解像度	コーデック	フレームレート	ビットレート
AVC-G6	1920×1080*1	ビデオ:H.264 High Profile オーディオ: AAC-LC 2ch	30 fps/25 fps	6 Mbps
	1280×720*2		60 fps/50 fps	
HQ	640×360		30 fps/25 fps	1500 kbps
LOW	480×270	ビデオ:H.264 Baseline Profile オーディオ: AAC-LC 2ch	30 fps/25 fps	800 kbps
AVC-G(QoS)	1920×1080*1	ビデオ:H.264 High Profile オーディオ: AAC-LC 2ch	30 fps/25 fps	受信側アプリケーションに より可変 最大 9 Mbps
	1280×720*2		60 fps/50 fps	
SHQ(QoS)	960×540	ビデオ:H.264 High Profile オーディオ: AAC-LC 2ch	30 fps/25 fps	受信側アプリケーションに より可変 最大 6 Mbps

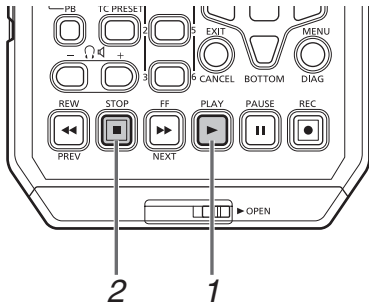
*1 「LINE&FREQ」が「1080-59.94i」、「1080-50i」のとき

*2 「LINE&FREQ」が「720-60P」、「720-50P」のとき

クリップを再生する

再生する

再生する前に、メニューで再生する周波数やフォーマットなどを設定します。(→設定メニュー「SYSTEM MODE」114ページ)



1 [PLAY] ボタンを押す

再生が始まります。再生はクリップの記録順に再生されます。

◆NOTE:

- [PLAY] ボタンの代わりに、[REW] ボタンを押すと早戻し再生、[FF] ボタンを押すと早送り再生を行います。
- 異なった圧縮記録フォーマットを再生すると、クリップとクリップの間で映像、音声が入乱れることがあります。
- 同じフォーマット映像で音声ビット数が異なったクリップを連続再生すると、クリップ間の音声がミュートになります。

2 [STOP] ボタンを押す

再生が停止し入力画(EE)が表示されます。

再生音声レベル調整について

次の方法で再生レベルの変更ができます。

1. [AUDIO LEVEL-PB] ボタンを押す
再生ボリュームが表示されます。
2. [上] / [下] カーソルボタンを押す
全チャンネルのレベルが操作できます。
3. [左] / [右] カーソルボタンで音声チャンネルを個別に選択する
選択したチャンネル番号が点滅し、チャンネルごとに操作ができます。
4. 調整を終了後、[AUDIO LEVEL - PB] ボタンまたは [EXIT] ボタンを押す
設定値を保存し、表示が消えます。

◆NOTE:

- 設定した値は、電源を切っても変わりません。
- 音量レベルの変更中に [RESET] ボタンを押すと、選択チャンネルのレベルを基準値に戻すことができます。

可変速再生

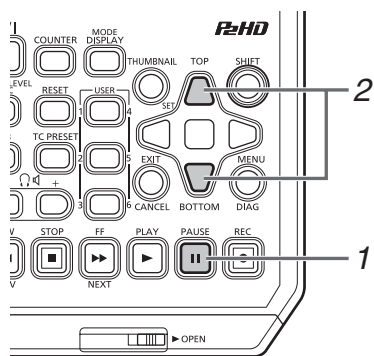
再生速度を変えて、場面を探すことができます。


1 再生、STILL中に、[左] / [右] 十字カーソルボタンを押す
高速またはスロー再生となり、SHTL +/- 「速度」が表示されます。

2 [左] / [右] 十字カーソルボタンを押して、再生速度を切り替える


- ボタンを押すごとに再生速度が変化します。可変速度の最大値はメニュー「SHUTTLE MAX」(→97ページ)の設定値に従います
- 10倍速より速い速度では音声は再生されません。
- [右] 十字カーソルボタンで正方向に速度を変化させ、[左] 十字カーソルボタンで逆方向に速度を変化させます。
- [STILL / PAUSE] ボタンや [SET] ボタンを押すと速度0状態になります。通常の再生に戻すには、[PLAY] ボタンを押します。
- ネイティブ記録された素材の可変速再生(X1倍速を含む)では、プルダウンシーケンスが均一でないときがあります。
- AVC-Gフォーマットで記録されたクリップの逆再生および高速再生では全フレームの画は再生されず、間欠再生となります。

コマ送り再生




1 [PAUSE]  ボタンを押して、静止画状態にする

2 [上] / [下]カーソルボタンを押す

- [上]カーソルボタンで正方向に、[下]カーソルボタンで逆方向にコマ送りします。
- カーソルボタンを押し続けると、連続してコマ送りします。通常の再生に戻すには、[PLAY]  ボタンを押します。


単一クリップ再生(1クリップ再生)

1 メニュー「USER BUTTON」(→110 ページ)で、[USER]ボタンに「1 CLIP PLAY」機能を割り当てる

2 サムネール表示中またはサムネール表示画面から [PAUSE]  ボタンを押し、静止画状態のときに「1 CLIP PLAY」を割り当てた[USER]ボタンを押す

- カーソル位置または現在位置のクリップのみ再生します。
- この再生中はSTOPのみ有効です。

◆NOTE:

- [SHIFT]ボタンを押しながら[PLAY]  ボタンを押したときも、単一クリップ再生を行います。
- 録再画面モードで「1 CLIP PLAY」操作しても単一クリップ再生は行いません。この場合は通常の再生となります。

クリップおよびテキストメモ送り/ 戻し

1 再生、静止画面中など映像が出ている状態にする

2 [PREV]ボタンまたは[NEXT]ボタンを押す

メニュー「SEEK POS SEL」(→97 ページ)の設定値に従い、クリップ先頭やテキストメモ位置に移動します。

クリップ再生の全体遷移


本機では映像・音声の再生速度を可変することができます。速度や状態の動かし方は以下の図のとおりです。

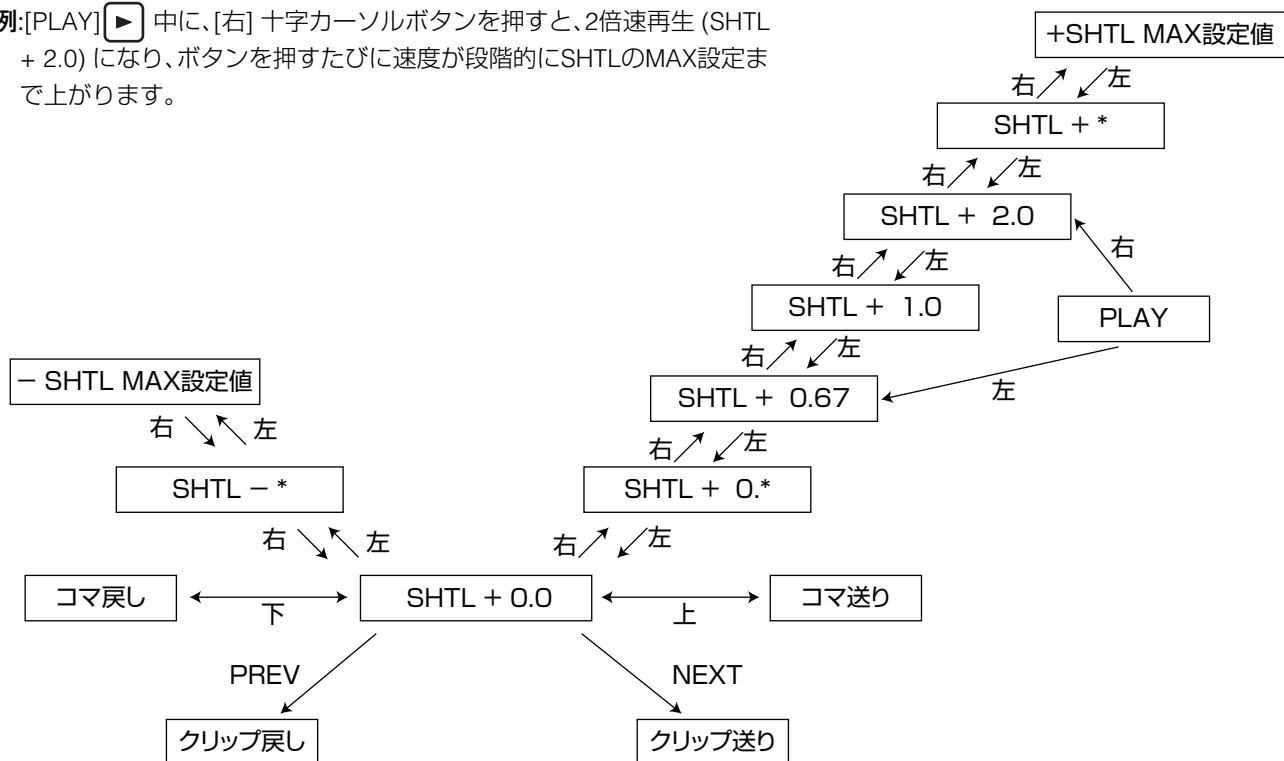
枠内: 状態と速度

矢印: 遷移可能な方向

矢印文字: カーソルボタン操作

• 図表の*は、段階的に変わる速度を表します。

例:[PLAY]  中に、[右] 十字カーソルボタンを押すと、2倍速再生 (SHTL + 2.0) になり、ボタンを押すたびに速度が段階的にSHTLのMAX設定まで上がります。



リピート再生

再生可能なクリップを繰り返して再生します。

1 [MENU]を押す、メニューを表示する


(→「メニューの操作」88 ページ)

2 メニュー「REPEAT PLAY」(→96 ページ)を「ON」に設定する

3 メニューを閉じる

4 [PLAY] ボタンを押して再生を始める。

すべてのクリップを繰り返して再生します。

- [STOP]  ボタンが押されるまで、繰り返し再生を行います。
- 可変速再生など、通常再生以外の動作では、繰り返し再生を行わず、再生可能なクリップの始端 (BOS) または終端 (EOS) で停止します。
- リピート再生時は、OSDの動作状態に「REPEAT PLAY」と表示されます。

サムネイル画面

本機にはクリップを管理するためのサムネイル画面があります。「クリップ」とは、画像、音声、メタデータなどの付加情報を含む、ひとかたまりのデータのことです。通常は記録を開始して停止するまでの1回の記録によって生成される「1ショット」が「1クリップ」になります。複数のP2カードにまたがったショットについても単一クリップとして扱われます。

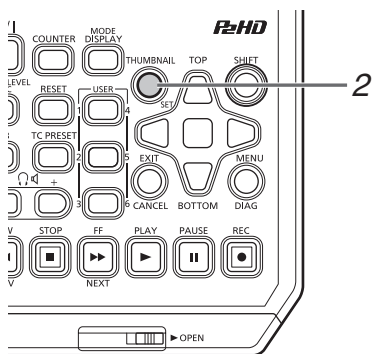
サムネイル画面には、各クリップに記録されたサムネイルが一覧表示されます。このサムネイルを確認しながら、以下の操作を行ってクリップを管理できます。

- P2カードのクリップの再生
- ストレージデバイス内のクリップの簡易再生
- クリップのコピーや削除
- クリップにテキストメモを付加
- テキストメモの確認と削除
- ショットマークの表示と消去
- P2カードのフォーマット
- クリップのプロパティ表示
- P2カードの状態表示

◆NOTE:

- サムネイルは、実際の映像の一部成分から生成されています。そのため実際の映像より荒いものとなります。
- サムネイルに関するメニューはサムネイル画面のときに操作できます。

サムネイル画面を表示する



1 本機の[電源] ボタンを1秒以上押し、電源をONにする

◆NOTE:

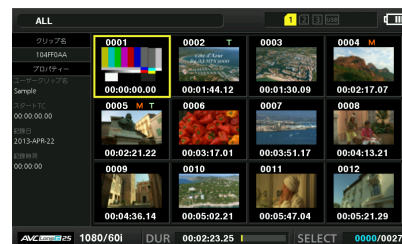
メニュー「POWER ON GUI」(→102 ページ)で「THUMBNAIL」を選択している場合は、電源を入れるとサムネイル画面が表示されます。

2 [THUMBNAIL] ボタンを押す

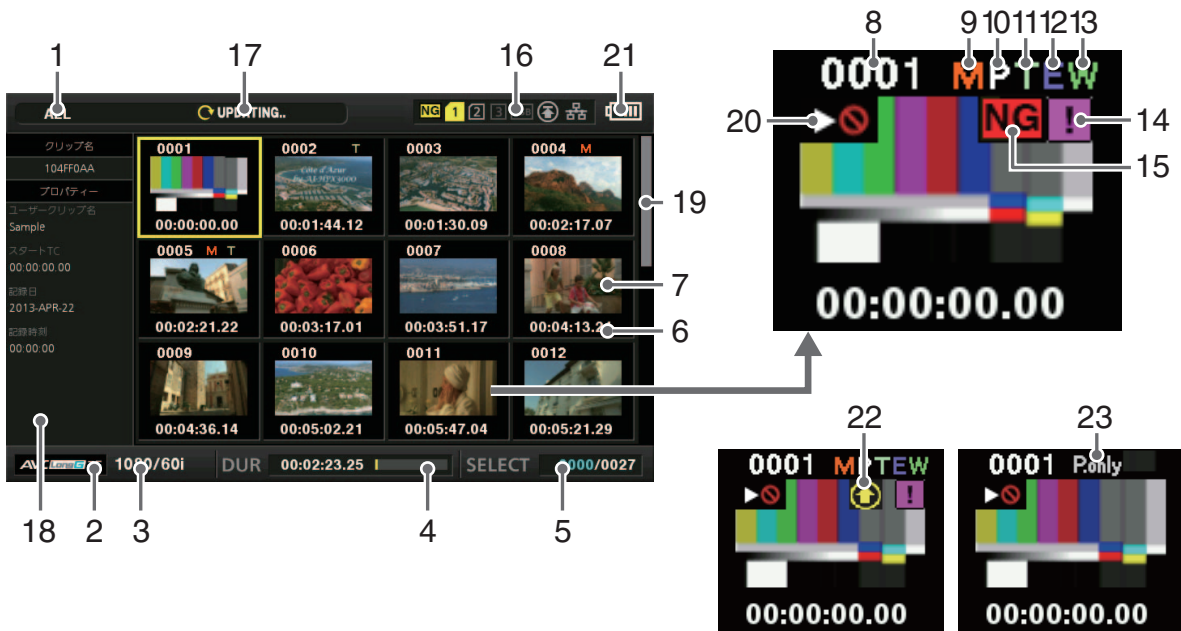
液晶モニターにサムネイル画面が表示されます。再度[THUMBNAIL] ボタンを押すとサムネイル画面が閉じ、録再画面表示(ビデオ映像)となります。

◆NOTE:

メニュー「GUI OUTPUT」(→108 ページ)の設定で、HDMI OUT、SDI OUTに出力することができます。



サムネイル画面の各部の名称とはたらき



1. 表示状態

画面に表示されている情報の種類が、以下のように表示されます。

ALL:	すべてのクリップ
SAME FORMAT:	システムフォーマットと同じフォーマットのクリップ
SELECT:	[SET]ボタンで選択したクリップ
MARKER:	ショットマークが付加されたクリップ
TEXT MEMO:	テキストメモデータが付加されたクリップ
SLOT n:	n番スロットのP2カード内のクリップ
P2 / REMAIN:	メディア情報(残量表記)
P2 / USED:	メディア情報(使用量表記)
META DATA:	設定されたメタデータ
NG CLIP:	不良クリップ

表示の切り替え方法

(→「サムネイル画面の表示の変更」43 ページ)

2. 記録モード

カーソル位置のクリップの記録モードが表示されます。

3. システムフォーマット

カーソル位置のクリップの記録フォーマットが表示されます。

4. デュレーション

カーソル位置のクリップの長さ(デュレーション)とクリップの長さに対して現在の概略再生位置が表示されます。再生位置表示は、メニュー「PB POSITION」(→93 ページ)で、「RESUME」が選択されているときに有効です。再生開始位置が先頭でない場合に、概略の再生位置がわかります。

5. 選択クリップ数や再生時間表示およびボンディング機器情報

メニュー「INFORMATION SEL.」(→94 ページ)で「THUMBNAIL INFO.」が選択されているとき、サムネイル画面で選択されているクリップ数やクリップ再生時間等が表示されます。

(→「クリップ数・再生時間表示の設定」43 ページ)

また、「BONDING DEV. INFO.」が選択されているとき、ボンディング機器の電波強度やバッテリー残量が表示されます。

6. クリップ情報表示

クリップの記録開始時のTC(タイムコード)/UB(クリップの記録開始時のユーザービット)/撮影時刻/撮影日/撮影日時/クリップ名/ユーザークリップ名/スロット番号のいずれかが表示されます。

(→「サムネイル画面の表示の変更」43 ページ)

7. サムネイル

各クリップに記録されたサムネイルを表示します。このサムネイルはEXCH.THUMBNAIL機能を使用して変更をすることができます。

(→「サムネイル画面の表示の変更」43 ページ)

8. クリップ番号

通常は記録日時が早い順に、P2カード上のクリップに割り当てた番号が表示されます。再生できないクリップは、クリップ番号が赤色になり、再生不可インジケータが表示されます。表示順は選択順クリップ表示やSORT機能を使用して変更をすることができます。
(→「サムネール画面の表示の変更」43 ページ)

9. **M** ショットマークインジケータ

ショットマークが付加されたクリップに表示されます。

10. **P** プロキシインジケータ

プロキシデータが付加記録されているクリップに表示されます。

11. **T** テキストメモインジケータ

テキストメモデータが付加されているクリップに表示されます。

12. **E** エディットコピーインジケータ

エディットコピーしたクリップなどに表示されます。

13. **W** ワイドインジケータ

16:9の画角で記録されたクリップに表示されます。ただしHDフォーマットのクリップのときは表示されません。

14. **I** 不完全クリップインジケータ

複数のP2カードにまたがって記録されているにもかかわらず、そのうちのいずれかのP2カードが、P2カードスロットに挿入されていないときなどに表示されます。

15. **NG/NG** 不良クリップ・**?** 不明クリップインジケータ

記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合のあるクリップに表示されます。黄色の不良クリップインジケータ(**NG**)が表示されたクリップは、修復が可能な場合があります。

(→「不良クリップの修復」48 ページ)

赤色の不良クリップインジケータ(**NG**)が表示されたクリップは、修復できませんので削除してください。削除できないときは、P2カードをフォーマットしてください。P2規格のフォーマットなどが異なるクリップのときは、**NG**の代わりに**?**が表示されます。

◆NOTE:

プロキシのみのクリップ(クリップをSDカードスロットのカードへコピーしたり、FTP(PROXY)でコピーしたクリップ)はAVデータがないため不良クリップとして表示されます。

16. P2カードスロット・ストレージデバイスおよび

NETWORKの状態表示

P2カード、ストレージデバイスおよびNETWORKの接続の状態が、以下のように表示されます。



NG
(黄色) 挿入されたP2カードに修復できる可能性がある不良クリップが1つでも含まれている場合に表示されます。
詳しくは「15. **NG/NG** 不良クリップ・**?** 不明クリップインジケータ」(このページ)を参照してください。

NG
(赤色) 挿入されたP2カードに修復できない不良クリップが1つでも含まれている場合に表示されます。
詳しくは「15. **NG/NG** 不良クリップ・**?** 不明クリップインジケータ」(このページ)を参照してください。

1 **2** **3** P2カードが挿入されているP2カードスロット番号が白色で表示されます。

1
(黄色) カーソル位置のクリップが記録されているP2カードのP2カードスロット番号が、黄色で表示されます。クリップが複数のP2カードにまたがって記録されているときは、そのクリップが記録されたカードのスロット番号すべてが表示されます。

◆NOTE:

挿入されたP2カードが以下のような場合に、枠が赤色になります。

- 「RUNDOWN CARD」
P2カードの規定の書き替え回数を超えた場合
- 「DIR ENTRY NG CARD」
P2カードのディレクトリ配置が不正規な場合
- 「AUTH NG CARD」
CPSパスワードが認証できないmicroP2メモリーカードの場合



(灰色)

ストレージデバイスが非接続のとき、灰色で表示されます。



(白色)

ストレージデバイスが使用可能のとき、白色で表示されます。



(黄色)

ストレージデバイスのクリップがサムネール表示されているとき、黄色で表示されません。



(赤色)

ストレージデバイスが接続されているが、使用可能な状態でないときに赤色で表示されます。




(灰色)

LANの設定がOFFになっているとき、灰色で表示されます。

	LANの設定がONになっているとき、白色で表示されます。
(白色)	
	LANケーブルが挿入されLINKしているとき、黄色で表示されます。
(黄色)	
	本機に異常があるときは、赤色で表示されます。故障が考えられますのでお買い上げ販売店にご相談ください。
(赤色)	
	ワイヤレスLAN が正常に起動していないとき、灰色で表示されます。
(灰色)	
	ワイヤレスLAN が未接続状態のとき、白色で表示されます。
(白色)	
	ワイヤレスLAN が動作中のとき、黄色で表示されます。
(黄色)	
	ワイヤレスLAN 接続状態に異常があるとき、赤色で表示されます。
(赤色)	
	4G/LTE USB モデムが正常に起動していないとき、灰色で表示されます。
(灰色)	
	4G/LTE USB モデムが未接続状態のとき、白色で表示されます。
(白色)	
	4G/LTE USB モデムが接続状態のとき、黄色で表示されます。黄色の縦棒で電波強度を表示します。
(黄色)	
	4G/LTE USB モデムの接続に異常があるとき、赤色で表示されます。
(赤色)	
	アップロードが開始されていない状態のとき、または、アップロードが完了したとき、灰色で表示されます。
(灰色)	
	アップロードが実行中のとき、黄色で表示されます。
(黄色)	
	アップロードエラーが発生したとき、次の転送が開始されるまで表示されます。
(赤色)	

17.状態メッセージ

処理状態を示すメッセージが表示されます。たとえば、画面更新中には「UPDATING」の文字と回転するアイコンが表示されます。

18.簡易プロパティ表示

カーソル位置のクリップの各種プロパティを表示します。メニュー「THUMBNAIL SIZE」(→93 ページ)が「SMALL」設定時に表示します。表示する項目はメニューから選択できます。(→「プロパティ表示する項目の設定」43 ページ)

◆NOTE:

表示できる文字数以上の文字がある場合はすべて表示されずに表示可能な文字のみを表示します。



19.サムネールスクロールバー







現在表示しているサムネールが、サムネール全体のどの辺りかを示します。

20.再生不可インジケータ

クリップがシステム周波数と異なるなど再生できない場合に表示されます。





21.バッテリー残量表示

バッテリー駆動時は、を表示し、ACアダプター駆動時は、を表示します。

バッテリーの残量が少なくなるにつれて →  →  →  と変わります。容量がなくなると ()が点滅します。

22.レックデュアリングアップロード状態インジケータ

レックデュアリングアップロード状態インジケータは、アップロードリストに登録されている最大100件のクリップの状態を次のように表示します。

	アップロードが開始されるまでの状態のとき、表示されます。
(灰色)	
	アップロードが実行中のとき、表示されません。
(黄色)	
	アップロードが正常に完了し、アップロードリストに登録された状態のとき、表示されません。
(緑色)	
	アップロードで転送エラーが発生し、アップロードリストに登録された状態のとき、表示されます。
(赤色)	

23.「P.only」インジケータ

プロキシのみのクリップに表示します。(FTPエクスポア画面のみ)

サムネイル画面の表示の変更

使用状況に応じてサムネイル画面をカスタマイズし、効率よく操作を行うことができます。

<例>

- メニュー「THUMBNAIL SETUP」(→93 ページ)を以下のよう
に設定します。
「INDICATOR」を「ALL HIDE」に設定
「DATA DISPLAY」を「CLIP NAME」に設定
「THUMBNAIL SIZE」を「LARGE」に設定
- メニュー「REPOSITION」(→91 ページ)を「SELECTED
CLIPS」に設定します。

サムネイル画面表示例



◆NOTE:

サムネイルの出力先はメニュー「GUI OUTPUT」(→108 ページ)で切り替えることができます。

表示するサムネイルの設定

1 カーソルボタンでメニュー「REPOSITION」(→91 ページ)の下にある、表示したいクリップの種類にカーソルを合わせる

2 [SET] ボタンを押す

表示するサムネイルの大きさ設定

1 カーソルボタンで、メニュー「THUMBNAIL SIZE」(→93 ページ)にて、表示したいサムネイルの大きさにカーソルを合わせる

2 [SET] ボタンを押す

クリップ情報表示の設定

用途に合わせ、クリップ情報の表示内容をカスタマイズできます。

1 カーソルボタンでメニュー「DATA DISPLAY」(→93 ページ)を選択し、設定したい項目にカーソルを合わせる

2 [SET] ボタンを押す

ボンディング機器情報表示の設定

1 カーソルボタンでメニュー「INFORMATION SEL.」(→94 ページ)の下にある「BONDING DEV. INFO.」を選択する

2 [SET] ボタンを押す

◆NOTE:

ボンディング機器から情報取得ができない場合は、表示されません。

クリップ数・再生時間表示の設定

1 カーソルボタンでメニュー「INFORMATION SEL.」(→94 ページ)の下にある「THUMBNAIL INFO.」を選択する

2 [SET] ボタンを押す

3 カーソルボタンでメニュー「THUMBNAIL INFO.」(→94 ページ)の下にある、表示したい情報の種類にカーソルを合わせる

4 [SET] ボタンを押す

プロパティ表示する項目の設定

サムネイルの左側に表示される簡易プロパティ項目を設定します。

1 カーソルボタンで、メニュー「PROPERTY DISP.」(→94 ページ)にカーソルを合わせる

2 [SET] ボタンを押し項目メニューに入る
選択されている項目にはチェックマークが付いています。

3 [SET] ボタンを押し、表示したい項目にチェックを付ける

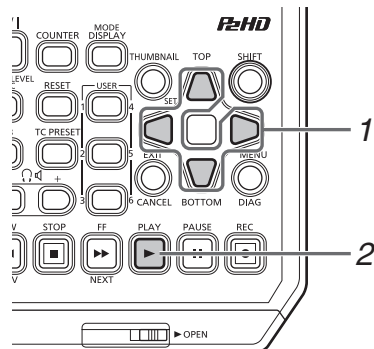
[SET] ボタンを押すと、未チェックの項目はチェックされ、チェック済みの項目はチェックが外れます。

◆NOTE:

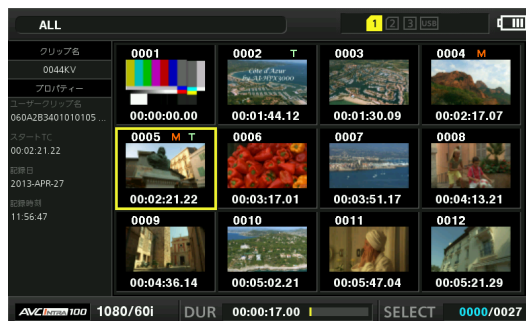
- 同時に表示できる項目数は最大6項目です。
- 6項目選択した段階で残りの未チェック項目はすべて選択不可となります。チェック済みの項目を未チェック状態に戻すことで再び項目の変更が可能になります。

クリップの再生

再生する



1 カーソルボタンで、再生したいクリップにカーソルを合わせる



2 [PLAY] ボタンを押す

カーソルを合わせたクリップから、再生が始まります。カーソルを合わせたクリップの再生が終わると、それ以降のクリップが順に再生され、最後のクリップの再生が終わるとサムネール画面に戻ります。

◆NOTE:



- クリップを再生するときには、クリップを選択する(サムネールに水色の枠が表示された状態にする)必要はありません。
- サムネール表示設定を変更して、指定したスロットのクリップだけを再生したり、テキストメモが付加されたクリップだけを再生したりすることができます。
- クリップの再生順を変えることができます。
 - 1 再生したい順番にクリップを選択します。
 - 2 メニュー「REPOSITION」(→91 ページ)で「SELECTED CLIPS」を選択すると、サムネールの表示を選択したクリップのみ(選択した順)に切り替えることができます。
- [PLAY] ボタンの代わりに[PAUSE] ボタンを押すと、クリップの先頭フレームの映像が静止画として表示されます。
- クリップ番号が赤色に表示されたクリップは、再生できません。
- [PLAY] ボタンの代わりに、[REW] ボタンを押すと早戻し再生、[FF] ボタンを押すと早送り再生が行えます。
- クリップの再生中に[STOP] ボタンを押すと、再生を停止してサムネール画面に戻ります。

- 再生を停止すると、カーソル位置は停止直前に再生していたクリップに移動します。
- 異なる圧縮記録フォーマットを再生すると、クリップとクリップの間で映像・音声がかかります。
- 映像が同じフォーマットで音声ビット数が異なるクリップを連続再生すると、クリップ間で音声はミュートになります。
- サムネイル画面をテキストメモ表示に変更すると、テキストメモ位置からの再生を行うことができます。
- サムネイルから再生するときの再生開始位置は、メニュー「PB POSITION」(→93 ページ)で設定できます。

単一クリップを再生する(1クリップ再生)

[USER] ボタンに「1 CLIP PLAY」を割り当てている場合、[USER] ボタンを押すと、カーソル位置のクリップのみを再生することができます。(→「USER BUTTON」110 ページ)

◆NOTE:

- 単一クリップ再生はサムネイル画面モード時のみ有効です。録再画面モードでは通常の再生動作になります。
- 単一クリップの再生終了後サムネイル画面に戻ったとき、カーソルは次のクリップに移動します。
- 単一クリップの再生中は、[STOP]  ボタン以外無効になります。
- 単一クリップの再生開始位置は、メニュー「PB POSITION」(→93 ページ)の設定に従います。
- サムネイル画面から再生を行い、PAUSE / SHTLで静止画を表示しているときに、「1 CLIP PLAY」を割り当てている[USER] ボタンを押すと、静止画の位置からクリップの最後まで再生することができます。
- [SHIFT]ボタンを押しながら[PLAY]  ボタンを押したときも、単一クリップ再生を行います。

可変速およびコマ送り再生などを行う

録再画面と操作は同じです。
(→「可変速再生」36 ページ、「コマ送り再生」37 ページ)

テキストメモ位置から再生する


1 メニュー「REPOSITION」(→91 ページ)で「TEXT MEMO CLIPS」を選択する

液晶モニター上段には、テキストメモが付加されたクリップのサムネイルが表示されます。液晶モニター下段には、カーソルで選択されているクリップのテキストメモに関する情報が表示されます。



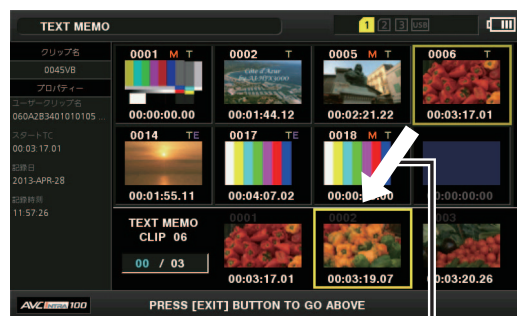
サムネイル表示部 テキストメモクリップの選択数(青色)と総数(白色)を表示 テキストメモが関連付けられた静止画像を表示

◆NOTE:

- メニュー「SYSTEM MODE」(→114 ページ)での設定と異なるクリップでは、テキストメモクリップの表示時に、下段に表示されるテキストメモ位置のサムネイルが表示されずに  が表示される場合があります。


2 再生したいテキストメモのあるクリップにカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

カーソルが液晶モニター下段に移ります。




カーソルが移動します。

3 カーソルが下段にある状態のまま、[左] / [右] カーソルボタンで、カーソルを再生したいテキストメモのサムネイルに合わせ、[PLAY] ボタンを押す

カーソルが合わされたテキストメモのタイムコード位置から再生します。再生中に[STOP]  ボタンを押して止めたり、クリップの終端で再生が終了したりすると、サムネイル画面に戻り、再生を開始したテキストメモのサムネイルにカーソルは戻ります。[EXIT] ボタンを押すと、カーソルがサムネイル画面の上段に戻ります。

◆NOTE:

- 再生中は[STOP]  ボタン以外の操作は無効になります。

クリップの選択と解除

サムネール画面で操作を行うとき、操作の対象となるクリップを選択します。

クリップの選択

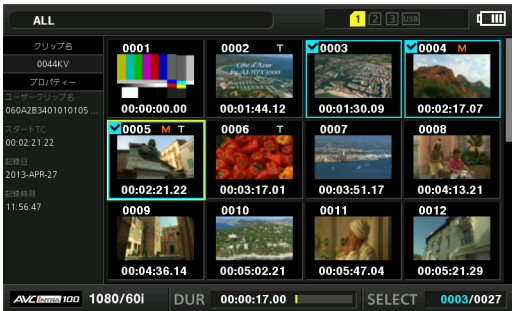
1 カーソルボタンで、黄色い枠(カーソル)を対象のクリップに合わせる

◆NOTE:

[TOP]/[BOTTOM] ボタンを押すと、カーソルを先頭クリップ/最終クリップへ移動できます。

2 [SET] ボタンを押す

カーソルを合わせたクリップに水色の枠と✓が表示され、選択状態になったことを表します。



◆NOTE:

- 手順1~2の操作を繰り返すと、複数のクリップを選択できます。
- クリップを選択した後、別のクリップにカーソルを移動し、[SHIFT] ボタンを押しながら[SET] ボタンを押すと、直前に選択したクリップからカーソル位置までのクリップをまとめて選択できます。
- クリップを選択すると、選択数に応じて画面右下のクリップ選択数表示部の選択数が更新されます。

クリップの選択解除

1 選択状態のクリップにカーソルを合わせ、再度[SET] ボタンを押す

選択が解除されます。

◆NOTE:

[CANCEL] ボタンを押すと、選択状態のクリップを一括して選択解除できます。

テキストメモやショットマークを付加する

クリップの特定の箇所を区別するために、クリップにテキストメモを付加することができます。また、他のクリップと区別するために、クリップにショットマークを付加することができます。ただし、書き込み禁止スイッチがProtect側になっているP2カードのクリップには付加できません。

テキストメモを付加する

テキストメモを付加すると、テキストメモ位置のサムネールを表示して再生やコピーを行ったり、映像を再生中に[NEXT]/[PREV] ボタンを押して、テキストメモの位置にシーク(移動)することができます。

(→設定メニュー「SEEK POS SEL」97 ページ)

1 任意の[USER] ボタンに「TEXT MEMO」を割り当てる

出荷時はUSER3に割り当てられています。

(→設定メニュー「USER BUTTON」110 ページ)

2 記録・再生・サムネール表示中に「TEXT MEMO」を割り当てた[USER] ボタンを押す

- 記録・再生中にこのボタンを押すと、押したときの位置にテキストメモが付加されます。このときOSDに「TEXT MEMO」(成功時)または「INVALID」(付加できないとき)が表示されます。
- サムネール画面を表示中にこのボタンを押すと、クリップのサムネール(通常は先頭)の位置にテキストメモが付加されます。

◆NOTE:

- テキストメモは、1クリップに最大100個付加できます。
- 再生中に「TEXT MEMO」に設定した[USER] ボタンを押したときに、再生画が一瞬止まることがあります。故障ではありません。
- LOOP REC中は、テキストメモの記録はできません。

テキストメモを削除する

サムネール画面をテキストメモ表示に変更すると、テキストメモの削除を行うことができます。

1 サムネールをテキストメモ表示に変更する

メニュー「REPOSITION」(→91 ページ)で「TEXT MEMO CLIPS」を選択します。

2 カーソルボタンでテキストメモを削除するサムネールへ移動し、[SET] ボタンを押す

カーソルが下段に移ります。

3 削除したいテキストメモのサムネールで[SET] ボタンを押して選択した後に、メニュー「DELETE」(→92 ページ)で[SET] ボタンを押す

[USER] ボタンに「DELETE」を割り当てている場合は、メニュー選択の代わりに[USER] ボタンを押すことで削除することもできます。

4 確認メッセージで「YES」を選択する

テキストメモが削除されます。

ショットマークを付加する

ショットマークを付加すると、マーカが表示されるため他のクリップと区別することができます。

1 任意の[USER] ボタンに「MARKER」を割り当てる

出荷時はUSER6に割り当てられています。
(→設定メニュー「USER BUTTON」110 ページ)

2 カーソルボタンで、対象のクリップにカーソルを合わせる

3 「MARKER」を割り当てた[USER] ボタンを押す

ボタンを押すたびにショットマークインジケータの「ON」/「OFF」が切り替わります。

◆NOTE:

- 録再画面でもボタンを押した場所のクリップにショットマークは付加されます。
- 複数のP2カードにまたがるクリップに対してショットマークを付加または削除するときは、そのクリップが記録されたすべてのP2カードを挿入した状態で行ってください。
- LOOP REC中は、ショットマークの付加、削除はできません。

クリップをコピーする

クリップをP2カードやUSB接続のストレージデバイス、FTPサーバーにコピーできます。

◆NOTE:

- コピー中に電源をOFFにしたり、カードを抜き差ししたりしないでください。不良クリップができます。
- 不良クリップができてしまった場合は、クリップを削除してから、再度コピーを行ってください。
- 不完全クリップは連結した後でコピーしてください。

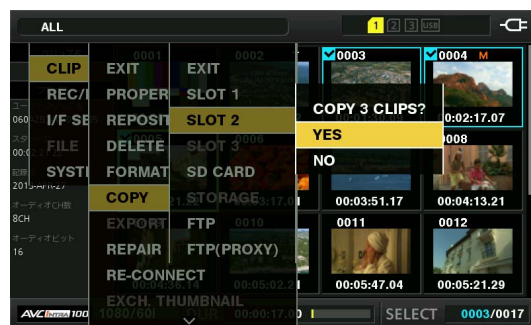
1 コピーするクリップを選択する

2 カーソルボタンで、メニュー「COPY」(→92 ページ)のリストからコピー先にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

- 複数のクリップを選択していたときは、[SET] ボタンを押した後に選択しているクリップ数が表示されます。
- コピー先がストレージデバイス(→「USB HOST端子で外部機器と接続する」56 ページ)の場合は、コピー先の詳細を選択します。
- [USER] ボタンに「COPY」を割り当てている場合は、メニュー選択の代わりに[USER] ボタンを押すことでコピーをすることもできます。
- コピー先が「SDCARD」および「FTP(PROXY)」の場合は、本線映像および音声はコピーされず、PROXY関連のデータのみコピーされます。

3 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

クリップのコピーが開始されます。



◆NOTE:

- 途中でコピーを中止するには、[SET] ボタンまたは[CANCEL] ボタンを押してキャンセルしてください。途中でコピーされたコピー先のクリップは削除されます。
- コピー先に以前コピーするなどした同一クリップ(GLOBAL CLIP IDが同じ)が存在するときは、「OVERWRITE」と表示されます。上書きを行うときは「YES」を、コピーを行わないときは「NO」を選択し、[SET] ボタンを押してください。

4 完了メッセージが表示されたら[SET] ボタンを押す

◆NOTE:

- 以下のエラーメッセージが表示されたときは、コピーは行われません。
 - 「LACK OF CAPACITY」
コピー先の記録容量が不足しているため、コピーは行われません。
 - 「UNKNOWN CONTENTS FORMAT!」
選択したクリップに不良クリップが含まれているため、コピーは行われません。
 - 「NO COPY TO SAME CARD!」
同一カードへコピーしようとしたため、コピーは行われません。
 - 「TOO MANY CLIPS!」
選択したクリップが多すぎるため、コピーは行われません。
- テキストメモ下段でテキストメモ選択中にコピーを行うと、選択したテキストメモ位置とその次にあるテキストメモの区間をコピーします。選択したテキストメモの後ろにテキストメモがない場合は、クリップの最後までをコピーします。

クリップを削除する

不要なクリップは、以下の操作でP2カードから削除できます。

- 1 削除するクリップを選択する
- 2 カーソルボタンで、メニュー「DELETE」(→92 ページ)にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
- 3 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
選択したクリップがすべて削除されます。

◆NOTE:

- [USER] ボタンに「DELETE」を割り当てている場合は、メニュー選択の代わりに [USER] ボタンを押すことで削除することもできます。
- 途中で削除を中止するには、[SET] ボタンまたは [CANCEL] ボタンを押してキャンセルしてください。ただし途中まで削除されたクリップはキャンセルしても戻りません。

クリップを修復・連結する

不良クリップの修復

記録中、急に電源が切れるなどの原因で発生した、不具合のあるクリップには不良クリップインジケータ(黄色の **NG**)が表示されます。不具合のあるクリップは、以下の操作で修復できます。

- 1 修復する不良クリップを選択する
- 2 カーソルボタンで、メニュー「REPAIR」(→92 ページ)にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
- 3 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
修復を行わない場合は「NO」を選択します。

◆NOTE:

壊れ方によっては修復できないときがあります。そのときはインジケータ(赤色の **NG**)が表示されます。

不完全クリップの連結

複数のP2カードにまたがって記録されているクリップが連続したクリップとして認識されず、不完全クリップ(**I**インジケータ)になることがあります。このとき連結機能を使って、連続したクリップ(元の連結したクリップ)に還元することができます。

◆NOTE:

- 不完全クリップは以下のようなときにできます。
 - 複数のP2カードに記録されたクリップを、P2カードごとに別々にコピーしたとき。
 - 複数カードに記録されたクリップを、カードごとに別々にストレージデバイスへコピー後、P2カードへ書き戻したとき。

- 1 連結する不完全クリップを選択する

◆NOTE:

通常、不完全クリップインジケータ(**I**)が表示されているサムネールは、並んで表示されています。

- 2 カーソルボタンで、メニュー「RE-CONNECT」(→92 ページ)にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
- 3 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
連結を行わない場合は「NO」を選択します。

◆NOTE:

3つ以上に分かれた不完全クリップの一部分のクリップだけを連結しても、もとのクリップを構成するすべてのクリップを連結するまでは、不完全クリップインジケータ(**I**)が付いたままになります。

クリップの情報を表示・修正する

クリップメタデータ情報の表示

クリップの詳細な情報を画面に表示して確認できます。

1 カーソルボタンで、対象のクリップにカーソルを合わせる

2 カーソルボタンで、メニュー「CLIP PROPERTY」(→91 ページ)にカーソルを合わせて[SET] ボタンを押す


選択したクリップに関する情報が表示されます。



1)クリップ番号

2)サムネール

3)クリップ付加情報

クリップに挿入された各種インジケータ、付加されているテキストメモの数が表示されます。また、クリップが記録されたP2カードに、ライトプロテクトがかけられているとき、マークが表示されます。

4)クリップ情報

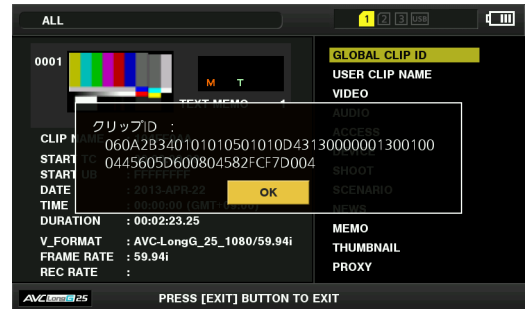
以下の情報が表示されます。

CLIP NAME:	クリップ名
START TC:	記録開始時のタイムコード
START UB:	記録開始時のユーザーズビットの値
DATE:	記録した日付
TIME:	記録開始時の時刻
DURATION:	クリップの長さ
V_FORMAT:	クリップの記録フォーマット
FRAME RATE:	再生フレームレート
REC RATE:	記録フレームレート

5)クリップメタデータ

クリップの詳細情報(クリップメタデータ)を参照するための項目が表示されます。

3 必要に応じてクリップメタデータの内容を参照する



カーソルボタンでクリップメタデータの項目にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押すと、以下の情報が表示されます。

◆NOTE:

表内の太字はクリップメタデータの変更が可能です。

GLOBAL CLIP ID:	グローバルクリップID (同じ番号が他のクリップに付くことがない、世界で唯一の番号)
USER CLIP NAME:	ユーザーが付けることのできる クリップ名 。通常はGLOBAL CLIP IDが入っています。
VIDEO:	ビデオ信号方式など (フレームレート、プルダウン、アスペクト比)
AUDIO:	オーディオの各チャンネル方式など (サンプリングレート、ビットレート)
ACCESS:	最終更新日など (作成者 、作成日、最終更新日、最終更新者)
DEVICE:	記録した機器のメーカー名、シリアル番号、モデル名
SHOOT:	記録開始、終了した日付など (撮影者 、撮影開始日、撮影終了日、 高度 、 経度 、 緯度 、撮影地情報源、 撮影地)
SCENARIO:	番組名、シーンNo. など (プログラム名 、 シーン番号 、 テイク番号)
NEWS:	レポーター 、 取材目的および対象
MEMO:	テキストメモの番号、記録位置、 メモ入力者 、 テキスト情報
THUMBNAIL:	サムネールの元となる画像のフレーム位置(通常は先頭:0)やサムネールサイズ(幅、高さ)

◆NOTE:

- 位置については、先頭からのフレーム数で表します。
- テキスト内容は最大1000文字添付可能ですが、最大先頭の500文字が表示されます。
- テキスト番号は[左] / [右] カーソルボタンで動かしします。

PROXY: プロキシデータに関する詳細情報
(フォーマット、ビデオコーデック、ビデオフレームレート・ビットレート・解像度、アスペクト比、映像へのTC重畳、オーディオコーデック、オーディオビットレート・サンプリングレート・チャンネル数)

クリップメタデータの変更

クリップのメタデータを変更することができます。

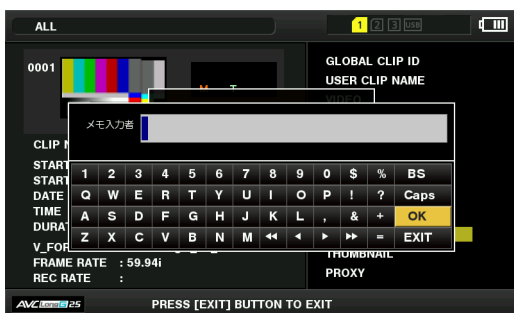
1 クリップのメタデータを表示する

- 2 カーソルボタンで、修正したいメタデータにカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
変更可能なメタデータは、以下の図の「テキスト情報」のように表示されています。



3 カーソルボタンで、変更項目へ移動し、[SET] ボタンを押す

メタデータ変更の画面が表示されます。
(→「キーボードの利用」117 ページ)



4 変更終了後「OK」を選択する

変更したメタデータをクリップへ保存し、メタデータの表示へ戻ります。
「EXIT」を選択すると入力を取り消し、元へ戻ります。

◆NOTE:

- 緯度および経度を削除する場合は、高度に空白を設定してください。単独では削除できません。
- インジケーターがついた不完全クリップは、メタデータを変更することができませんので、不足クリップの入ったP2カードを挿入してください。
- MEMO項目は、100文字以上添付されている場合は変更することができません。

5 [EXIT] ボタンを押して、処理を終了する

サムネールを変更する

テキストメモを付加している位置の画像にサムネールの変更を行うことができます。

1 変更したい映像にテキストメモを付加する (→「テキストメモを付加する」46 ページ)

2 サムネール表示をテキストメモ表示に変更する メニュー「REPOSITION」(→91 ページ)で「TEXT MEMO CLIPS」を選択します。

3 カーソルボタンで、変更するサムネールへ移動し、 [SET] ボタンを押す カーソルが下段に移ります。

4 変更したいサムネールに[左]/[右]カーソルボタンで 移動する

5 [MENU] ボタンを押す

6 カーソルボタンで、メニュー「EXCH. THUMBNAIL」 (→92 ページ)にカーソルを合わせ[SET] ボタンを押す

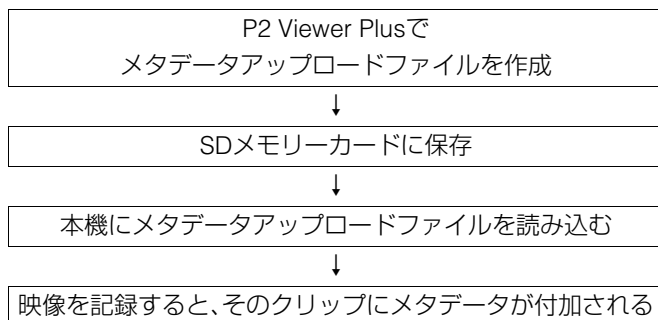
7 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、 [SET] ボタンを押す メニューが閉じて、サムネールが変更されます。

◆NOTE:

- クリップの情報表示の「THUMBNAIL」項目で、サムネールの変更位置(先頭からのフレーム数)を見ることができます。通常の先頭フレームのサムネールの場合は0と表示されます。
- サムネールを変更しても、サムネール画面からの再生はクリップの先頭からとなります。
- メニュー「SYSTEM MODE」(→114 ページ)の設定と異なるクリップでは、テキストメモクリップの表示時に、下段に表示されるテキストメモ位置のサムネールが表示されずに [] が表示される場合があります。

クリップ記録時にメタデータを付加する

撮影者名やレポーター名、撮影場所、テキストメモなどの情報を記述したメタデータアップロードファイルを、SDメモリーカードに保存しておき、記録前に事前にそのファイルを読み込んでおくことで、クリップメタデータとして記録することができます。



メタデータアップロードファイルの準備

メタデータアップロードファイルは、パーソナルコンピューター上でP2 Viewer Plusを使用して作成します。P2 Viewer PlusはP2カードに記録されたクリップを、パーソナルコンピューターで操作するためのアプリケーションソフトで、当社のWebサイトで無償配布しています。URLについては「WebサイトURLについて」(→2ページ)をご覧ください。P2 Viewer Plus をパーソナルコンピューターにインストールし、メタデータアップロードファイルを作成してSDメモリーカードに書き込んでください。

◆NOTE:

- P2 Viewer Plusは最新アップデート版をご使用ください。
- メタデータアップロードファイルの作成方法については、P2 Viewer Plusのヘルプを参照してください。
- メタデータアップロードファイルは、本機でフォーマットしたSDメモリーカードに書き込んでください。
(→「P2カード / SDメモリーカードをフォーマットする」53ページ)

メタデータを付加するための設定

■メタデータの記録設定

メニュー「RECORD」(→101ページ)で、クリップを記録するときに、読み込んだメタデータをクリップに付加するまたは付加しないを設定します。

■USER CLIP NAMEの記録方法の選択

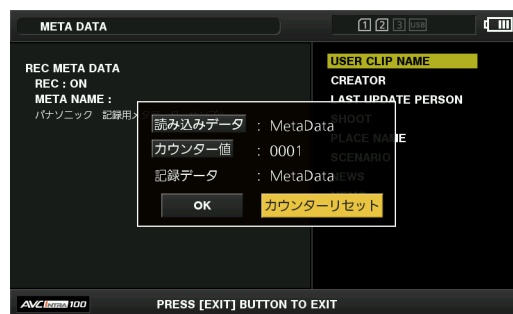
メニュー「USER CLIP NAME」(→101ページ)で、USER CLIP NAMEに記録するデータの種類を設定します。メニュー「USER CLIP NAME」と「RECORD」の組み合わせで記録されるデータが変わります。

記録方法	記録されるUSER CLIP NAME	
クリップメタデータ 「RECORD」=「ON」	TYPE1	読み込んだメタデータ設定値
	TYPE2	読み込んだメタデータ設定値+カウンター値
クリップメタデータ 「RECORD」=「OFF」	TYPE1	GLOBAL CLIP IDと同じ
	TYPE2	CLIP NAMEと同じ

■カウンター値について

カウンター値は、4桁の数字で表示されます。カウンター値は、USER CLIP NAMEの記録方法を「TYPE2」に設定してクリップメタデータファイルを読み込んだとき、記録を行って新しいクリップを生成するたびに1ずつ増加します。カウンター値は、以下の操作でリセットできます。

1. カーソルボタンでメニュー「REC META DATA」-「PROPERTY」(→101ページ)のメタデータ画面から「USER CLIP NAME」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
2. カーソルボタンで「カウンターリセット」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
カウンター値が1にリセットされます。



3. [EXIT] ボタンを押して、処理を終了する

■カードシリアル番号をメタデータとして付加する

メニュー「CARD SERIAL」(→101ページ)で、P2 カードのシリアル番号などをメタデータ(オフセットのないテキストメモ)として付加する機能を設定します。

メタデータアップロードファイル

■ ファイルの読み込み

以下の操作でSDメモリーカードからメタデータ設定値を読み込みます。

1. メタデータアップロードファイルを保存しているSDメモリーカードを本機に挿入する
2. サムネール画面を表示する
3. [MENU] ボタンを押す
4. カーソルボタンで、メニュー「REC META DATA」-「LOAD」(→101 ページ)にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
SDメモリーカード内のメタデータアップロードファイルのメタデータ名が表示されます。

◆NOTE:

- メタデータ名を表示中に[右]カーソルボタンを押すとファイル名の表示に切り替えることができます。[左]カーソルボタンを押すとメタデータ名の表示へ戻ります。
 - ファイルの一覧表示のメタデータ名にASCII表示文字以外は表示されず「*」で表示されます。ただしカーソルをファイルに合わせてると右側に日本語で表示できます。
5. カーソルボタンで、読み込むファイルにカーソルを合わせて、[SET] ボタンを押す
 6. 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
メタデータが読み込まれます。
 7. [MENU] ボタンを押して、処理を終了する

■ 読み込んだメタデータの確認と修正

SDメモリーカードから読み込んだメタデータの内容を確認できます。

1. [MENU] ボタンを押し、メニュー「REC META DATA」-「PROPERTY」(→101 ページ)を選択する
2. カーソルボタンでカーソルを動かし、[SET] ボタンを押す
読み込んだメタデータの各設定内容が確認できます。



3. メタデータの各設定内容を確認中に、カーソルボタンでカーソルを動かし、設定内容を変更したい項目に合わせて[SET] ボタンを押す
ソフトウェアキーボード画面が表示され、設定内容を変更することができます。

◆NOTE:

〈設定できるメタデータの種類〉

- カーソルボタンで確認したいメタデータの項目にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押すと、情報が表示されます。

USER CLIP NAME:	読み込んだユーザークリップ名、カウンター値、記録されるデータ
CREATOR:	作成者
LAST UPDATE PERSON:	最終更新者
SHOOT:	撮影者
PLACE NAME:	撮影地*1
SCENARIO:	プログラム名、シーン番号、テイク番号
NEWS:	レポーター、取材目的、取材対象
MEMO:	メモ入力者、テキスト情報

- 内容を確認できたら、[EXIT]または[SET] ボタンを押します。情報が表示されていた画面が消えます。
- 設定変更を終了するときは「OK」を選択します。

*1 外部機器から位置情報を設定できます。

本機は、ネットワークで接続されたボンディング機器から位置情報(緯度、経度、高度)を取得できます。メニュー「GPS」(→114 ページ)を「EXTERNAL」に設定することで、取得した位置情報をクリップメタデータとして、クリップに記録します。

位置情報は、メニュー「STATUS DISPLAY」(→108 ページ)で確認できます。

ただし、接続するボンディング機器によっては、位置情報を取得できないものもあります。

位置情報が取得可能なボンディング機器については、Webサイトを参照してください。(→「WebサイトURLについて」2 ページ)

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

4. [EXIT]を押し、メタデータの確認画面を終了する

■ メタデータ設定を削除する

メニュー「REC META DATA」-「INITIALIZE」(→101 ページ)で本機内部に保存されているメタデータを削除し設定の初期化ができます。

P2カード / SDメモリーカードをフォーマットする

1 カーソルボタンで、メニュー「FORMAT」(→92 ページ)で「SLOT n」(nはフォーマットしたいP2カードが挿入されたP2カードスロット番号)にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

◆NOTE:

- 「SD CARD」を選択するとSDメモリーカードスロットに挿入されたSDメモリーカードをフォーマットします。
- microP2メモリーカードにCPSパスワードが設定されている場合、スロット選択を行うと、「CPS(ENCRYPT)」(暗号化フォーマット)と「NORMAL」(通常フォーマット)を選択する確認メッセージが表示されます。「CPS(ENCRYPT)」(暗号化フォーマット)を選択すると、microP2メモリーカードが暗号化されます。

2 確認メッセージの「YES」を選択し[SET] ボタンを押す

フォーマットが開始されます。

◆NOTE:

- フォーマットしないときは「NO」を選択し、[SET] ボタンを押します。
- フォーマットにより消去されたデータは復元することができませんので、必ずデータを確認した後に実行してください。

3 完了メッセージが表示されたらOKを選択([SET] ボタンを押す)する

◆NOTE:

続けて別のP2カードスロットのP2カードやSDメモリーカードをフォーマットするときは、手順1~3の操作を繰り返します。

カードの状態を確認する

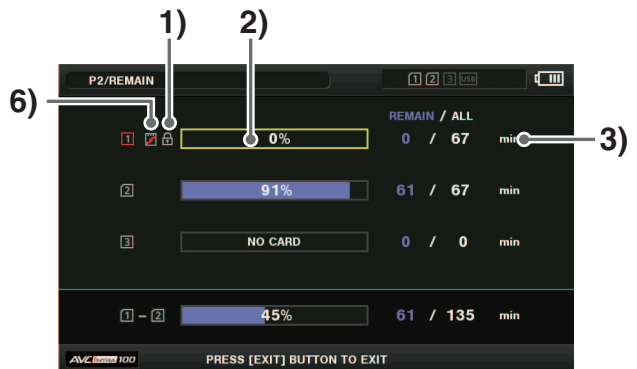
P2カードスロットの状態やP2カードの使用状況など、カードの情報を画面に表示して確認できます。

1 カーソルボタンで、メニュー「CARD STATUS」(→91 ページ)にカーソルを合わせて、[SET] ボタンを押す

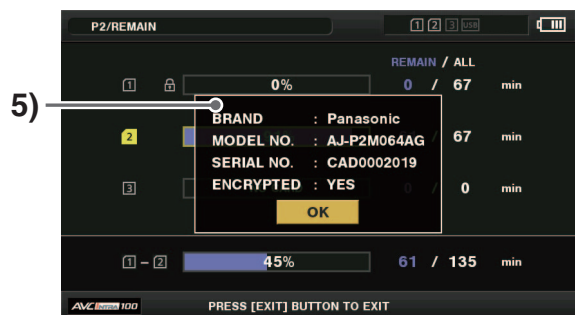
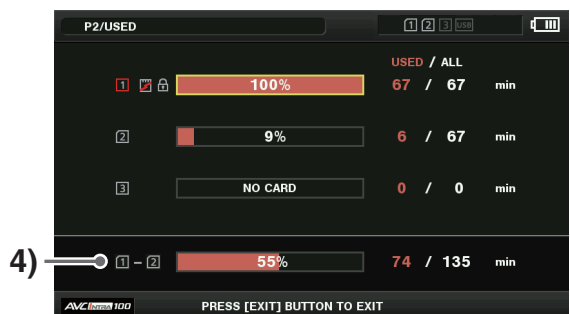
P2カードの状態が表示されます。

◆NOTE:


メニュー「REMAIN SETUP」(→91 ページ)で表示を残容量と使用容量のいずれかに切り替えることができます。



または



1)書き込み禁止マーク

P2カードに、ライトプロテクトがかかっているとき、マークが表示されます。

2)P2カード状態

記録残量表示のときは、P2カードの記録残量がメーターとパーセントで表示されます。
使用済み容量表示のときは、P2カードの使用容量がメーターとパーセントで表示されます。
また、カードの状態によって、以下のように表示されま

FORMAT ERROR!:	フォーマットされていないP2カードが挿入されている。
NOT SUPPORTED!:	本機に対応していないカードが挿入されている。
NO CARD!:	P2カードが挿入されていない。
AUTH NG CARD:	CPSパスワードが認証できないmicroP2メモリーカードが挿入されている。

3)P2カード残量(または使用容量) / 総容量

P2カードの記録残量(または使用容量) / 総容量が、分に換算して表示されます。分以下は切り捨て表示のため、P2カードごとの記録残量(または使用容量)の合計と総容量が一致しないことがあります。

4)スロット記録残量(または使用容量)合計

2つのP2カードスロットの記録残量(または使用容量)を総合計した数値が表示されます。

◆NOTE:

ライトプロテクトがかかっているP2カードの空き容量は、空き容量の合計に含まれません。

5)P2カード詳細表示

P2カード状態表示のスロットにカーソルを合わせて[SET] ボタンを押すと、P2カードのモデル番号などの詳細情報が表示されます。
もう一度[SET]または[EXIT] ボタンを押すと、詳細情報が消えます。

◆NOTE:

P2カード内のクリップ数が記録上限に達した場合はP2カード詳細表示に上限到達を示す「OVER MAX NUMBER CLIPS」が表示されます

6)ワーニングカードマーク

P2カードが以下の場合にこのマークが表示されます。
ワーニング内容はP2カード詳細表示で確認することができます。

- 「RUN DOWN CARD」
P2カードの規定の書き替え回数を超えた場合
- 「DIR ENTRY NG」
P2カードのディレクトリー配置が不正規な場合
- 「AUTH NG CARD」
CPSパスワードが認証できないmicroP2メモリーカードが挿入されている場合

CPSの手動認証 / 自動認証

CPSの手動認証

暗号化フォーマットされたmicroP2メモリーカードは、本体で自動認証され、認証に成功した場合はそれらのmicroP2メモリーカードを利用することができます。
異なるCPSパスワードが認証されている機器のカードスロットに、異なる暗号化フォーマットをされたmicroP2メモリーカードを挿入すると認証エラーとなります。一時的にその認証エラーのカードを利用するために、手動でmicroP2メモリーカードに認証した暗号(CPSパスワード)を、下記1、2の手順に従って入力してください。暗号が一致すると、そのカードを利用することができます。

1 認証失敗の確認をする

サムネール画面を開き、メニュー「CARD STATUS」(→91ページ)を選択すると確認ができます。
認証エラーのカードは画面右上のスロット番号枠が赤色になり、残量バーに「AUTH NG CARD」が表示されます。そのカードを[上] / [下]カーソルボタンで選択状態にしてください。

2 手動認証を行う

カードステータス画面で、メニュー「AUTHENTICATE」(→93ページ)を選択すると、CPSパスワードを入力するソフトウェアキーボードが表示されます。
パスワードを入力し、「OK」を選択します。
CPSパスワードの入力に成功したときは、「AUTHENTICATED SUCCESSFULLY!」とメッセージが表示されます。
CPSパスワードの入力に失敗したときは、ワーニングメッセージ(→126ページ)が表示されます。

◆NOTE:

- 手動認証は一時的に有効です。対象のmicroP2メモリーカードが抜かれた場合や電源を切った場合など、手動で設定したCPSパスワードは無効となります。
- CPSパスワードは16文字まで入力可能です。
- 手動認証が有効になる条件などは、Webサイトを参照してください。(→「WebサイトURLについて」2ページ)

CPSの自動認証

CPSパスワードは、SDメモリーカードから読み込む方法と、本機で入力する方法があります。

■ パスワードの設定

SDメモリーカードからCPSパスワードを読み込む

1 最新のP2 Viewer Plusをパーソナルコンピューターにダウンロードしてインストールする

2 P2 Viewer Plus でCPSパスワードを生成し、SDメモリーカードに書き込む

◆NOTE:

- 生成されたCPSパスワードファイルは暗号化されていますが、不要になった場合はSDメモリーカードをフォーマットするなどして、適切にセキュリティリスクに対する管理をしてください。
- 生成されたCPSパスワードはSDメモリーカードのprivate/meigroup/pavcn/sbg/p2sd/に拡張子が「.p2p」のファイルとして生成されます。このファイルは機器で読み込むまで削除をしないでください。

3 CPSパスワードファイルを読み込む

- ①本機の電源をONにし、SDメモリーカードをSDカードスロットに挿入します。
 - ②サムネール画面を開きます。
 - ③メニュー「CPS PASSWORD」-「LOAD」(→91 ページ)を選択します。
 - ④表示されるパスワードファイルリストから使用するファイルを選択し、[SET]ボタンを押します。
- CPSパスワードの読み込みに成功したときは、「LOADINGPASSWORD COMPLETED!」とメッセージが表示されます。
 - CPSパスワードの読み込みに失敗したときは、ワーニングメッセージが表示されます。ワーニングの内容については「ワーニング内容一覧」(→119 ページ)を参照してください。
 - ワーニングメッセージが表示された場合は、SDメモリーカードの挿入状態、手順2で生成したCPSパスワードのファイル(ファイル名:*****.p2p)の保存場所などを確認してください。

ソフトウェアキーボードでCPSパスワードを設定する

1 メニュー「CPS PASSWORD」-「SET」(→91 ページ)を選択する

CPSパスワードを入力するソフトウェアキーボードが表示されます。

2 ソフトウェアキーボードでCPSパスワードを入力する

「PASSWORD」と、照合用の「RETRY PASSWORD」を入力し、「OK」を選択するとCPSパスワードが設定されます。

- CPSパスワードの入力に成功したときは、「SETTING PASSWORD COMPLETED!」とメッセージが表示されます。
- CPSパスワードの入力に失敗したときは、ワーニングメッセージが表示されます。ワーニングの内容については「ワーニング内容一覧」(→119 ページ)を参照してください。

◆NOTE:

- パスワードは16文字まで入力可能です。
- 入力したパスワードを機器で表示することはできませんので、忘れないようにしてください。

■ パスワードの削除

CPS機能が不要になった場合は、CPSパスワードを削除します。

CPSパスワードを削除するには、メニュー「CPS PASSWORD」-「DELETE」(→92 ページ)を選択してください。

「DELETING PASSWORD COMPLETED!」が表示され、CPSパスワードが削除されます。

◆NOTE:

CPSパスワードが削除されて未設定状態になると、暗号化フォーマットされたmicroP2メモリーカードの自動認証および暗号化フォーマット機能が無効になります。

USB HOST端子で外部機器と接続する

使用できるストレージデバイス

以下のストレージデバイスを使用できます。

- USB2.0 / USB3.0で接続できるハードディスクドライブやソリッドステートドライブ

ストレージデバイスのタイプと利用できる機能について

使用するストレージデバイスにより、利用できる機能が異なります。ストレージデバイスのタイプはストレージデバイスのエクスペア画面の左側に「PARTITION:」に続けて表示されます。

(→「ストレージデバイスの情報の表示 (エクスペア画面)」 59 ページ)

◆NOTE:

- 本機をバッテリーでご使用时、[USB3.0 HOST]端子へ接続するストレージデバイスには、外部から電源を供給ください。
- USB3.0端子は、USBバスパワー(5 V、0.9 A)に対応していますが、ストレージデバイスによっては起動できないことがあります。その場合はストレージデバイスに別途電力を供給してください。
- 2 TB(2048 GB)を超えるストレージデバイスには対応していません。

ストレージデバイスのタイプと利用できる機能

ストレージデバイスタイプ	特徴	利用できる機能									
		サムネール表示	P2カード単位				クリップ単位		再生確認*3	クリップ画像表示	フォーマット
			P2・microP2 (≤32GB)→ストレージ	microP2 (>32GB)→ストレージ	ストレージ→P2・microP2 (≤32GB)	ストレージ→microP2 (>32GB)	P2・microP2→ストレージ	ストレージ→P2・microP2			
TYPE S	カード単位で高速に書き込み / 読み込みするための特殊形式です。	○	○	-	○	-	○*1	○	○	○	○
FAT	先頭の基本パーティションがFAT16またはFAT32になっているものです。そのパーティションのルート、あるいは、任意のフォルダーの下*2の「CONTENTS」フォルダーが対象になります。	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○
OTHER	上記以外のストレージデバイスです。 • NTFSなど、FAT16、FAT32以外のファイルシステムの場合です。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○*4

*1 クリップの追加書き込みを行った場合は、そのパーティションのカード単位での書き戻しはできなくなります。

*2 フォルダーは第3階層までで、かつフォルダー数は最大100個となります。フォルダーの表示は上の階層から順に表示されます。またロングファイル名、2バイト文字のファイル名には対応していません。

例:

/CONTENTS	表示可能
/SAMPLE/CONTENTS	表示可能
/SAMPLE/20090101/CONTENTS	表示可能
/SAMPLE/20090101/1200/CONTENTS	表示不可→4階層なので表示できません

*3 ストレージデバイスからの再生はストレージデバイスの性能や条件によって映像や音声途切れる場合があります。完全な再生は保証いたしません。

*4 2 TB以上のストレージデバイスの場合、フォーマットはできません。

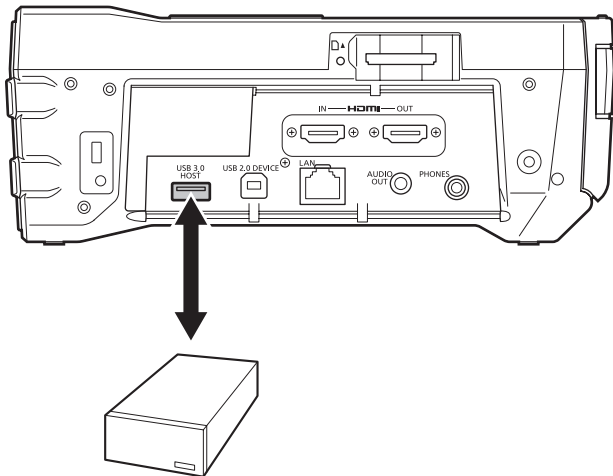
◆NOTE:

ストレージデバイスは以下の条件でご使用ください。

- 動作保証範囲内(温度など)で使用する。
- 振動する場所や不安定な場所に置かない。
- ストレージデバイスやケーブルによっては正しく動作しないことがあります。
- コピーに十分な容量のストレージデバイスをご使用ください。
- 電源が入っていないストレージデバイスであっても、ハブなどを介した複数台の接続は行わないでください。ストレージデバイス以外の機器も、ハブなどを介してストレージデバイスと一緒に接続しないでください。
- フォーマットやコピー中にケーブルを抜いたり、対象のP2カードを取り出したり、本機やストレージデバイスの電源を切ったりしないでください。本機およびストレージデバイスの電源の再起動が必要になります。
- ストレージデバイスは非常に精密な機器ですので、使用状況によってはデータの読み書きができなくなるおそれがあります。ストレージデバイスの故障あるいは何らかの不具合によるデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機からのコピーでを使用したストレージデバイスを他のパーソナルコンピューターなどで中身を置き換えた場合、以後の本機での動作、およびストレージデバイスのデータは保証できません。
- 不良クリップが含まれるP2カードは、事前に修復してからストレージデバイスへコピーすることをお勧めします。
- USB変換ケーブルを介して接続されたSATA(シリアルATA)や、PATA(パラレルATA)インターフェースのストレージデバイスは、認識できない場合があります。
- 本機の記録再生中などはケーブルの抜き差しを行わないようにしてください。記録再生が正常に行われません。
- ストレージデバイスによっては、接続後の最初の再生確認に関してパフォーマンスが低下する場合があります。

ストレージデバイスの接続

1 側面の[USB3.0 HOST] 端子とストレージデバイスを接続します。



ポータブルストレージなど

- USB3.0対応のストレージデバイスに接続する場合は、USB3.0規格に準拠したケーブルをご使用ください。USB2.0用のケーブルではUSB2.0の転送性能を超えることはできません。

2 ストレージデバイスを認識し使用可能な場合は、サムネイル画面の右上の (灰色)が (白色)に変わります。

ストレージデバイスのフォーマット

ストレージデバイスをTYPE SまたはFATで使用できる形式に初期化します。

◆NOTE:

ストレージデバイスのフォーマットを行うと、ストレージデバイスの内容はすべて消去されますのでお気をつけください。

1 USBのストレージデバイスを接続する

ストレージデバイスが認識されるとストレージデバイスの状態表示(→41 ページ)が白色(または、赤色)に変わります。

2 カーソルボタンで、メニュー「EXPLORE」(→92 ページ)にカーソルを合わせて[SET]ボタンを押し、「STORAGE」を選んで[SET]ボタンを押す エクスプロー画面が開きます。

3 [MENU] ボタンを押し、カーソルボタンで、メニュー「FORMAT (STORAGE)」(→92 ページ)にカーソルを合わせ[SET] ボタンを押した後、フォーマットしたい形式(TYPE S、FAT)を選び、[SET] ボタンを押す



4 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、
[SET] ボタンを押す

5 再度確認メッセージが出たら、「YES」にカーソルを
合わせて[SET] ボタンを押す
ストレージデバイスがフォーマットされます。

◆NOTE:

フォーマットにより消去されたデータは復元することができませんので、必ずデータを確認した後に実行してください。

カード単位でのストレージデバイスへの エクスポート

P2カード単位でストレージデバイスへエクスポート(P2カードからストレージデバイスへの書き出し)を行うことができます。ストレージデバイスのフォーマット形式によってコピー結果と最大コピー枚数が異なります。

ストレージ デバイスタイプ	コピー結果	最大コピー枚数*2
TYPE S	カードごとにパーティションが作成され、その中にカードに含まれる全データがコピーされます。本機のエクスプローラー画面でコピーしたP2カードの品番やシリアル番号が確認できます。	23
FAT	カードごとにフォルダー*1が作成され、その中にカードに含まれる全データがコピーされます。本機のエクスプローラー画面でフォルダー名が確認できます。	100

*1フォルダーは年月日のフォルダーとその下に時分秒フォルダーの2階層が作られます。

例) 2014年3月30日 12時34分56秒の場合:
/14-03-30/12-34-56

*2ストレージデバイスの容量を超えてコピーすることはできません。

1 ストレージデバイスを接続する

ストレージデバイスがTYPE SタイプまたはFATタイプでない場合は、ストレージデバイスをTYPE SタイプまたはFATタイプにフォーマットします。
(→「ストレージデバイスのフォーマット」57 ページ)

2 P2カードを挿入する

3 カーソルボタンでメニュー「EXPORT」(→92 ページ)にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

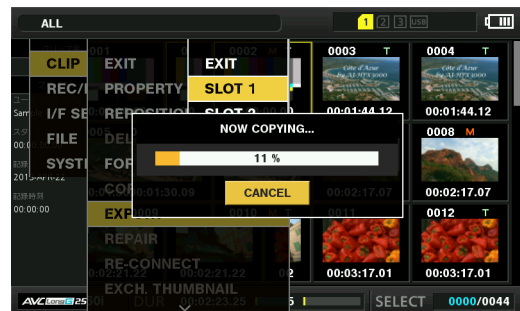
4 コピー元のP2カードスロット番号にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

TYPE Sタイプの場合、「ALL SLOT」を選ぶと、そのとき挿入されているカードすべてを一括エクスポートします。

5 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、
[SET] ボタンを押す

エクスポートが始まります。エクスポート中は進捗バーが表示されます。

エクスポートが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。



◆NOTE:

- TYPE Sタイプでのエクスポートの場合、エクスポート後にP2カードデータとコピーしたデータのベリファイ(比較)を自動的に行うことができます。工場出荷初期状態ではエクスポート時のベリファイが有効になっています。エクスポート時のベリファイを行わないように設定すると、エクスポートしたデータとの照合は行いませんが、エクスポート完了までの時間が短くなります。ベリファイを行わないための設定はメニュー「VERIFY」(→95 ページ)を「OFF」にします。FATタイプの場合は、この設定値にかかわらず、ベリファイは行われません。
- エクスポートを途中で中断したいときは、[SET] ボタンを押し、「CANCEL」の確認表示で「YES」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押すと中断できます。
- ベリファイ中に処理を中断しても、そのP2カードのコピーは終了しています。
- 32 GBを超えるmicroP2メモリーカードは、エクスポートおよびインポートはできません。クリップのコピーを使用してください。

クリップ単位でのストレージデバイスへのコピー

カード全体でなく、選択したクリップだけをストレージデバイスへコピーすることができます。

1 サムネール画面を表示し、カーソルボタンでコピーするクリップにカーソルを合わせて、[SET] ボタンを押し選択する

複数のクリップを選択することもできます。

2 カーソルボタンで、メニュー「COPY」(→92 ページ) - 「STORAGE」にカーソルを合わせ[SET] ボタンを押す

3 ストレージデバイスのフォルダーあるいはパーティション一覧が表示されるので、コピー先を選択し [SET] ボタンを押す

◆NOTE:

- FATタイプのストレージデバイスの場合、表示されるフォルダーは以下のものになります。
 - ルート
 - 第3階層までにCONTENTSフォルダーを含むフォルダー
- TYPE Sタイプのストレージデバイスにおいて、パーティションが1つもない場合はコピーできません。FATタイプにフォーマットするか、エクスポートによりパーティションを作成してからコピーしてください。

4 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

コピーが始まります。コピー中は進捗バーが表示されます。コピーが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

◆NOTE:

- コピーを中断したいときは、カーソルボタンで「CANCEL」にカーソルを合わせて[SET] ボタンを押し、「CANCEL」の確認表示で「YES」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押すと中断できます。途中までコピーされたコピー先のクリップは削除されます。
- TYPE Sタイプのストレージデバイスへクリップをコピーした場合は、そのパーティションへはカード単位でのインポートはできなくなります。またその場合カードの品番表示に「UNKNOWN」と表示されます。

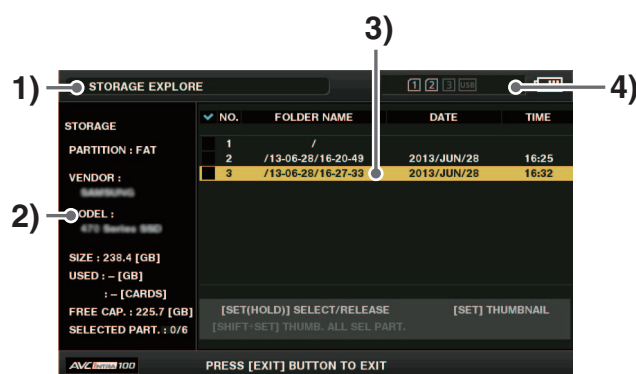
5 [SET] ボタンを押し完了する

ストレージデバイスの情報の表示 (エクスプロー画面)

ストレージデバイス情報の表示、ストレージデバイスのパーティション/フォルダーのサムネールの表示選択、操作対象のパーティション/フォルダーの選択ができます(エクスプロー画面表示)。

1 カーソルボタンで、メニュー「EXPLORE」(→92 ページ) - 「STORAGE」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

エクスプロー画面が表示されます。



1) 表示状態

ストレージデバイスのエクスプロー画面であることを示します。

2) デバイス情報

以下の情報が表示されます。

カード単位で書き込み/読み出しが可能なストレージデバイス (TYPE S)	PARTITION:	TYPE S
	VENDOR:	ベンダー名
	MODEL:	モデル名
	SIZE:	総容量(単位:GB)
	USED:	使用量(単位:GB) 使用P2カード領域 (単位:枚数)最大23
	FREE CAP.:	残量(単位:GB)
	SELECTED PART.:	選択されたパーティション数
上記以外のストレージデバイス(FAT、OTHER)	PARTITION:	FAT/OTHER
	VENDOR:	ベンダー名
	MODEL:	モデル名
	SIZE:	総容量(単位:GB)
	FREE CAP.:	残量(単位:GB)
	SELECTED PART.:	選択されたフォルダー数

3) パーティション情報

(TYPE Sタイプのストレージデバイスの場合)

<input checked="" type="checkbox"/>	パーティションを操作対象として選択している場合、チェックマークが表示されません。
NO.:	パーティション番号(1~)
MODEL:	P2カードのモデル名
PARTITION NAME:	パーティションにつけられた名称 「パーティション名の設定」(→60 ページ)
DATE:	パーティション記録日
TIME:	パーティション記録時刻
SERIAL:	P2カードのシリアル番号

フォルダー情報

(FATタイプのストレージデバイスの場合)

<input checked="" type="checkbox"/>	フォルダーを操作対象として選択している場合、チェックマークが表示されます。
NO.:	フォルダー番号(1~)
FOLDER NAME:	フォルダー名 (CONTENTS フォルダーは含みません)
DATE:	フォルダー作成日
TIME:	フォルダー作成時刻

◆NOTE:

- TYPE Sタイプのストレージデバイスの場合、[左] / [右] カーソルボタンで、パーティション名とシリアル名を切り替えて表示することができます。
- メニュー「FREE CAP. OF PARTITION」(→91 ページ)で対象パーティションの残量を確認することもできます。

4) ストレージデバイスインジケーター

接続/未接続の区別、ストレージデバイスのタイプが表示されます。

■ エクスプロー画面での各種操作について

パーティション/フォルダーの操作対象選択

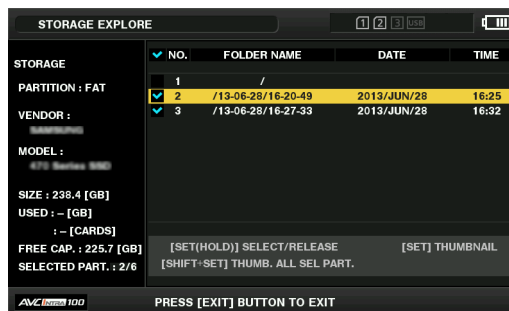
パーティション/フォルダーを操作対象として選択すると、選択したパーティション/フォルダーに含まれるすべてのクリップを一括してサムネールとして表示できます。
(→「サムネール画面を表示する」39 ページ)

この操作対象としては最大6パーティション/フォルダーまで選択することができます。

1. エクスプロー画面にて、パーティション/フォルダーへカーソルを合わせる

2. [SET] ボタンを長押し(1秒以上)する

パーティション/フォルダーが選択され、にが表示がされる



操作対象選択はストレージデバイスを切り離すあるいは電源を切るまで有効です。操作対象選択を解除する場合は選択されたパーティションで再度[SET] ボタンを長押し(1秒以上)します。

[CANCEL] ボタンを押すとすべての選択が解除されます。

- 7個目を指定した場合は、設定できずワーニングが表示されます。

◆NOTE:

- TYPE Sタイプのストレージデバイスで、MODELが「UNKNOWN」*1になったパーティションと他のパーティションにまたがって記録されているクリップは正常な1つのクリップとなりません。
*1TYPE Sタイプのストレージデバイスにクリップコピーを行うことで、コピー先のパーティションのMODELが「UNKNOWN」に変更されます。
- パーティション名の設定は、TYPE Sタイプのストレージデバイスのとき実行できます。設定したパーティション名は、エクスプロー画面の「PARTITION NAME」に表示されます。

パーティション名の設定

ストレージデバイスがTYPE Sタイプの場合、パーティションに名称(最大20文字)を付けることができます。

◆NOTE:

設定したパーティション名は、エクスプロー画面の「PARTITION NAME」に表示されます。

- ストレージのエクスプロー画面において、設定したいパーティションへカーソルを合わせる
続けて[SET]ボタンを押しサムネールの一覧を表示してパーティション名をつけることもできます。
- [MENU]ボタンを押す
- カーソルボタンで、メニュー「CHANGE PARTITION NAME」(→93 ページ)にカーソルを合わせ[SET] ボタンを押す
ソフトウェアキーボードが表示されます。
- パーティションに設定する名称を入力し「OK」を選択する
パーティション名称が設定されます。

最後のパーティションの削除

メニュー「DELETE LAST PARTITION」(→93 ページ)でストレージデバイスの最後のパーティションの削除ができます。

◆NOTE:

- 事前にカーソルを最後のパーティションに移動しておいてください。
- 最後のパーティションの削除は、TYPE Sタイプのストレージデバイスのおきだけ実行できます。削除できるのは、最後のパーティションだけです。途中のパーティションは削除できません。
- 削除したパーティションは復活できませんので、よく確認してから実行してください。

■ ストレージデバイスのクリップのサムネール表示と映像のモニター表示

サムネールを表示する

ストレージデバイスに保存したクリップも、本機に装着したP2カードと同様にサムネール画面を表示して管理できます。

1. エクスプロー画面を表示する

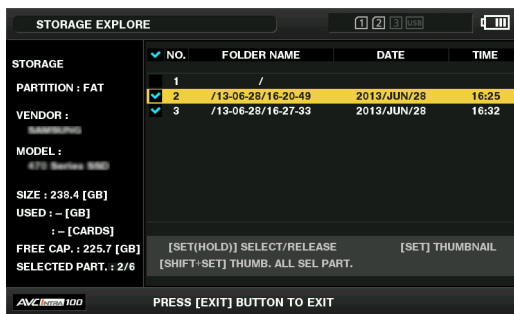
パーティションまたはフォルダー一覧が表示されます。

2. カーソルボタンでサムネール画面表示したいパーティションまたはフォルダーにカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

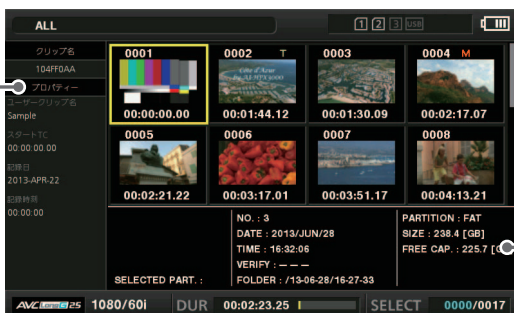
そのパーティションまたはフォルダーのクリップがサムネール表示されます。また、元のエクスプロー画面へは[EXIT] ボタンを押すことで戻ります。

◆NOTE:

操作対象選択がされている場合は[SHIFT] + [SET] ボタンを押すと操作対象として選択している全パーティションのサムネールを一括して表示することができます。



SET ▼ ▲ EXIT



1) クリップ情報

クリップのプロパティ表示

2) ストレージデバイス情報

TYPE Sの場合

SERIAL:	P2カードのシリアル番号
MODEL:	P2カードのモデル名
SELECTED PART.:	パーティションを操作対象として選択している場合、チェックマーク(☑)を表示します。
SELECTED PART. No.:	パーティションを複数選択している場合のみ表示され、選択しているパーティション番号の一覧を示します。
NO.:	パーティション番号(1~)
DATE:	パーティション記録日
TIME:	パーティション記録時刻
VERIFY:	記録時のベリファイの設定とベリファイ結果
ON:	ベリファイ実施して、一致
FINISHED	
ON:	ベリファイ実施したが不一致
FAILED	
OFF:	ベリファイしていない
NAME:	ユーザーがつけたパーティションの名称
SIZE:	ストレージデバイスの全容量
USED:	ストレージデバイスの使用済み容量
FREE CAP.:	ストレージデバイスの残量

FATの場合

SELECTED PART.:	パーティションを操作対象として選択している場合、チェックマーク(☑)を表示します。
SELECTED PART. No.:	フォルダーを複数選択している場合のみ表示され、選択しているフォルダー番号の一覧を示します。
NO.:	フォルダー番号(1~)
DATE:	フォルダー作成日*1
TIME:	フォルダー作成時刻*1
FOLDER:	フォルダー名
SIZE:	ストレージデバイスの容量
FREE CAP.:	ストレージデバイスの残量

*1 ルートには作成日時は表示されません。

◆NOTE:

- 必要に応じてサムネール画面の表示の変更を行うことができます。操作はP2カードのサムネール表示(→「サムネール画面の表示の変更」43 ページ)と同じです。
- 1001個目以降のクリップは表示されません。

クリップの情報を表示する

ストレージデバイスに保存したクリップの各種メタ情報を表示できます。表示の方法はP2カードのクリップのプロパティと同じです。

1. ストレージデバイスのサムネール画面で、対象のクリップへカーソルを移動する
2. [MENU] ボタンを押す
3. カーソルボタンで、メニュー「CLIP PROPERTY」(→91 ページ)にカーソルを合わせて、[SET] ボタンを押す
(→「クリップの情報を表示・修正する」49 ページ)
ただし、修正を行うことはできません。

クリップを削除する


ストレージデバイスに保存された不要なクリップを削除できます。

1. ストレージデバイスのサムネール画面で、削除するクリップを選択する
2. [MENU] ボタンを押す
3. カーソルボタンで、メニュー「DELETE」(→92 ページ)にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
4. 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す





◆NOTE:



NG(不良クリップインジケータ)や**?**(不明クリップインジケータ)が表示されたクリップは、削除できないことがあります。

クリップの映像と音声の確認をする

1. ストレージデバイスのサムネール画面を表示する
2. カーソルボタンで、表示したいクリップにカーソルを合わせる
3. [PLAY]  ボタンを押す
カーソルを合わせたクリップから、再生が始まります。カーソルを合わせたクリップが終わると、それ以降のクリップが順に再生され、最後のクリップの再生が終わるとストレージデバイスのサムネール画面に戻ります。

◆NOTE:

- クリップを再生するときには、クリップを選択(サムネールに水色の枠が表示された状態)にする必要はありません。
- サムネール表示設定を変更して、選択したクリップだけを再生したり、テキストメモが付加されたクリップだけを再生したりすることができます。
- [PLAY]  ボタンの代わりに[SEARCH]ボタンを押すと、クリップの先頭フレームの映像が静止画として表示されます。
- [PLAY]  ボタンの代わりに、[REW]  ボタンを押すと早戻し、[FF]  ボタンを押すと早送りが行えます。
- クリップ番号が赤色に表示されたクリップは再生できません。

- クリップの再生中に[STOP]  ボタンを押すと、再生を停止してサムネール画面に戻ります。
- 再生を停止すると、カーソル位置は停止直前に再生していたクリップに移動します。
- 異なった圧縮記録フォーマットを再生すると、クリップとクリップの間で映像・音声がかかります。
- テキストメモやメタデータなどのデータを付加・修正することはできません。
- [USER] ボタンに「1 CLIP PLAY」を割り当てているときは、割り当てた[USER] ボタンを押すと、カーソル位置のクリップのみを再生することができます。
- ストレージデバイスによっては再生時に映像が止まったり音が途切れたりすることがあります。途切れなく再生するためには高速なストレージデバイスを使用してください。映像の途切れが発生した場合はワーニングが表示されます。[STOP]  ボタンなどを押すことによりワーニング表示は消えます。

ストレージデバイスからP2カードへの書き戻し(インポート)

■ TYPE Sのストレージデバイスからパーティション単位でインポート

パーティション単位(カード単位)で、もとのカードと同じ品番のP2カードへインポート(ストレージデバイスからP2カードへの書き戻し)することができます。

1. インポート先となるP2カードを挿入する

P2カードは必ずフォーマット済みのカードを挿入してください。

2. ストレージデバイスを接続する

3. メニュー「EXPLORE」(→92 ページ)で

「STORAGE」を選択し、エクスプローア画面を表示する

4. エクスプローアで、インポートするパーティションのサムネールを表示する

5. メニュー「IMPORT」(→92 ページ)を選択する

6. インポート先のP2カードスロット番号にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

確認メッセージで「YES」を選択するとインポートが始まります。

インポートが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

◆NOTE:

- 元のP2カードとは異なるP2カードにインポートしたとき、クリップによっては不完全(インジケータ付き)クリップになることがあります。この場合、連結機能を使ってクリップを再構成してください。
(→「不完全クリップの連結」48 ページ)
- メニュー「VERIFY」(→95 ページ)の設定により、コピー時にベリファイを行うかを切り替えることができます。
- 異なる品番のP2カードへの、パーティション単位でのインポートはできません。その場合はクリップ単位でコピーを行ってください。

■ クリップ単位でP2カードへコピー

ストレージデバイスのクリップを指定して、P2カードにコピーできます。

1. ストレージデバイスのサムネール画面を表示する

2. コピーするクリップを選択する

3. [MENU] ボタンを押す

4. メニュー「COPY」(→92 ページ)のリストからコピー先にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す

確認メッセージで「YES」を選択すると、コピーが始まります。

コピーが完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

本機をネットワークに接続して利用する

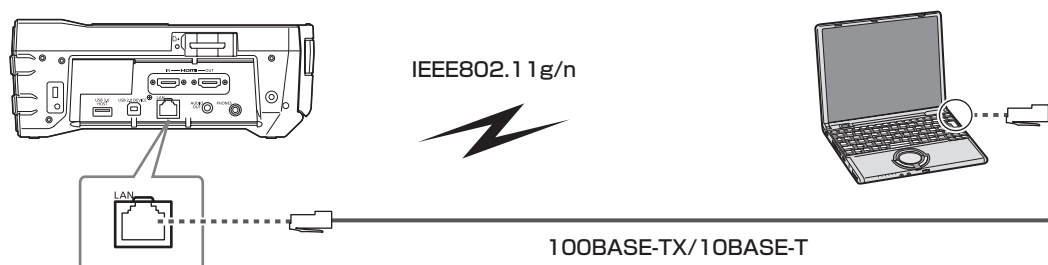
ネットワーク接続について

本機はワイヤレスLAN や有線LAN、または4G/LTE でネットワーク接続ができます。また、ワイヤレスLANや有線LANにボンディング機器を接続することにより、高速なネットワーク接続ができます。

ワイヤレスLAN を使用する場合は、[USB3.0 HOST]端子にAJ-WM30(別売品)を取り付けます。

有線LAN を使用する場合は、側面の[LAN]端子にLAN ケーブルを接続します。

4G/LTE を使用する場合は、[USB3.0 HOST]端子に対応するUSB モデム(別売品)を接続します。接続可能な4G/LTE USB モデムやボンディング機器については、Web サイトのサポートデスクを参照してください。(→「WebサイトURLについて」2 ページ)



利用できる機能

本機をネットワークに接続すると、次の機能が利用できます。

- サムネール画像の確認
- プロキシー再生
- プロキシーファイル/クリップ管理情報のダウンロード
- メタデータの表示 / 編集
- メタデータ(ショットマーク / テキストメモ)の付加/ 削除
- プロキシーを利用したクリップ再生リストの簡易編集
- 本機からのクリップの送受信(FTP クライアント機能によるクリップの転送)
- ストリーミング機能

動作環境

ネットワークに接続するには、次の動作環境が必要です。

- Windows
Microsoft Windows® 8.1 Professional 32/64 bit、Internet Explorer 11(クラシック表示)
- Macintosh
Mac OS X v10.9.x(Mavericks)*¹、Safari 7
*¹ プリインストールまたはクリーンインストールしたもののみ動作を保証します。
- iPad/iPhone
iOS v7.x

最新情報は、Web サイトを参照してください。

■ Web ブラウザー

Web 制御を行うにはWeb ブラウザーが必要です。

- 対応ブラウザについての最新情報は、Web サイトを参照してください。(→「WebサイトURLについて」2 ページ)

■ メディアプレーヤー

プロキシー映像の再生にはQuickTime が必要です。

- 動作確認バージョンについての最新情報は、Web サイトを参照してください。(→「WebサイトURLについて」2 ページ)

接続のための準備

ワイヤレスモジュールAJ-WM30の場合

本機にワイヤレスモジュールAJ-WM30(別売品)を[USB3.0 HOST]端子へ取り付けます。

■ ワイヤレスモジュール使用上のお願い

最新情報は、Web サイトを参照してください。(→「WebサイトURLについて」2 ページ)

AJ-WM30以外のワイヤレスモジュールの場合

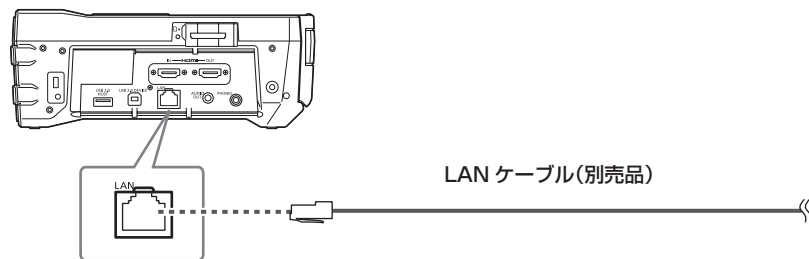
本機の[USB3.0 HOST]端子に4G/LTE USB モデム(別売品)などのワイヤレスモジュールを取り付けます。

◆NOTE:

- USB 2.0 延長ケーブル(別売品)は、タイプA オス / メスの長さが0.5 m 以内で、ノイズ対策のため二重シールド処理が施されているものをご使用をお勧めします。
- 接続可能な4G/LTE USB モデムなどについては、Web サイトのサポートデスクを参照してください。(→「WebサイトURLについて」2 ページ)

有線LAN の場合

LAN ケーブルを取り付けます。



- 1 LAN ケーブルを後面の[LAN]端子に差し込む。

ネットワーク設定

ワイヤレスLAN または有線LAN で接続するには各種設定が必要です。利用する機能に応じて設定してください。

ワイヤレスLAN 設定

ワイヤレスLAN で携帯端末 (iPad/iPhone) / パーソナルコンピュータ / ワイヤレスアクセスポイントに接続する場合の設定です。

■「DIRECT」モード

本機のネットワーク機能にスマートフォン、タブレット端末、パーソナルコンピュータから直接アクセスする場合の設定です。

1 メニュー「NETWORK SEL」(→105 ページ)で「WLAN」を選択する

設定を変更した場合、本機は必要に応じて再起動します。

2 メニュー「WIRELESS PROPERTY」-「TYPE」(→106 ページ)で「DIRECT」を選択する

3 メニュー「WIRELESS PROPERTY」(→106 ページ)で各項目を必要に応じて設定する

【MAC ADDRESS】:

ワイヤレスLAN のMAC アドレス(変更できません)

【SSID】:

本機のネットワーク名 (SSID) (工場出荷値:「AJ-PG50」)

【BAND】:

2つの通信方式 (2.4 GHz または 5 GHz) の切り替え設定 (工場出荷値:「2.4GHz」) (なお、AJ-WM30 をご使用の場合は「2.4GHz」に設定してください)

【CHANNEL (2.4GHz)】:

2.4 GHz に設定時の使用チャンネル (工場出荷値:「AUTO」)

【CHANNEL (5GHz)】:

5 GHz に設定時の使用チャンネル (工場出荷値:「AUTO」)

【ENCRYPTION】:

使用する暗号方式 (工場出荷値:「WPA2-AES」)

【ENCRYPT KEY】:

WPA2 暗号化キー (工場出荷値:「01234567890123456789abcdef」)

【DHCP】:

DHCP による自動取得の利用設定 (【ENABLE】: 自動取得を利用 / 【DISABLE】: 自動取得を利用しない) (工場出荷値:「ENABLE」) (設定できません)

【IP ADDRESS】:

本機の IP アドレス (工場出荷値:「192.168.0.1」)

【SUBNET MASK】:

サブネットマスク (工場出荷値:「255.255.255.0」)

【DEFAULT GATEWAY】:

デフォルトゲートウェイ (工場出荷値:「192.168.0.254」) (設定できません)

【PRIMARY DNS】:

優先DNS サーバー設定 (工場出荷値:「0.0.0.0」) (設定できません)

【SECONDARY DNS】:

代替DNS サーバー設定 (工場出荷値:「0.0.0.0」) (設定できません)

【DHCP SERVER】:

DHCP SERVER 機能の利用設定 (【ENABLE】: DHCP SERVER 機能を利用 / 【DISABLE】: DHCP SERVER 機能を利用しない) (工場出荷値:「ENABLE」)

4 携帯端末やパーソナルコンピュータのアクセスポイント一覧からSSIDを選択して、パスワード(暗号化キー)を入力する

ワイヤレス設定でアクセスポイント一覧画面を表示させ、本機の「SSID」を選択します。

• 工場出荷値:「AJ-PG50」

パスワード確認画面が表示されたら、パスワード(暗号化キー)を入力します。

• 工場出荷値:「01234567890123456789abcdef」

5 ネットワーク接続を確認する

設定が完了したら、携帯端末 (iPad/iPhone) / パーソナルコンピュータのネットワーク接続が正しいかを確認してください。

正しくネットワーク接続されていると、ネットワークを利用するアプリケーション (P2 Browser) を使用できます。ただし、「DIRECT」で接続しているときは、FTP クライアント機能は使用できません。(→「P2 ブラウズ機能」71 ページ)

◆NOTE:

- 「DIRECT」モードで5 GHz設定時、屋外での使用が禁止されています。
- AJ-WM30は、通信方式が2.4 GHzのみでしか動作しません。「BAND」が「5GHz」に設定されている場合は、自動的に2.4 GHzのAUTOに設定されて動作します。
- ネットワーク開始のため電源を入れたときに起動時間が長くなる場合があります。
- 「NETWORK SEL」の設定を変更した場合、本機を再起動するまで変更が反映されません。設定が変更された場合、ネットワークサービスを再起動するため設定画面終了に時間がかかる場合があります。
- IPアドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイは正しい組み合わせでなければなりません。設定画面終了時に「CANNOT ACCESS GATEWAY!」の警告が表示された場合は、ご利用のネットワークの管理者にお問い合わせください。
- IPアドレスの「192.168.255.0」から「192.168.255.255」までは、システムで予約されているため、使用できません。
- デフォルトゲートウェイやDNSを使用しない場合は、「0.0.0.0」に設定してください。
- ネットワーク環境によっては、DHCPやDNSが正しく動作しないことがあります。

■「INFRA」モード

ワイヤレスアクセスポイントと接続する場合の設定です。

1 メニュー「NETWORK SEL」(→105 ページ)で「WLAN」を選択する

設定を変更した場合、本機は必要に応じて再起動します。

2 メニュー「WIRELESS PROPERTY」- 「TYPE」(→106 ページ)で「INFRA」を選択する

3 メニュー「WIRELESS PROPERTY」(→106 ページ)で各項目を必要に応じて設定する

「SSID」、「ENCRYPTION」、「ENCRYPT KEY」は接続するワイヤレスアクセスポイントに合わせて設定してください。

「MAC ADDRESS」:

ワイヤレスLAN のMAC アドレス(変更できません)

「BAND」:

2つの通信方式(2.4 GHzまたは5 GHz)の切り替え設定(工場出荷値:「2.4GHz」)(設定できません)

「CHANNEL(2.4GHz)」:

2.4 GHzに設定時の使用チャンネル(工場出荷値:「AUTO」)(設定できません)

「CHANNEL(5GHz)」:

5 GHzに設定時の使用チャンネル(工場出荷値:「AUTO」)(設定できません)

「SSID INPUT MODE」:

手動で設定する場合は「MANUAL」を、接続先一覧から選択する場合は「SELECT」を選択します。

「CHANNEL」:

使用チャンネル(工場出荷値:「AUTO」)(設定できません)

「ENCRYPTION」:

使用する暗号方式(工場出荷値:「WPA2-AES」)

「DHCP」:

DHCP による自動取得の利用設定(「ENABLE」:自動取得を利用 / 「DISABLE」:自動取得を利用しない)(工場出荷値:「ENABLE」)

「IP ADDRESS」:

本機のIP アドレス(工場出荷値:「192.168.0.1」)

「SUBNET MASK」:

サブネットマスク(工場出荷値:「255.255.255.0」)

「DEFAULT GATEWAY」:

デフォルトゲートウェイ(工場出荷値:「192.168.0.254」)

「PRIMARY DNS」:

優先DNS サーバー設定(工場出荷値:「0.0.0.0」)(「DHCP」が「ENABLE」に設定されていてDNS サーバーから取得できる場合は、外部より取得したDNS サーバー値で上書きされます。値が「0.0.0.0」のときは未設定となります)

「SECONDARY DNS」:

代替DNS サーバー設定(工場出荷値:「0.0.0.0」)(「DHCP」が「ENABLE」に設定されていてDNS サーバーから取得できる場合は、外部より取得したDNS サーバー値で上書きされます。値が「0.0.0.0」のときは未設定となります)

「DHCP SERVER」:

DHCP SERVER 機能の利用設定(「ENABLE」:DHCP SERVER 機能を利用 / 「DISABLE」:DHCP SERVER 機能を利用しない)(工場出荷値:「ENABLE」)(設定できません)

4 接続先ワイヤレスアクセスポイントのSSID とパスワード(暗号化キー)を入力する

(手動で設定する場合)

- 「SSID INPUT MODE」で「MANUAL」を選択する。
- 接続先ワイヤレスアクセスポイントのSSID を、本機の「SSID」に入力する。
 - 工場出荷値:「AJ-PG50」
- 接続先ワイヤレスアクセスポイントのパスワードを本機の「ENCRYPT KEY」に入力する。
 - 工場出荷値:「01234567890123456789abcdef」
 (一覧から取得する場合)
 - 「SSID INPUT MODE」で「SELECT」を選択する。
 - カーソルボタンでSSIDを選択し、[SET]ボタンを押す。
 - 「SSID接続先一覧画面」(→68 ページ)が表示されます。
 - SSIDを選択して、[SHIFT]ボタンを押しながら[SET]ボタンを押すと選択したSSIDを接続履歴から削除できます。
 - [DELETE ALL HISTORY]を選択して[SET]ボタンを押すと、全てのSSIDの接続履歴を削除できます。
 - 接続先ワイヤレスアクセスポイントのパスワードを本機の[ENCRYPT KEY]に入力する。

5 ネットワーク接続を確認する

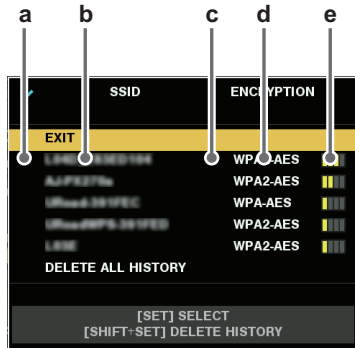
設定が完了したら、本機とワイヤレスアクセスポイントのネットワーク接続が正しいか確認してください。正しくネットワーク接続されていると、サムネイル画面の右上のネットワークステータスアイコンが黄色になり、ネットワークを利用するアプリケーション(P2 Browser (→71 ページ)、FTP クライアント機能(→73 ページ))を使用できます。

◆NOTE:

- ネットワーク開始のため電源を入れたときに起動時間が長くなる場合があります。
- 「NETWORK SEL」の設定を変更した場合、本機を再起動するまで変更が反映されません。設定が変更された場合、ネットワークサービスを再起動するため設定画面終了に時間がかかる場合があります。
- IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイは正しい組み合わせでなければなりません。設定画面終了時に[CANNOT ACCESS GATEWAY!]の警告が表示された場合は、ご利用のネットワークの管理者にお問い合わせください。
- IPアドレスの「192.168.255.0」から「192.168.255.255」までは、システムで予約されているため、使用できません。
- デフォルトゲートウェイや DNSを使用しない場合は、「0.0.0.0」に設定してください。
- ネットワーク環境によっては、DHCPや DNSが正しく動作しないことがあります。

- 接続履歴は最大20個まで保存されます。20個を越える場合は、古い履歴から順に削除されます。
- SSID接続先一覧は、一覧を表示した時点の状態を保持し、表示中に自動更新は行いません。

SSID 接続先一覧について



a: 選択状態

b: SSID

c: 接続履歴の有無

d: 暗号方式

e: 電波強度

- 表示は電波強度の強いものから順に表示します
- 選択状態にチェックマークが表示されているのが、選択中のSSIDです。
- 接続履歴の有無のH表示は接続履歴が保存されているSSIDです。圏外であっても一覧の最終行に表示されます。

[上]/[下] カーソルボタンでSSID を選択し、[SET]ボタンを押します。

■「4G/LTE」モード

4G/LTE USB モデムと接続する場合の設定です。

1 メニュー「NETWORK SEL」(→105 ページ)で「4G/LTE」を選択する

設定を変更した場合、本機は必要に応じて再起動します。

2 メニュー「4G/LTE PROPERTY」(→107 ページ)が有効な場合、「4G/LTE PROPERTY」を選択して必要に応じて各項目を設定する

接続している4G/LTE USB モデムで、「4G/LTE PROPERTY」の設定が必要な場合、「4G/LTE PROPERTY」が有効になります。

次の項目の設定が必要な場合、プロバイダーから提供された情報を正確に入力してください。

【APN】:

プロバイダーから提供されたAPN(アクセスポイント名)を設定します。

【USER ID】:

プロバイダーから提供されたユーザー名を設定します。

【PASSWORD】:

プロバイダーから提供されたパスワードを設定します。

【DIAL NO.】:

電話番号を設定します。詳しくは、ご契約のプロバイダーの説明書を参照してください。

3 ネットワーク接続を確認する

本機と4G/LTE のネットワーク接続ができていないか確認してください。

正しくネットワーク接続されていると、サムネイル画面の右上のネットワークステータスアイコンが黄色になり、ネットワークを利用するアプリケーション(FTP クライアント機能)を使用できます。(→「FTPクライアント機能を利用する」73 ページ)

◆NOTE:

- ネットワーク開始のため電源を入れたときに起動時間が長くなる場合があります。
- 「NETWORK SEL」の設定を変更した場合、本機を再起動するまで変更が反映されません。設定が変更された場合、ネットワークサービスを再起動するため設定画面終了に時間がかかる場合があります。

有線LAN 設定

有線LAN でパーソナルコンピューターに接続する場合の設定です。

1 メニュー「NETWORK SEL」(→105 ページ)で「LAN」を選択する

設定を変更した場合、本機は必要に応じて再起動します。

2 メニュー「LAN PROPERTY」(→106 ページ)で各項目を必要に応じて設定する

「DHCP」と「DHCP SERVER」は排他設定となります。

「MAC ADDRESS」:

有線LAN のMAC アドレス(変更できません)

「DHCP」:

DHCP による自動取得の利用設定(「ENABLE」:自動取得を利用 / 「DISABLE」:自動取得を利用しない)(工場出荷値:「ENABLE」)

「IP ADDRESS」:

IP アドレス(工場出荷値:「192.168.0.1」)

「SUBNET MASK」:

サブネットマスク(工場出荷値:「255.255.255.0」)

「DEFAULT GATEWAY」:

デフォルトゲートウェイ(工場出荷値:「192.168.0.254」)

「PRIMARY DNS」:

優先DNS サーバー設定(工場出荷値:「0.0.0.0」)

「SECONDARY DNS」:

代替DNS サーバー設定(工場出荷値:「0.0.0.0」)

「DHCP SERVER」:

DHCP SERVER 機能の利用設定(「ENABLE」:DHCP SERVER 機能を利用 / 「DISABLE」:DHCP SERVER 機能を利用しない)(工場出荷値:「DISABLE」)

3 パーソナルコンピューターの有線LAN を設定する (Windows の場合)

[インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]の[プロパティ]を表示し、設定します。表示方法について、詳しくは[スタート]→[ヘルプとサポート]を参照してください。

- 本体の設定で「DHCP SERVER」が「ENABLE」のとき [全般]タブで[IP アドレスを自動的に取得する]と[DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択します。 [代替の構成]タブで[自動プライベートIP アドレス]を選択します。

- 本体の設定で「DHCP SERVER」が「DISABLE」のとき [全般]タブで[次のIP アドレスを使う]を選択し、次の項目を入力します。

- [IP アドレス]
- [サブネットマスク]
- [デフォルトゲートウェイ]/[優先DNS サーバー]/ [代替DNS サーバー]:特に入力する必要はありません。

(Mac OS の場合)

- 本体の設定で「DHCP SERVER」が「ENABLE」のとき [IPv4 の構成]:[DHCP サーバを使用]を選択します。 [IPv6 の構成]:[自動]を選択します。

- 本体の設定で「DHCP SERVER」が「DISABLE」のとき [IPv4 の構成]:[手入力]を選択し、次の項目を入力します。

- [IP アドレス]
- [サブネットマスク]
- [ルーター]は必要ありませんので、空欄のままとしてください。

[IPv6 の構成]:[自動]を選択します。

クライアントの設定

FTPクライアント機能でクリップの転送を行う場合は、事前に接続先などの設定が必要です。
メニュー「FTP CLIENT SERVICE」(→105 ページ)の設定を行ってください。

CLIENT SERVICE:

項目	内容	設定値	工場出荷時の設定
SETTING DATA	クライアントサービスの設定値をどこから取得するかを設定します。	INTERNAL: 本機に設定されている設定値を使用します。 SD CARD: SDカードスロットに挿入されたSDメモリーカード内のファイルの設定値を使用します。 「SD CARD」に設定しているときは、本機の電源を入れる前にSDメモリーカードを挿入してください。	INTERNAL
SERVER URL	接続先サーバー名またはアドレス	フルキーボードを用いて入力します。(最大500文字)	設定なし
LOGIN USER / LOGIN PASSWORD	接続するユーザーIDとパスワード	フルキーボードを用いて入力します。(ユーザーIDは最大31文字、パスワードは最大15文字)	設定なし
SSH	SSHを用いてファイルを転送する場合に設定します	ENABLE: SSHを使用します。 DISABLE: SSHを使用しません。	DISABLE
SSH PORT	SSHを使用するときのネットワークのポート番号を設定します。サーバー側と同じ番号に設定してください。	10キーボードを用いて入力します。	22

- 設定したパスワードの内容は、本機では表示できません。

◆NOTE:

- メニュー「NETWORK SEL」で「WLAN」に設定し、メニュー「TYPE」で「DIRECT」に設定している場合は、FTPクライアント機能は動作しません。

クライアントサービスの設定値をSDメモリーカードに保存する

- メニュー「FTP CLIENT SERVICE」で「SAVE(SD CARD)」を選択する。
メニューの「SERVER URL」、「LOGIN USER」、「LOGIN PASSWORD」、「SSH」、「SSH PORT」の設定値がSDメモリーカードに保存されます。

クライアントサービスの設定値をSDメモリーカードから読み出す

- メニュー「FTP CLIENT SERVICE」で「LOAD(SD CARD)」を選択する。
SDメモリーカードから読み込んだクライアントサービスの設定値が、本機の設定値に反映されます。

ネットワーク機能

P2 ブラウズ機能

■ Web ブラウザーからアプリケーション(P2 Browser)を起動する

携帯端末やパーソナルコンピューターとネットワーク接続が完了したら、携帯端末、パーソナルコンピューターのブラウザを起動し、アプリケーション(P2 Browser)を起動します。

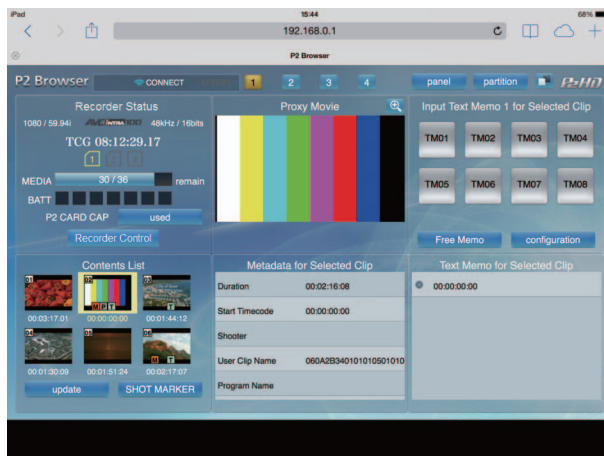


図 1

1 メニュー「HTTP SERVER」(→105 ページ)で「BROWSE」または「BROWSE(+CTRL)」を選択する
P2 ブラウズ機能が有効になります。

2 携帯端末やパーソナルコンピューターのブラウザ (Safari、Internet Explorer) を起動する

3 本体に設定したIP アドレスをブラウザのアドレス入力欄に入力する
•工場出荷値:「192.168.0.1」

4 パーソナルコンピューターの場合はEnter キーを押し、iPad/iPhone の場合はGO ボタンをタップする
Web アプリケーション(P2 Browser)が起動します。

5 「USER NAME」と「PASSWORD」を入力画面で入力する

本体に設定した「USER ACCOUNT」(工場出荷値:「guest」)と「PASSWORD」(工場出荷値:「p2guest」)を入力します。

(図1)のような画面が表示されると接続完了です。

メニュー「USER ACCOUNT」(→105 ページ)でユーザーアカウント名やパスワードが設定できます。

メニュー「ACCOUNT LIST」(→105 ページ)でアカウントの新規登録や削除、パスワードの変更ができます。

ユーザーアカウント名は31 文字以下、パスワードは6 文字以上、15 文字以下です。

P2 Browser に関する情報は、次のWeb サイトから、「P2 Web Application」の操作説明書を参照してください。

<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>

◆NOTE:

- 「NETWORK SEL」が「WLAN」、「4G/LTE」、「LAN」の場合、ネットワーク開始のため電源を入れたときに起動時間が長くなる場合があります。
- 「NETWORK SEL」が「OFF」の場合、ネットワーク機能は利用できません。
- 「NETWORK SEL」の設定を変更した場合、本機を再起動するまで変更が反映されません。設定が変更された場合、ネットワークサービスを再起動するため設定画面終了に時間がかかる場合があります。
- IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイは正しい組み合わせでなければなりません。設定画面終了時に「CANNOT ACCESS GATEWAY!」の警告が表示された場合は、ご利用のネットワークの管理者にお問い合わせください。
- デフォルトゲートウェイやDNS を使用しない場合は、「0.0.0.0」に設定してください。
- ネットワーク環境によっては、DHCP やDNS が正しく動作しないことがあります。

P2 プレイリスト編集機能

次の機能に対応しています。

- プレイリストの編集 / 保存
- プレイリストから新しいクリップを作成(エディットコピー)
- プレイリストを用いた SDI再生
- メタデータの表示 / 編集
- メタデータ(ショットマーク / テキストメモ)の付加 / 削除
切替方法などについては「P2 プレイリスト編集モード」(→82 ページ)を参照してください

動作確認のツールとステータス表示および初期化

FTPクライアントのネットワークの接続状況の確認ができます。

■ 接続の確認(PING)

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 [MENU] ボタンを押し、メニューを表示する
(→「メニューの操作」88 ページ)
- 3 [上]/[下] カーソルボタンで「DIAL NO.」(→107 ページ)にカーソルを合わせ、[SET]ボタンを押す
- 4 設定されたアドレスとの接続確認を実行する
接続が確認された場合は「PING SUCCESSFUL!」が表示されます。
約30秒以内に接続ができない場合は「PING FAILED!」が表示されます。次節のログを表示すると、失敗の原因が表示される場合があります。

■ 接続のログの表示(LOG)

- 1 [MENU]ボタンを押し、メニューを表示する
(→「メニューの操作」88 ページ)
- 2 [上]/[下] カーソルボタンで「LOG DISPLAY」(→108 ページ)にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
ログが表示されるので内容を確認する
- 3 確認終了後は[EXIT] ボタンを押しメニューに戻る

◆NOTE:

- 操作によっては、ログに何も表示されない場合があります。
- ログ上では、パスワードは「*」で表示されます。

■ ステータスの表示

- 1 [MENU] ボタンを押し、メニューを表示する
(→「メニューの操作」88 ページ)
- 2 カーソルボタンで「LOG DISPLAY」(→108 ページ)にカーソルを合わせ、[SET]ボタンを押す
接続状態が表示されます。
- 3 確認終了後は[EXIT]ボタンを押しメニューに戻る

◆NOTE:

- ステータス情報はリアルタイムに更新されません。最新の情報を表示するためには再度上記の操作を行ってください。
- 「DHCP」の設定が「ENABLE」の場合は、一般にLAN設定の内容と異なる値になります。
- 「DHCP」の設定で、アドレス情報の取得中はステータス情報が正しく表示されません。
- デフォルトゲートウェイは、正しく設定されていない場合にはステータス情報としては表示されません。
- LAN設定において、PRIMARY (優先)DNSを設定せずに、SECONDARY (代替)DNSのみを設定している場合は「DNS1」として表示されます。

■ ネットワーク設定の初期化(INITIALIZE)

- 1 [MENU] ボタンを押し、メニューを表示する
(→「メニューの操作」88 ページ)
- 2 カーソルボタンで「NETWORK TOOLS」 - 「PASSWORD」(→107 ページ)にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す
初期化が完了してメニューに戻ります。

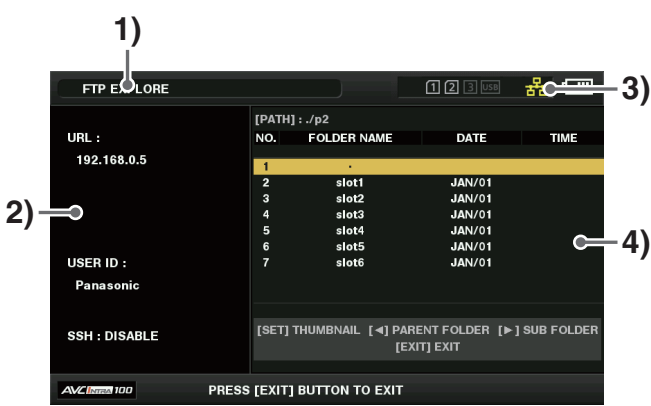
FTPクライアント機能を利用する

FTPクライアント機能を利用するためには、あらかじめ、NETWORK設定、FTPクライアント設定が必要です。

FTPサーバーのフォルダー一覧(FTPエクスプロー画面)

FTPサーバーのフォルダーツリーを探索し、フォルダー内のサブフォルダー一覧表示や、フォルダーの情報を表示することができます。また任意のCONTENTSフォルダー(P2カードのクリップを格納しているフォルダー)内のサムネール一覧を表示することもできます。

- 1 サムネール画面を表示する
- 2 [MENU] ボタンを押し、メニューを表示する
(→「メニューの操作」88 ページ)
- 3 カーソルボタンで「EXPLORE」(→92 ページ) - 「LAN」にカーソルを合わせ、[SET] ボタンを押す



- 1)表示状態
FTPエクスプロー画面であることを示します。
- 2)FTPサーバー情報
次の情報が表示されます。

URL:	接続しているFTPサーバーのURL
USER ID:	ログインしているユーザーID
SSH:	SSHのENABLE/DISABLEの表示

- 3)メディア状態
P2カードの挿抜状態、ハードディスクの接続状態、タイプ、LANケーブルの接続状態が表示されます。LANインジケータは以下の状態を表します。

灰色:	LANの設定がOFFになっているとき、灰色で表示されます。
白色:	LANの設定がONになっているとき、白色で表示されます。
黄色:	LANケーブルが挿入されLINKしているとき、黄色で表示されます。
赤色:	本機に異常があるときは、赤色で表示されます。故障が考えられますのでお買い上げ販売店にご相談ください。

◆NOTE:
LANインジケータは実際の状態から数秒遅れて表示が更新されます。

- 4)フォルダー情報
- | | |
|--------------|------------------------|
| PATH: | FTPサーバー上における現在フォルダーのパス |
| NO.: | フォルダー番号(1~) |
| FOLDER NAME: | フォルダーの名前 |
| DATE: | 最終更新日 |
| TIME: | 最終更新時刻 |

- ◆NOTE:
- フォルダー一覧に表示されるのは、フォルダーのみで、通常のファイル、リンクファイルは表示されません。
 - 「.」は現在のフォルダーを表します。なお日時情報は表示されません。
 - 日時情報は、ローカル時刻の場合と世界標準時の場合とがありますが、FTPサーバーからの情報に依存します。また、年号と時刻はいずれかのみが表示となる場合があります。
 - 大文字小文字を区別するかはFTPサーバーに依存します。
 - マルチバイト文字のフォルダー名は正しく表示されません。
 - 一つのフォルダー内は、100個までしかフォルダーが表示されません。101個目以上のフォルダーにはFTPエクスプロー画面からはアクセスできません。ただしFTPクライアント設定の、「FTP CLIENT URL:」にフォルダー名を直接記述しておけば101個目以上であっても、そのフォルダー内にアクセスできます。
 - パーソナルコンピュータなどでFTPサーバーに接続した場合は、接続性やフォルダー表示の様子が異なることがあります。
 - FTPサーバーおよび接続環境によっては、エラーメッセージが正しく表示されない場合があります。
 - 接続中に操作を中断したい場合は、[SET]ボタンを押してください。
 - エラーとなる場合は再度操作を行ってください。
 - LANケーブル挿入直後にネットワーク関連の操作を行ったり、前回の操作を中断した直後に再度操作を行ったりするとエラーとなる場合があります。

- 何度か操作を行っても接続エラーとなる場合は、まずPINGを確認してください。PINGが失敗する場合は、LAN設定が正しいか、LANケーブルやWLAN、4G/LTE USBモデムが正しく接続されているか、経路上のハブやルーターが正しく動作しているかを確認してください。また、PINGが成功する場合は、FTPサーバーにてサーバー機能のサービスが動作しているか、通信経路上でファイアウォールが設定されていないか、FTPサーバーにおいてログイン可能なユーザーID、パスワードが設定されているかを確認してください。ただし、PINGが失敗してもFTPには接続できる場合もあります。
- 上記の確認を行っても接続できない場合は、ご利用のネットワーク環境のシステム管理者にお問い合わせください。
- FTP操作をキャンセルした直後は、しばらくの間、一部のGUI操作ができないことがあります。

FTPエクスプロー画面における操作

[右]カーソルボタン:	カーソル位置のサブフォルダーの内容が表示されます。
[左]カーソルボタン:	現在のフォルダーの上位フォルダーの内容が表示されます。
[上] / [下]カーソルボタン:	カーソルの移動。
[TOP] / [BOTTOM]ボタン:	リスト上の、最上位 / 最下位のフォルダーにカーソルを移動。

◆NOTE:

- サーバー側の動作仕様やアクセス権限設定によっては、フォルダー内容の表示などの操作ができない、フォルダーパスが正しく表示されない等の場合があります。
 - フォルダー内のカーソル位置は、一つ前のフォルダーまで記憶されます。ただしエラーが発生した場合は最上位にリセットされます。
- また、サムネール表示を行った場合は、直前に表示されているフォルダー一覧のカーソル位置のみ記憶します。

FTPサーバー上のクリップのサムネール表示 (FTPサムネール画面)

FTPサーバー上のクリップも、本機に装着したP2カードと同様にサムネール表示できます。

FTPサムネールの表示

1 FTPエクスプロー画面を表示する

フォルダー一覧が表示されます。

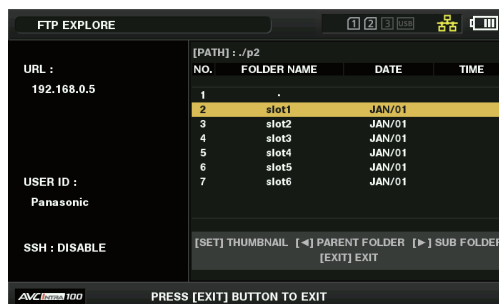
2 カーソルボタンでサムネール表示したい

CONTENTSフォルダーがあるフォルダーにカーソルを合わせ、[SET]ボタンを押す

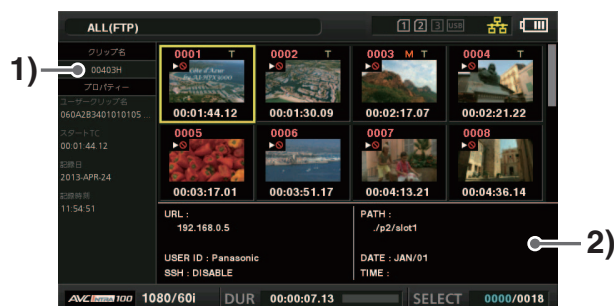
そのフォルダーのクリップがサムネール表示されます。

◆NOTE:

- CONTENTSフォルダーで[SET]ボタンを押してもサムネールは表示されません。必ずCONTENTSフォルダーのひとつ上のフォルダーまたは現在のフォルダーを表す「.」で[SET]ボタンを押してください。
- 大文字の「CONTENTS」と小文字の「contents」の両方が存在するフォルダーを選択した場合は大文字の方の内容が表示されます。
- CONTENTSフォルダー以下に、大文字と小文字のフォルダーが混在している場合は、正しくアクセスできなかったり、エラーメッセージが不正になったりする場合があります。



SET EXIT



1) クリップ情報

カーソル位置のクリップのプロパティ表示 (→「サムネール画面」39 ページ)

2) FTPサーバー / フォルダ情報

URL:	接続しているFTPサーバーのURL
USER ID:	ログインしているユーザーID
SSH:	SSHのENABLE / DISABLEの表示
PATH:	現在表示しているサムネールのフォルダのFTPサーバー上のパス
DATE:	最終更新日
TIME:	最終更新時刻

◆NOTE:

- [EXIT]ボタンを押すと、エクスプローラー画面に戻ります。
- 1001 個目以降のクリップは表示されません。
- 日時情報は、ローカル時刻の場合と世界標準時の場合とがありますが、FTPサーバーからの情報に依存します。
- 「.」を選択してサムネールを表示した場合、フォルダの日時情報は表示されません。

FTPサーバー上のクリップを削除する

P2カードの場合と同様にFTPサーバー上の不要なクリップを削除できます。

(→「クリップを削除する」48 ページ)

◆NOTE:

FTPサムネール表示状態でしばらく放置すると、FTPサーバーが接続を切断する場合があります、その後にクリップ削除の操作を行うと削除ができません。この場合は、一度FTPエクスプローラー画面に戻って、再度FTPサムネール表示を行ってから削除の操作を行ってください。

FTPサーバー上のクリップの情報を表示する

FTPサーバー上のクリップの各種メタ情報を表示できます。内容および表示の方法はP2カードのクリップのプロパティと同じです。

1 FTPサムネール画面で、対象のクリップへカーソルを移動する

クリップの詳細な情報を画面に表示して確認できます。

2 [MENU] ボタンを押して、メニューを表示する (→「メニューの操作」88 ページ)

3 カーソルボタンで「CLIP PROPERTY」(→91 ページ)にカーソルを合わせて、[SET]ボタンを押す

◆NOTE:

- メタデータの表示はしますが、修正はできません。
- FTPサムネールやFTPプロパティ表示状態でしばらく放置すると、FTPサーバーが接続を切断し、それ以後の操作でサムネール表示などができなくなる場合があります。この場合は、一度FTPエクスプローラー画面に戻って、再度FTPサムネール表示などの操作を行ってください。

クリップを転送する

P2カードやハードディスクのクリップをFTPサーバーへ転送したり、FTPサーバーからP2カードやハードディスクへクリップを書き戻したりすることができます。

FTPサーバーへの転送(コピー)

1 サムネール画面を表示し転送するクリップを選択する

2 [MENU]ボタンを押して、メニューを表示する (→「メニューの操作」88 ページ)

3 カーソルボタンで、メニュー「CLIP」-「COPY」(→92 ページ)で「FTP」にカーソルを合わせ、[SET]ボタンを押す

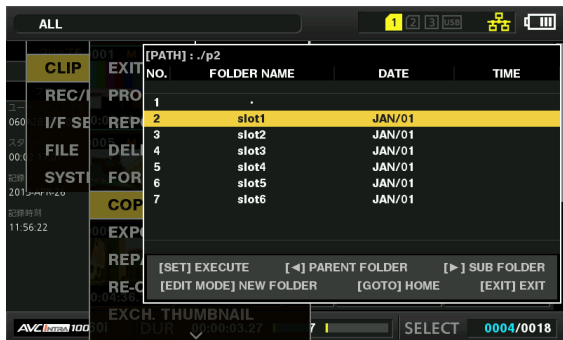
プロキシ記録のみをコピーするときは、メニュー「CLIP」-「COPY」で「FTP(PROXY)」を選択してください。本線の映像・音声以外のデータのコピーを行います。

◆NOTE:

FTPエクスプローラーは、本線の映像または音声のデータがない場合は不良クリップとして表示を行いますので、PROXYコピーを行ったクリップは不良クリップとして表示されます。

4 サーバー画面が表示される

設定しているサーバーのフォルダーが表示されるのでカーソルボタンを使用して転送先フォルダーを選択する。



◆ NOTE:

- マルチバイト文字のフォルダー名は正しく表示されません。
- [TC PRESET]ボタンを押すと現在のフォルダー一覧に新規にフォルダーを追加作成します。(カーソル位置は関係ありません)
新規フォルダー名は自動で日時を示す数値が入力されますが、フルキーボードを使用して設定することができます。ただし、FTPサーバーによっては、使用できない文字もあります。また、すでに同じ名前前のフォルダーが存在する場合は作成できません。

5 「YES」にカーソルを合わせ、[SET]ボタンを押す

コピーが開始されます。
(→クリップ単位でのインポート時は「クリップをコピーする」47 ページも合わせてお読みください)
コピーを完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

◆ NOTE:

- サーバー上のクリップ数、ネットワークの状態などにより、サムネール表示、コピーに時間がかかる場合があります。
- コピーを中断したいときは、[SET]ボタンを押し、CANCELの確認表示で「YES」にカーソルを合わせ、[SET]ボタンを押すと中断できます。ネットワークが切断されていなければ、途中までコピーされたコピー先のクリップは削除されます。また、ネットワークが切断された場合は、不完全なクリップがFTPサーバーに残る場合があります。
- コピーを開始した後は、通信切れのエラーを検出しません。長時間にわたってコピーが進まない場合は、上記の操作によりコピーを中断してください。
- FTPサーバーの残量はコピー開始前に自動的に確認できませんので、あらかじめFTPサーバー管理者に確認してください。
- FTPサーバーの残量が0の場合にエラーとなるかはFTPサーバーに依存します。エラーとならない場合は上記操作により中断してください。
- FTPサーバーのコピー先フォルダー内のクリップ数が1000を超える場合はコピーできません。
- SSHを利用するには、FTPサーバーがSSHに対応している必要があります。
- SSHを「ENABLE」にすると転送速度は低下します。
- パーソナルコンピューターなどで転送結果を確認するには、パーソナルコンピューター上での表示の更新が必要な場合があります。
- メニュー「FILE SPLIT」(→97 ページ)の設定が「ONE FILE」で、4 GBを超えるファイルが記録された場合は、そのクリップはコピーできません。

FTPサーバーからの書き戻し(コピー)

ネットワーク上のFTPサーバーから、選択したクリップをP2カードまたはハードディスクへ書き戻すことができます。

1 FTPサムネール画面を表示する

2 サーバー上のサムネールが表示されるので、コピーするクリップを選択する

3 [MENU]ボタンを押し、メニューを表示する (→「メニューの操作」88 ページ)

4 カーソルボタンでメニュー「CLIP」-「COPY」(→92 ページ)にカーソルを合わせ、[SET]ボタンを押す

5 一覧メニューから転送先(P2スロットまたはハードディスク)を選択し書き戻しを開始する

◆ NOTE:

- サーバー上のクリップ数、ネットワークの状態などにより、サムネール表示、コピーに時間がかかる場合があります。
- コピーを中断したいときは、[SET]ボタンを押し、CANCELの確認表示で「YES」にカーソルを合わせ、[SET]ボタンを押すと中断できます。途中までコピーされたコピー先のクリップは削除されます。
- コピーを開始した後は、通信切れのエラーを検出しません。長時間にわたってコピーが進まない場合は、上記の操作によりコピーを中断してください。
- コピー先P2カードやハードディスクのフォルダー内のクリップ数が1000を超える場合はコピーできません。
- SSHを利用するには、FTPサーバーがSSHに対応している必要があります。
- SSHを「ENABLE」にすると転送速度は低下します。
- コピーなどの操作でいったんエラーが発生した後は、FTPサーバーへの接続が切断されて、操作の継続ができなくなる場合があります。この場合は、いったんFTPエクスプローラー画面に戻って再度FTPサムネール画面を表示してからコピーなどの操作を行ってください。

コピーを完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

SDメモリーカードのデータを転送する

SDメモリーカード内のデータをFTPサーバーへ転送したり、FTPサーバーからSDメモリーカードへ書き戻したりすることができます。

FTPサーバーへの転送(エクスポート)

1 サムネイル画面を表示する

2 [MENU] ボタンを押し、メニューを表示する

(→「メニューの操作」88 ページ)

3 カーソルボタンで、メニュー「CLIP」-「EXPORT」(→92 ページ)にカーソルを合わせ、[SET]ボタンを押す

◆ NOTE:

- SDカードスロットにカードが挿入されている場合のみ、「SD CARD」メニューが選択できます。
- SDカードスロットのカードはメモリーカード全体を一括でのみエクスポートすることができます。P2カードのようにクリップを選択してエクスポートすることはできません。

4 サーバー画面が表示される

設定しているサーバーのフォルダーが表示されるので転送先フォルダーを、カーソルボタンを使用して選択する。

◆ NOTE:

- マルチバイト文字のフォルダー名は正しく表示されません。
- [TC PRESET]ボタンを押すと現在のフォルダー一覧にフォルダーを新規に追加作成します。(カーソル位置は関係ありません)

新規フォルダー名は自動で日時を示す数値が入力されますが、フルキーボードを使用して設定することができます。ただし、FTPサーバーによっては、使用できない文字もあります。また、すでに同じ名前のフォルダーが存在する場合は作成できません。

5 [SET] ボタンを押してエクスポートを開始する

◆ NOTE:

- ファイル数やサイズ、ネットワークの状態などにより、エクスポートに時間がかかる場合があります。
- エクスポートを中断したいときは、[SET]ボタンを押し、「CANCEL」の確認表示で「YES」にカーソルを合わせ、[SET]ボタンを押すと中断できます。ネットワークが切断されていなければ、途中までエクスポートされたFTPサーバー上のファイルは削除されます。
ネットワークが切断された場合は、不完全なファイルがFTPサーバーに残る場合があります。
- エクスポートを開始した後は、通信切れのエラーを検出しません。長時間にわたってコピーが進まない場合は、上記の操作によりエクスポートを中断してください。

- FTPサーバーの残量はエクスポート開始前に自動的に確認できませんので、あらかじめFTPサーバー管理者に確認してください。
- FTPサーバーの残量が0の場合にエラーとなるかはFTPサーバーに依存します。エラーとならない場合は上記操作により中断してください。
- 既存のフォルダーを選択した場合で、その中にSDメモリーカード内と同じパス名のファイルが存在した場合は、アラートが表示されずに上書きされます。ただし、同じパス名で種類が異なる(フォルダーとファイル)場合はエラーとなります。
- 上書きなどによって意図しない結果になることを防ぐため、できるだけ新しいフォルダーを作成してエクスポートを行ってください。
- SSHを利用するには、FTPサーバーがSSHに対応している必要があります。
- SSHをENABLEにすると転送速度は低下します。

エクスポートを完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

FTPサーバーからの書き戻し (インポート)

ネットワーク上のFTPサーバーから選択したフォルダーをSDメモリーカードへ書き戻すことができます。

1 FTPエクスプローラー画面を表示する

2 FTPサーバーのフォルダー画面が表示される

設定しているサーバーのフォルダーが表示されるので転送元フォルダーへカーソルボタンを使用して移動する。

3 [MENU] ボタンを押し、メニューを表示する

(→「メニューの操作」88 ページ)

4 カーソルボタンで、メニュー「IMPORT」(→92 ページ)にカーソルを合わせ、[SET]ボタンを押す

SD IMPORTの確認ダイアログが表示され、「OK」を押すと、SDメモリーカードへの書き戻しが開始されます。

◆ NOTE:

- インポートを中断したいときは、[SET]ボタンを押し、「CANCEL」の確認表示で「YES」にカーソルを合わせ、[SET]ボタンを押すと中断できます。途中までインポートされたSDメモリーカード内のファイルは削除されますが、インポート済みのファイルはそのまま残ります。
- インポートを開始した後は、通信切れのエラーを検出しません。長時間にわたってコピーが進まない場合は、上記の操作によりインポートを中断してください。
- 選択したフォルダー以下のファイル数やサイズ、ネットワークの状態などにより、書き戻しに時間がかかる場合があります。
- SDメモリーカード内に同じパス名のファイルが存在した場合は、アラートが表示されずに上書きされます。ただし、同じパス名で種類が異なる(フォルダーとファイル)場合はエラーとなります。
- 上書きなどによって意図しない結果になることを防ぐため、できるだけSDメモリーカードをフォーマットしてからインポートを行ってください。
- SSHを利用するには、FTPサーバーがSSHに対応している必要があります。
- SSHを「ENABLE」にすると転送速度は低下します。

インポートを完了すると「COPY COMPLETED!」と表示されます。

レックデュアリングアップロード機能

本機で記録/再生操作中に、P2カードに記録されたクリップを、ネットワーク上のサーバー機器に自動的に転送できます。レックデュアリングアップロード機能には、次の2種類のモードがあります。

- 自動転送モード:
レックデュアリングアップロード機能を有効に設定した後に、記録されたクリップを順次アップロードします。
- 手動選択モード:
あらかじめ選択したクリップをアップロードします。レックデュアリングアップロード機能を利用するには、あらかじめ、ネットワーク設定とFTPクライアントの設定が必要です。

記録したクリップを自動的に転送する(自動転送モード)

1 本機とサーバー機器をネットワーク接続状態にする

「クライアントの設定」(→70 ページ)を参照して、設定してください。

2 本機のメニュー「REC DURING UPLOAD」(→105 ページ)で「ENABLE」に設定する

3 本機のメニュー「AUTO UPLOAD」(→105 ページ)でアップロード対象のクリップの種別を選択する

REC CLIP(PROXY):

記録クリップのプロキシデータをアップロードの対象にします。

REC CLIP:

記録クリップ(メイン記録データとプロキシデータ)をアップロードの対象にします。

DISABLE:

記録クリップをアップロードの対象にしません。

4 記録する

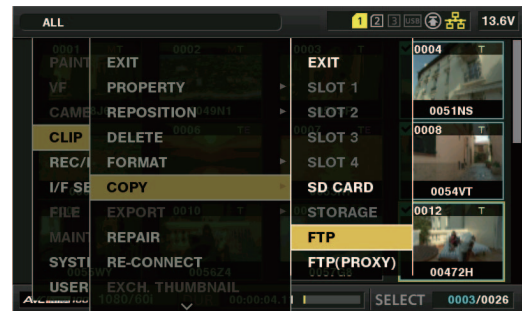
記録を停止した直後にアップロードリストに登録され、その後、記録済みのクリップが自動的に転送されます。液晶モニターには、レックデュアリングアップロード機能の動作状態が表示されます。また、サムネイル画面には、レックデュアリングアップロード機能の動作状態とクリップの転送状態が表示されます。

◆ NOTE:

- レックデュアリングアップロードを有効に設定した後に、クリップのアップロードが開始されます。アップロードエラーを防ぐために、転送が終わるまでは、P2メモリカードスロットおよびmicroP2メモリカードスロットからカードを取り出さないでください。
- クリップのアップロードは、最大100件までアップロードリストに登録されます。アップロード済みクリップとアップロードに失敗したクリップを除く100件を超えるクリップは登録できません。
- 記録停止中に転送する記録済みのクリップを追加できます。サムネール画面からメニュー「CLIP」-「COPY」-「FTP」または「FTP (PROXY)」を選択して転送するクリップを選択します。選択したクリップがアップロードリストに登録されます。
- 記録中/再生中/サムネール表示中もクリップは自動的に転送されます。
- レックデュアリングアップロード機能を使用する場合に、メニュー「FILE SPLIT」(→97 ページ)で「SHORT SPLIT」を選択すると、記録ファイルの分割単位が小さくなり、記録時、クリップの転送開始タイミングを早めることができます。
- 転送中にネットワークが切断された場合、または、本機の電源が切れて再び電源が入った場合、クリップ単位で転送をやり直します。
- サイマル記録時は、スロット1の記録クリップのみ自動転送されます。
- ループレックのクリップは、自動転送の対象になりません。
- レックデュアリングアップロード機能を有効に設定している間、ストリーミング機能は動作しません。
- アップロードリストに登録されているクリップが転送中、または転送待ちの間、FTPエクスプローラー画面でFTP サーバー上のディレクトリーを一覧表示しません。
- レックデュアリングアップロード機能を有効に設定している間、メニュー「NETWORK」(→105 ページ)の設定値の変更や初期化はできません。
- アップロードリストに登録されているクリップが転送中、または転送待ちの間、P2カード間のコピーは動作しません。
- アップロードリストに登録されているクリップが転送中、または転送待ちの間、クリップの削除機能は動作しません。
- アップロードリストに登録されているクリップが転送中、または転送待ちの間、P2カードのフォーマット機能は動作しません。
- メニュー「FILE SPLIT」(→97 ページ)の設定が「ONE FILE」で、4 GBを超えるファイルが記録された場合は、そのクリップはコピーできません。

選択したクリップを自動的に転送(手動選択モード)

- 1 本機とサーバー機器をネットワーク接続状態にする
「クライアントの設定」(→70 ページ)を参照して、設定してください。
- 2 本機のメニュー「REC DURING UPLOAD」(→105 ページ)で「ENABLE」に設定する
- 3 本機のメニュー「AUTO UPLOAD」(→105 ページ)で「DISABLE」を選択する
- 4 サムネール画面からメインメニュー「CLIP」-「COPY」-「FTP」または「FTP (PROXY)」を選択して転送するクリップを選択する



選択したクリップがアップロードリストに登録され、自動的に転送されます。

メニュー「UPLOAD LIST」(→105 ページ)でアップロードリストに登録されたクリップの転送状態を確認できます。ビューファインダーや液晶モニターには、レックデュアリングアップロード機能の動作状態が表示されます。また、サムネール画面には、レックデュアリングアップロード機能の動作状態とクリップの転送状態が表示されます。

◆ NOTE:

- 手動選択モードで選択したクリップは、自動転送モードでアップロードリストに登録されたクリップより優先的に転送されます。
- レックデュアリングアップロードを有効に設定した後に、クリップのアップロードが開始されます。アップロードエラーを防ぐために、転送が終わるまでは、P2メモリカードスロットおよびmicroP2メモリカードスロットからカードを取り出さないでください。
- クリップのアップロードは、最大100件までアップロードリストに登録されます。アップロード済みクリップとアップロードに失敗したクリップを除く100件を超えるクリップは登録できません。
- 記録中/再生中/サムネール表示中もクリップは自動的に転送されます。

- 転送中にネットワークが切断された場合、または、本機の電源が切れて再び電源が入った場合、クリップ単位で転送をやり直します。
- レックデュアリングアップロード機能を有効に設定している間、ストリーミング機能は動作しません。
- アップロードリストに登録されているクリップが転送中、または転送待ちの間、FTPエクスプローラー画面でFTPサーバー上のディレクトリーを一覧表示しません。
- レックデュアリングアップロード機能を有効に設定している間、メニュー「NETWORK」(→105 ページ)の設定値の変更や初期化はできません。
- アップロードリストに登録されているクリップが転送中、または転送待ちの間、P2カード間のコピーは動作しません。
- アップロードリストに登録されているクリップが転送中、または転送待ちの間、クリップの削除機能は動作しません。
- アップロードリストに登録されているクリップが転送中、または転送待ちの間、P2カードのフォーマット機能は動作しません。
- メニュー「FILE SPLIT」(→97 ページ)の設定が「ONE FILE」で、4 GBを超えるファイルが記録された場合は、そのクリップはコピーできません。

アップロードリストの表示

アップロードリストでは、アップロード対象のクリップの転送状態を確認できます。

1 メニュー「UPLOAD LIST」(→105 ページ)を選択する

アップロードリストが表示されます。

■ アップロードリスト画面

	1)	2)	3)	4)	
	CLIP NAME	STATUS	SIZE	LAST UPDATE	
PAINT	EXIT				5.14
VF	02938V[AUTO]	PAUSE	210M	Dec 05 03:29	
CAME	02944L[AUTO]	WAIT	179M	Dec 05 03:32	
CLIP	0295KN[AUTO]	WAIT	389M	Dec 05 03:32	+
REC/	0296NP[AUTO]	WAIT	153M	Dec 05 03:33	E
I/F S	0297NR[AUTO]	WAIT	298M	Dec 05 03:33	
FILE	0298ST[AUTO]	WAIT	273M	Dec 05 03:33	
MAIN	02996G[AUTO]	WAIT	231M	Dec 05 03:34	
SYST	0300CL[AUTO]	WAIT	199M	Dec 05 03:34	
USER	[SET] DELETE or CANCEL or RETRY [SHIFT+RESET] DELETE ALL [SHIFT+EXIT] CLEAR HISTORY				

1) CLIP NAME

クリップ名を表示します。自動転送が設定されているクリップは、クリップ名の後ろに[AUTO]と表示されます。

2) STATUS

アップロード状態を表示します。

OK:アップロード済み

ERROR:アップロード失敗

PAUSE:アップロード準備中

COPY:アップロード中

WAIT:アップロード待ち

3) SIZE

ファイルサイズを表示します。

4) LAST UPDATE

[STATUS]表示が変更されたときの日時を表示します。

■ アップロードリスト画面での操作

アップロードリストから項目の削除、キャンセル、再転送などの操作ができます。

1 アップロードリストで、[上] / [下]カーソルボタンで項目を選択し、[SET]ボタンを押す

2 次のいずれかの操作をする

- 項目を削除するには、[上] / [下]カーソルボタンで [DELETE] を選択します。
- アップロードをキャンセルするには、[上] / [下]カーソルボタンで [CANCEL] を選択します。
- 項目を再転送するには、[上] / [下]カーソルボタンで [RETRY] を選択します。
- 全ての項目を削除する場合、[SHIFT]ボタンと[RESET]ボタンを同時に押します。確認画面が表示されるので、[上] / [下]カーソルボタンで [YES] を選択します。このとき、アップロードリストに登録されたクリップ情報の最新ログも削除されます。
- 履歴 ([STATUS] が [OK] と [ERROR] の項目) を削除するには、[SHIFT]ボタンと [EXIT]ボタンを同時に押します。確認画面が表示されるので、[上] / [下]カーソルボタンで [YES] を選択します。

◆ NOTE:

- アップロードリストを表示中に、[STATUS]表示が変化した場合、画面は更新されません。
- アップロードリストに登録されたクリップ情報(月日、クリップ番号(グローバルクリップID)、ステータス)の最新ログ1000件までをSDメモリーカードに保存できます。

USBデバイスモード

パーソナルコンピューターなどとUSB2.0で接続することにより、本機のP2カードスロットに挿入されたP2カードをマスストレージとして扱うことができます。このとき、パーソナルコンピューターには、当社のWebサイトで無償配布しているUSB専用ドライバーをインストールする必要があります。(→「WebサイトURLについて」2ページ)

また、当社のWebサイトで無償配布しているP2 Viewer Plusを使用すると、P2カードに記録されたクリップが操作できます。

URLについては(→「WebサイトURLについて」2ページ)

◆NOTE:

この接続での操作については、利用するコンピューターやアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

- 1 停止状態のときに[MODE] ボタンを押す
- 2 選択画面で、「USB DEVICE」にカーソル(*)を合わせ、[SET] ボタンを押す



液晶モニターの「USB DEVICE」の文字が点滅してモードが切り替わります。モードが切り替わると、液晶モニターに「USB DEVICE CONNECTING...」と表示されます。その後パーソナルコンピューターとの接続が完了すると、「USB DEVICE CONNECT」の表示に切り替わります。

3 USBデバイスモードでの操作を行う

◆NOTE:

利用するコンピューターやアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

4 [MODE] ボタンを押して、通常のモードに戻る

◆NOTE:

USBデバイスモードでは、録画・再生を含むほとんどの操作はできません。

P2 プレイリスト編集モード

■ Web ブラウザーからアプリケーション(P2 Playlist Editor)を起動する

携帯端末やパーソナルコンピュータとネットワーク接続が完了したら、携帯端末、パーソナルコンピュータのブラウザを起動し、アプリケーション(P2 Playlist Editor)を起動します。

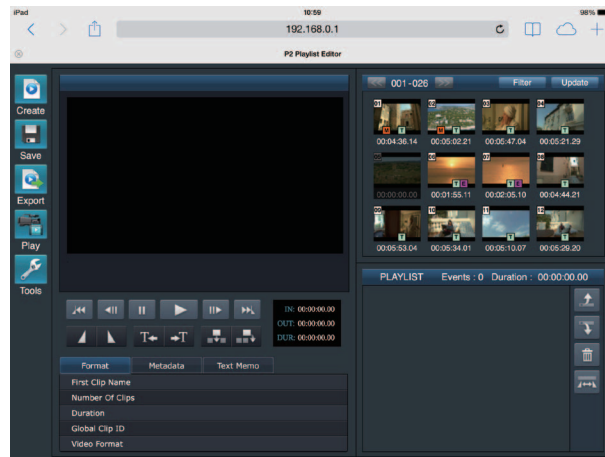


図 1

1 停止状態のときに[MODE] ボタンを押す

2 選択画面で、「PLAYLIST」にカーソル(*)を合わせ、[SET] ボタンを押す

液晶モニターの「PLAYLIST」の文字が点滅してモードが切り替わります。モードが切り替わると、液晶モニターの付加情報表示部に「PLAYLIST」と表示されます。

3 携帯端末やパーソナルコンピュータのブラウザ (Safari、Internet Explorer) を起動する

4 本体に設定したIP アドレスをブラウザのアドレス入力欄に入力する

- 工場出荷値:「192.168.0.1」

5 パーソナルコンピュータの場合はEnter キーを押し、iPad/iPhone の場合はGO ボタンをタップする

Web アプリケーション(P2 Playlist Editor)が起動します。

6 認証画面が表示されたら、「USER NAME」と「PASSWORD」を入力画面で入力する

本体に設定した「USER ACCOUNT」(工場出荷値:「guest」)と「PASSWORD」(工場出荷値:「p2guest」)を入力します。

(図1)のような画面が表示されると接続完了です。メニュー「USER ACCOUNT」(→105 ページ)でユーザーアカウント名やパスワードが設定できます。メニュー「ACCOUNT LIST」(→105 ページ)でアカウントの新規登録や削除、パスワードの変更ができます。

ユーザーアカウント名は31文字以下、パスワードは6文字以上、15文字以下です。

P2 Playlist Editor に関する情報は、次のWeb サイトから、「P2 Web Application」の操作説明書を参照してください。
<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>

◆NOTE:

- 「NETWORK SEL」が「WLAN」、「4G/LTE」、「LAN」の場合、ネットワーク開始のため電源を入れたときに起動時間が長くなる場合があります。
- 「NETWORK SEL」が「OFF」の場合、ネットワーク機能を利用できません。
- 「NETWORK SEL」の設定を変更した場合、本機を再起動するまで変更が反映されません。設定が変更された場合、ネットワークサービスを再起動するため設定画面終了に時間がかかる場合があります。
- IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイは正しい組み合わせでなければなりません。設定画面終了時に「CANNOT ACCESS GATEWAY!」の警告が表示された場合は、ご利用のネットワークの管理者にお問い合わせください。
- デフォルトゲートウェイやDNS を使用しない場合は、「0.0.0.0」に設定してください。
- ネットワーク環境によっては、DHCP やDNS が正しく動作しないことがあります。
- プレイリスト編集モード時に同時に接続できるクライアントの数は1台のみです。

7 [MODE] ボタンを押して、通常モードに戻る

◆NOTE:

プレイリスト編集モードでは、録画・再生を含むほとんどの操作はできません。

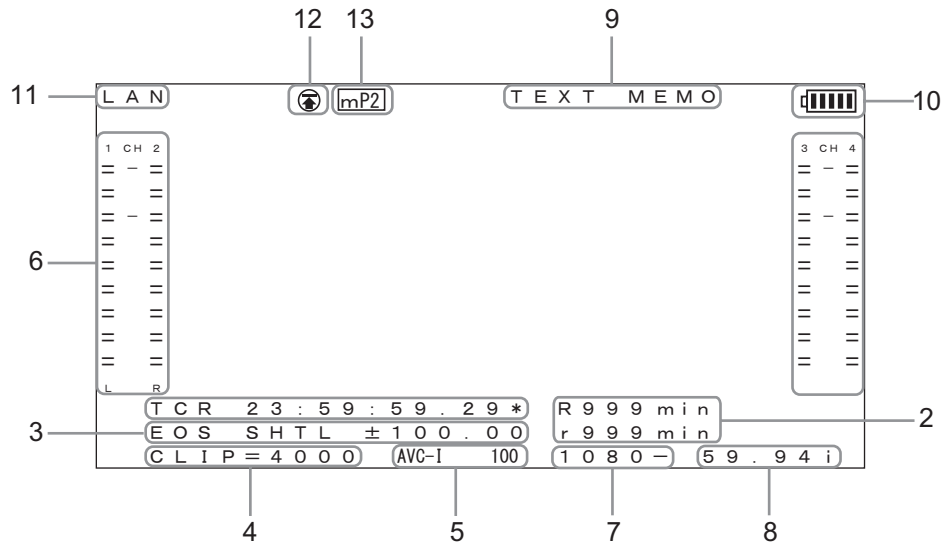
画面の表示

OSD表示

[DISPLAY]ボタンを押す度に、画面表示を「表示なし」→「OSD表示」→「表示なし」と切り替えることができます。再生や記録画面上にフォーマットやタイムコード、モードなどが省略文字で表示されます。

◆NOTE:

- 本表示はメニュー「OSD GRADE」(→108 ページ)でレベルメーターの有り無しを切り替えることができます。また、メニュー「OSD TC SELECT」(→108 ページ)で表示内容を切り替えることができます。
- 表示する出力先はメニュー「OSD OUTPUT」(→108 ページ)で切り替えることができます。
- タイムコードなどの画面下の表示は、メニュー「CHARA V POSI」(→109 ページ)で表示位置を切り替えることができます。



1. タイムコードなど、表示している情報とその種類

CTL	先頭からの相対位置
TCR	記録されたタイムコードデータ
TCR.	VAUX領域に記録されたタイムコードデータ
UBR	記録されたユーザーズビットデータ
UBR.	VAUX領域に記録されたユーザーズビットデータ
TCG	タイムコードジェネレーターのタイムコードデータ
UBG	タイムコードジェネレーターのユーザーズビットデータ
TIME	サブコードに記録された時間情報
DATE	サブコードに記録された日付情報

◆NOTE:

- P2カードから正しくデータを読み取ることができなかったときは、「T*R」や「U*R」が表示されます。
- 第2、第4フィールドの場合にフレームの後ろに「*」が表示されます。
- ドロップフレームのときは、秒の後の「:」コロンの「.」ピリオドになります。

2. カード残量

カードの残量(記録可能時間)を分単位で表示します。
R***はP2カードの記録残量を表します。
r***はProxy記録残量を表します。

◆NOTE:

- 600分以上は、時間(HOUR)単位での表示となり、数字の右に「h」を表示します。
- 残量、カード長情報が確定しないときは、ブランク表示を行います。
- 99時間を超える場合は99hと表示します。
- Proxy記録でSDメモリーカードに記録ができないとき(SDメモリーカードの残量が0など)には「r***」(Proxy記録残量)が点滅します。

3. 動作状態表示

現在のデッキの状態を表示します。

4. クリップ番号

サムネール表示のクリップ番号を表示します。

5. 圧縮記録フォーマット表示

記録、もしくは記録待機時は圧縮記録フォーマットを表示します。

再生時は、再生しているクリップの圧縮記録フォーマットを表示します。

6. オーディオレベルメーター表示

記録もしくは記録待機時は入力レベル、再生時は再生している音声レベルを表示します。

- メニュー「OSD GRADE」(→108 ページ)を「NO LVL METER」に設定した場合、オーディオレベルメーターは表示されません。

7. システムフォーマット表示

記録もしくは記録待機時は、設定メニューのシステムフォーマットが表示されます。

再生時は、再生しているクリップのシステムフォーマットが表示されます。





8. システム周波数表示

システムの周波数が表示されます。


9. 付加情報表示

メニュー「OSD TC SELECT」(→108 ページ)が「T&S&M」以外に設定されているときは、TEXT MEMO、MARKERの付加時のメッセージを表示します。また、プレイリスト編集モードのときは常時「PLAYLIST」表示を、メニュー「INT LOCK MODE」(→115 ページ)が有効なときは常時「INT LOCK」表示を行います。

10. バッテリー残量表示

バッテリーの残量が少なくなるにつれて  →  →  →  と変わります。

容量がなくなると  () が点滅します。







(AC アダプター接続時は  が表示されます)

低温、高温になるところや、長時間ご使用にならなかった場合は、バッテリー残量表示が正しく表示されないことがあります。バッテリー残量を正しく表示させるには、バッテリーを満充電してから使い切り、再度充電してください。(この操作を行っても、低温、高温になるところで長時間使用したバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、バッテリー残量表示を正しく表示できないことがあります)




使用状況によってバッテリー残量表示の時間は変わりますので、目安にしてください。

11. ネットワークの状態表示

ネットワーク機能の状態を表示します。

- 「WLAN」:ワイヤレス LAN が接続中のとき(リンク状態)
- 「WLAN 」:ワイヤレス LAN が未接続のとき(リンクしていない状態)
- 「WLAN 」:ワイヤレス LAN 接続に異常があるとき
- 「LAN」:有線 LAN が接続中のとき(リンク状態)
- 「LAN 」:有線 LAN が未接続(リンクしていない状態)のときまたは異常があるとき
- 「4G/LTE 」:4G/LTE 接続中のとき
- 「4G/LTE 」:4G/LTE 未接続のとき
- 「4G/LTE 」:4G/LTE 接続に異常があるとき
- 表示なし:ネットワーク機能が無効のとき

◆NOTE:

- 「」が表示される場合は、ケーブルやUSBモデムなどが未接続であることなどが考えられます。接続状態(ケーブルやUSBモデム)または電波状態などを確認してください。
- 「」「」が表示される場合は接続の問題が考えられます。正しい機材が接続されているか、設定はあっているかなどを確認してください。

12. レックデュアリングアップロード状態表示およびストリーミング配信状態表示

FTP自動転送(レックデュアリングアップロード)機能の転送状態の表示およびストリーミングの配信状態を表示します。



レックデュアリングアップロード機能が有効のときに表示します。

電源を入れた直後、またはP2カードを挿入してすぐに記録を開始したときは、表示が点滅し、記録を停止するまではアップロードは実行されません。



アップロードが実行中のときに表示します。



アップロードで転送エラーが発生し、次のアップロードが開始されるまで表示します。



(点滅)

本機がストリーミング映像を受信する機器との接続処理をしている間、表示が点滅します。



(点灯)

本機がストリーミング映像を受信する機器と接続し、本機がストリーミング映像を配信しているときに表示します。
正常に接続できなかったときは、表示が消えます。

13. 記録メディア表示

P2メモリーカードスロット、microP2メモリーカードスロットのうち、メニュー「REC MEDIA」(→97 ページ)で設定された記録再生動作ができるスロットを表示します。

P2	P2メモリーカードスロット
mP2	microP2メモリーカードスロット

デッキ情報(ダイアグ)表示

デッキの情報を表示します。デッキの情報には[USER]ボタン情報、ワーニング情報があります。

(→「ワーニング情報の表示」120 ページ)

1 [DIAG] ボタンを押す

[USER]ボタンの設定値情報を表示します。
また一度表示を行った後は前回表示したページを開きません。

◆NOTE:

- メニュー表示中は表示されません
- 表示する出力先はメニュー「GUI OUTPUT」(→108 ページ)と「OSD OUTPUT」(→108 ページ)で切り替えることができます。
- ダイアグ表示中は再生などの操作はできません。

2 [左] / [右] カーソルボタンを押す

押すたびに、各情報表示が切り替わります。



各項目内容

USER BUTTON:

USER1-6に設定されている機能名および現在の設定値を表示します。

WARNING:

ワーニング・エラー情報

3 [DIAG] ボタンを押す

元の表示に戻ります。

[EXIT] ボタンまたは[MENU]ボタンを押しても元の表示に戻ります。

ウェーブフォームモニター (WFM)表示

画面に簡易波形モニターを表示し、映像監視などが行えます。

メニュー「WFM TYPE」(→108 ページ)を設定すると表示できます。

WAVE: 波形を表示

VECTOR: ベクトルを表示

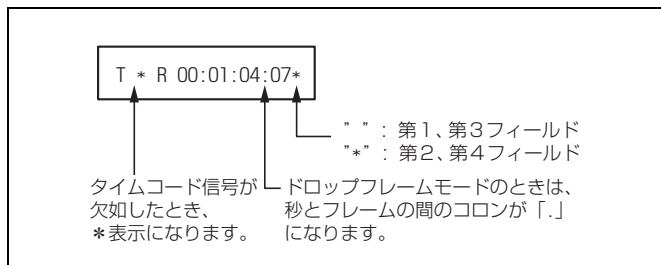
◆NOTE:

- 表示する出力先はメニュー「OSD OUTPUT」(→108 ページ)で切り替えることができます。
- メニューおよびサムネール表示中は表示されません。

タイムコード・ユーザーズビット・CTL

タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレーターによって発生されるタイムコード信号を記録します。タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。



ユーザーズビット

ユーザーズビットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット(8桁)の情報枠のことです。オペレーターナンバーなどを記録することができます。ユーザーズビットに使用できる数字(文字)は0~9とABCDEFです。


CTL

再生時は、先頭から再生している画像までの相対位置が表示されます。記録は、カウンター値が「0:00:00:00」から開始されます。記録終了時は、先頭からの相対位置が表示されます。

タイムコード/ユーザーズビットの設定

内部モード

1 停止モードにする

[STOP]  ボタンを押して、停止モードにしてください。

2 [COUNTER] ボタンで「TC」または「UB」を選択する

3 メニュー「RUN MODE」(→99 ページ)でタイムコードジェネレーターの歩進方法を設定する

REC RUN: 記録中のみ歩進させる。

FREE RUN: 動作モードに関係なく歩進させる。

4 メニュー「TCG MODE」(→99 ページ) / 「UBG MODE」(→99 ページ)でTCとUBの各モードを設定する

REGEN: P2カードに記録された最終タイムコードとのタイムコードの連続性を保つ。

PRESET: [TC PRESET]ボタンで設定された値から記録を開始する。

EXT: 外部タイムコード入力に従って記録する。

5 [TC PRESET] ボタンを使ってタイムコード / ユーザーズビットの開始値を設定する

TC/UBの設定方法:

1) [TC PRESET] ボタンを押す

左端の桁が点滅します。

2) [上] / [下] カーソルボタンを押して値を変更する

3) [左] / [右] カーソルボタンを押して、設定する桁を選択する

選択された桁が点滅します。

設定範囲は次の通りです。

タイムコード:	<59.94 Hz><29.97 Hz> 00:00:00:00 - 23:59:59:29
	<50 Hz><25 Hz> 00:00:00:00 - 23:59:59:24
ユーザーズビット:	00 00 00 00 - FF FF FF FF

6 手順5の2)~3)を繰り返して、値を変更する

[RESET] ボタンを押すと、プリセット値を0にリセットできます。

7 開始値の設定終了後、[SET] ボタンを押す

メニュー「RUN MODE」(→99 ページ)を「FREE RUN」に設定したときは、すぐにタイムコードの歩進が開始します。
設定をキャンセルするには、[EXIT]ボタンまたは[CANCEL]ボタンを押します。

■ 電源供給がないときのタイムコードについて

電源供給がないときもバックアップ機能がはたらいて、タイムコードジェネレーターは長時間(約3か月)動作を続けます。

◆NOTE:

- 長時間放置によりバックアップできなくなると、本機の電源投入時に「BACKUP BATT EMPTY」警告が表示され、本機の年月日・時刻を再度設定する必要があります。
(「年月日・時刻を合わせる」24 ページ、「BACKUP BATT EMPTY」121 ページ)
- メニュー「LINE&FREQ」(→114 ページ)の設定を変更したとき、歩進データはクリアされます。

外部モード

1 [STOP]  ボタンを押して、停止モードにする

2 [COUNTER]ボタンで「TC」を選択する

3 メニュー「TCG MODE」(→99 ページ) / 「UBG MODE」(→99 ページ)を「EXT」にする
(外部タイムコードの選択)

4 メニュー「EXT TC SEL」(→99 ページ)で、外部入力タイムコードの種類を選択する

EXT LTC:	リアパネルのTIME CODE IN端子(BNC)に入力されるLTC信号を記録します。
S/H LTC:	SDI IN端子またはHDMI IN端子に入力された信号に付加されているLTC信号を記録します。
S/H VITC:	SDI IN端子またはHDMI IN端子に入力された信号に付加されているVITC信号を記録します。

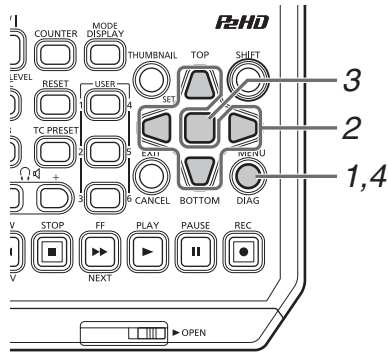
◆NOTE:

「S/H LTC」、「S/H VITC」設定時に、入力信号として「SD SDI」が選択されているときは、入力ビデオ信号のVITCが記録されます。

設定メニュー

メニューの操作

メニューは次のように操作します。



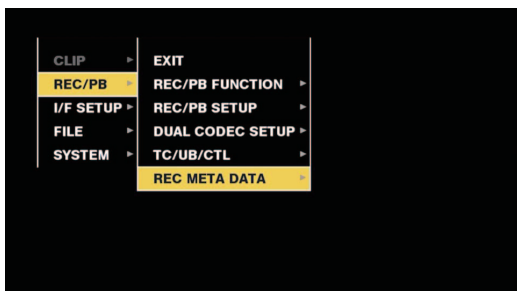
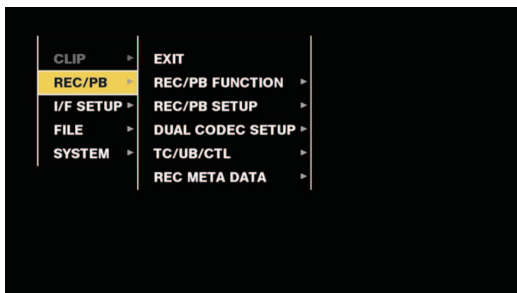
1 [MENU] ボタンを押し、メニューを表示する

2 カーソルボタンで該当のメニュー項目にカーソルを合わせる

次の階層にメニューがある場合はメニュー項目に「▶」が表示されています。

◆NOTE:

- [上] / [下] カーソルボタンを押すとカーソルが上下します。
- [右] カーソルボタンまたは[SET] ボタンを押すと、下位のメニューが開きます。
- [左] カーソルボタンまたは[EXIT] ボタンで上の階層へ戻ります。



3 [SET] ボタンを押す

◆NOTE:

- メニュー項目によっては、確認画面が表示されます。
- カーソルボタンで処理を選択し、[SET] ボタンを押します。
- 設定した項目には、項目の前にチェックマークがつきます。
- 一部のメニューでは、数値設定のための画面が表示されません。
- システムの周波数設定が変わる場合は再起動が必要となります。
- 一部のメニューでは、メニューの実行ができない場合、メッセージが表示されます。

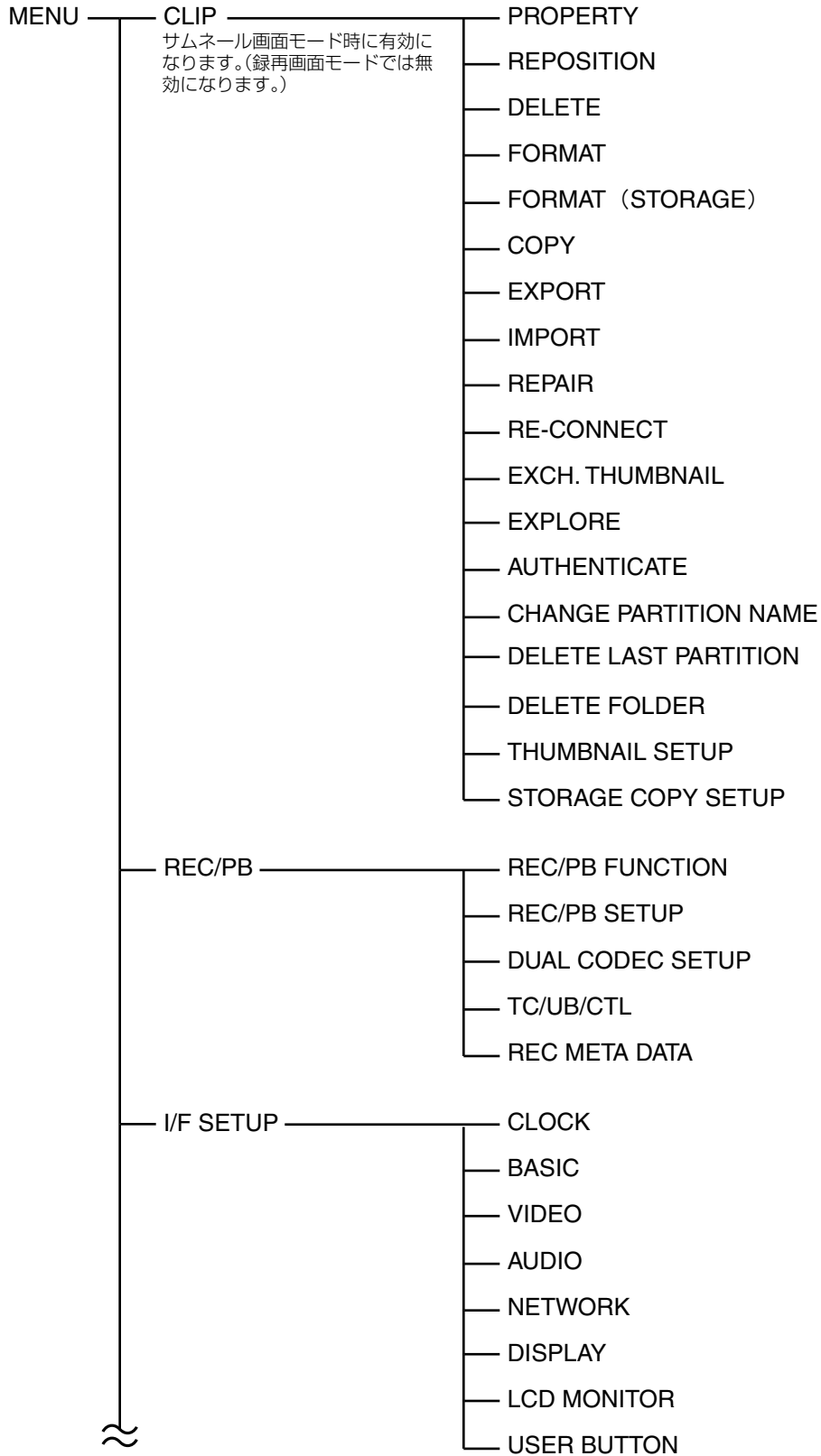
4 [MENU] ボタンを押し、メニューを終了する

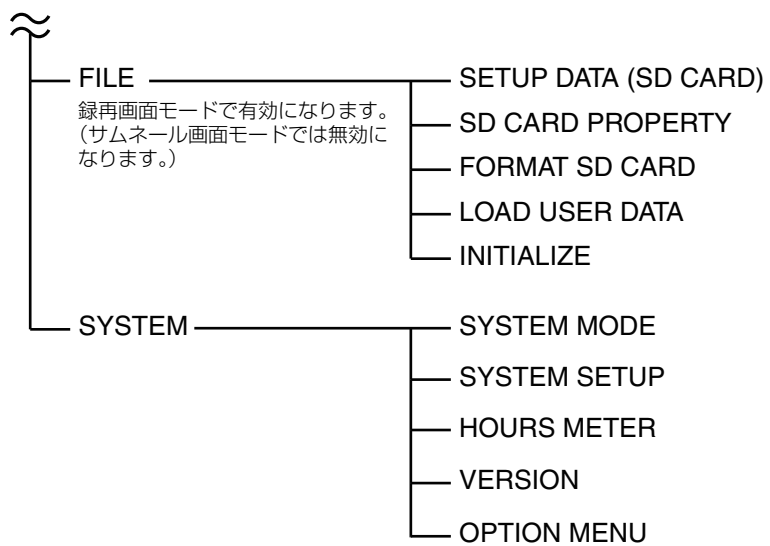
◆NOTE:

メニュー項目によっては、自動的に元の画面に戻ります。

設定したデータの保存と読み込み、および工場出荷状態への設定方法は、112～113ページをご参照ください。

メニュー構成





メニュー一覧

CLIP

「CLIP」メニューはサムネール画面モードで有効になります。(録再画面モードでは無効になります。)

PROPERTY

CLIP > PROPERTY

__は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
CLIP PROPERTY	クリップの詳細な情報を画面に表示します。また、個別の項目の修正を行うことができます。詳しくは「クリップの情報を表示・修正する」(→49 ページ)を参照してください。	59.94Hz 50Hz
CARD STATUS	P2カードスロットのカード状態を表示します。詳しくは「カードの状態を確認する」(→53 ページ)を参照してください。	59.94Hz 50Hz
CPS PASSWORD	microP2メモリーカードのCPSの暗号化パスワードを設定します。 LOAD: SDメモリーカードからCPSパスワードをロードします。 SET: CPSパスワードを入力します DELETE: 機器に保存されているパスワードを削除し、暗号化フォーマットを無効にします。	59.94Hz 50Hz
SD CARD	SDメモリーカードの情報を表示します。 「SD CARD PROPERTY」(→111 ページ)	59.94Hz 50Hz
REMAIN SETUP	P2カードの情報を表示するときに、残容量表示あるいは使用済み容量のどちらを表示するかを設定します。 REMAIN: 残容量表示 USED: 使用済み容量表示	59.94Hz 50Hz
FREE CAP. OF PARTITION	パーティション内の空き容量を表示します。 NOTE: [TYPE S]のストレージデバイスに対するサムネール画面のときに表示されます。	59.94Hz 50Hz

設定メニュー

CLIP > PROPERTY

__は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
REPOSITION	サムネール画面に表示するクリップを選択します。 ALL CLIP: 全クリップをサムネールに表示します。 SAME FORMAT CLIP: システムフォーマットと同じフォーマットで記録されていて、メニュー「AUDIO SMPL RES」(→114 ページ)で設定した音声ビット数と同じクリップのみをサムネールに表示します。 SELECTED CLIPS: [SET]ボタンで選択したクリップのみをサムネールに表示します。このときサムネールの並び順は、選択した順番となります。 MARKED CLIPS: ショットマークが付加されたクリップのみをサムネールに表示します。 TEXT MEMO CLIPS: テキストメモデータがあるクリップのみをサムネールに表示します。 SLOT CLIPS: 選択したスロットのクリップのみをサムネールに表示します。 NG CLIPS: 不良クリップインジケーターが表示されたクリップのみをサムネールに表示します。	59.94Hz 50Hz

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
DELETE	<p>選択しているクリップを削除します。</p> <p>NOTE: 途中で削除を中止するには、[SET]ボタンまたは[CANCEL]ボタンを押してキャンセルしてください。途中で削除されたクリップはキャンセルしても戻りません。</p>	59.94Hz 50Hz
FORMAT	<p>「FORMAT」メニューを選択後、指定したP2カードスロットのP2カードおよびSDメモリーカードスロットのSDメモリーカードをフォーマットします。</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> • P2カードスロットにmicroP2カードを挿入した場合、CPSのパスワードを設定しているときは、「NORMAL」(通常の非暗号化フォーマット)と「CPS(ENCRYPT)」(暗号化フォーマット)を選択することができます。 • フォーマットにより消去されたデータは復元することができませんので、必ずデータを確認した後に実行してください。 	59.94Hz 50Hz
FORMAT (STORAGE)	<p>USBで接続されたストレージデバイスをフォーマットします。「ストレージデバイスのタイプと利用できる機能について」(→56 ページ)</p> <p>TYPE S: TYPE S形式でフォーマットします。</p> <p>FAT: FAT形式でフォーマットします。</p> <p>NOTE: ストレージ エクスプロー、ストレージ サムネールのときのみ有効です。</p>	59.94Hz 50Hz
COPY	<p>選択しているクリップを、任意のP2カードスロットのP2カードやストレージデバイス、FTPサーバーにコピーします。</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> • コピー中に電源をOFFにしたり、カードを抜き差ししたりしないでください。不良クリップができます。不良クリップができてしまった場合は、クリップを削除してから、再度コピーを行ってください。 • 不完全クリップは連結した後でコピーしてください。 	59.94Hz 50Hz
EXPORT	<p>カード単位でP2カードやSDメモリーカードからストレージデバイスやLANへエクスポート(書き出し)します。</p> <p>ALL SLOT, SLOT1~SLOT3: P2カードからストレージデバイスへエクスポートします。</p> <p>SDCARD: SDメモリーカードからLANへエクスポートします。</p>	59.94Hz 50Hz
IMPORT	<p>ストレージデバイスやLANからP2カードやSDメモリーカードへ、カード単位でクリップなどをインポート(書き戻し)します。</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> • ストレージはTYPE Sのみ有効です。 • 元のP2カード品番と同じ品番のP2カード以外には書き戻せません。 • ストレージおよびFTPエクスプロー時のみ表示されます。 	59.94Hz 50Hz
REPAIR	<p>記録中、急に電源が切れるなどの原因で発生した、不具合のある不良クリップインジケータ(NG)が表示されたクリップを、修復します。</p> <p>NOTE: クリップの壊れ方によっては修復できないときがあります。修復不可能な場合は赤色のインジケータ(NG)が表示されます。</p>	59.94Hz 50Hz
RE-CONNECT	<p>複数のP2カードにまたがって記録されているクリップが連続したクリップとして認識されず、不完全クリップインジケータ(!)が表示されている場合に、この連結機能を使って、連続したクリップ(元の連結したクリップ)に復元することができます。</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 不完全クリップは以下のようなときにできます。 <ul style="list-style-type: none"> - 複数のP2カードに記録されたクリップを、P2カードごとに別々にコピーしたとき。 - 複数カードに記録されたクリップを、カードごとに別々にストレージデバイスへコピー後、P2カードへ書き戻したとき。 • 3つ以上に分かれた不完全クリップの一部分のクリップだけを連結しても、元のクリップを構成するすべてのクリップを連結するまでは、不完全クリップマークインジケータ(!)が付いたままになります。 	59.94Hz 50Hz
EXCH. THUMBNAIL	<p>クリップのサムネールを任意のテキストメモの位置にある映像に変更します。テキストメモクリップを表示中に実行できます。</p>	59.94Hz 50Hz
EXPLORE	<p>ストレージデバイスやLANの各種情報表示画面へ切り替えます。</p> <p>STORAGE: ストレージデバイスの各種情報表示画面へ切り替えます。</p> <p>LAN: LANの各種情報表示画面へ切り替えます。</p>	59.94Hz 50Hz

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
AUTHENTICATE	カードステータス画面から本メニューを選択すると、CPS パスワードを入力するソフトウェアキーボードが表示されます。パスワード入力し、「OK」を選択するとCPS パスワードが本機に設定されます。 設定されたCPS パスワードで認証に成功したときは、「AUTHENTICATED SUCCESSFULLY!」とメッセージが表示されます。 設定されたCPS パスワードでの認証に失敗したときは、ワーニングメッセージ(→120 ページ)が表示されます。	59.94Hz 50Hz
CHANGE PARTITION NAME	ストレージデバイス内のパーティションの名称を設定・変更します。 NOTE: <ul style="list-style-type: none"> 初期値はパーティション作成時の日時です。 TYPE Sのストレージデバイスのみ有効です。 ストレージエクスプローラー時のみ表示されます。 	59.94Hz 50Hz
DELETE LAST PARTITION	ストレージデバイスの最後のパーティションを削除します。 NOTE: <ul style="list-style-type: none"> カーソルが最後のパーティションにあるときのみ削除することができます。 ストレージエクスプローラー時のみ表示されます。 	59.94Hz 50Hz
DELETE FOLDER	FAT形式のストレージデバイスのフォルダーを削除します。 NOTE: ストレージエクスプローラー時のみ表示されます。	59.94Hz 50Hz

THUMBNAIL SETUP

__は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
INDICATOR	以下の項目から表示したい項目を選択し、[SET]ボタンを押すとチェックが付き、その項目が表示されます。「ALL HIDE」を選択している場合は他の項目は選択できません。 ALL HIDE: インジケータをすべて非表示にします。 MARKER: ショットマークインジケータを表示します。 TEXT MEMO: テキストメモインジケータを表示します。 WIDE: ワイドインジケータを表示します。 PROXY: プロキシインジケータを表示します。 NOTE: 上記設定にかかわらず不良クリップインジケータ(NG)、(NG)、不明クリップインジケータ、不完全クリップインジケータは常に表示されます。	59.94Hz 50Hz
DATA DISPLAY	時間表示部に表示する内容を選択します。 TC: タイムコード UB: ユーザーズビット TIME: 記録時刻 DATE: 記録日 DATE TIME: 記録日時 CLIP NAME: クリップ名 USER CLIP NAME: ユーザークリップ名の先頭の最大15文字(英語表示の場合) SLOT: スロット番号 THUMBNAIL TC: サムネール位置のタイムコード	59.94Hz 50Hz
THUMBNAIL SIZE	サムネールモードで画面に表示されるサムネールの大きさを設定します。 SMALL: 小(サムネール表示4 x 3、プロパティ表示あり) MEDIUM: 標準(サムネール表示: 4 x 3) LARGE: 大(サムネール表示: 3 x 2)	59.94Hz 50Hz
PB POSITION	サムネール画面から再生するときの再生開始位置を設定します。 RESUME: 再生を停止した位置から再生します。 THUMBNAIL TC: サムネール位置のタイムコードから再生します。 START TC: スタートタイムコード(クリップの先頭)から再生します。	59.94Hz 50Hz

CLIP > THUMBNAIL SETUP (続き)

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
SORT	サムネールの表示順番を設定します。 OFF: 記録日時順 SLOT: スロット順(同一スロット内のクリップ記録日時順に表示されます)。	59.94Hz 50Hz
PROPERTY DISP.	サムネールの左側に表示される簡易プロパティ項目を設定します。 USER CLIP NAME: ユーザークリップ名を表示します。 START TC: スタートTCを表示します。 REC DATE: 記録年月日を表示します。 REC TIME: 記録時刻を表示します。 NUM OF AUDIO CH: オーディオチャンネル数を表示します。 AUDIO RATE: オーディオのサンプリングレートを表示します。 AUDIO BIT: オーディオのビットレートを表示します。 CREATOR: 作成者を表示します。 SHOOTER: 撮影者を表示します。 PLACE NAME: 撮影地を表示します。 PROGRAM NAME: プログラム名を表示します。 SCENE NO.: シーン番号を表示します。 TAKE NO.: テイク番号を表示します。 REPORTER: レポーターを表示します。 PURPOSE: 取材目的を表示します。 OBJECT: 取材対象を表示します。 START UB: スタートユーザズビットを表示します。 REC RATE: 記録フレームレートを表示します。 LAST UP DATE: 最終更新日を表示します。 LAST UP PERSON: 最終更新者を表示します。 MANUFACTURER: 機材メーカー名を表示します。 SERIAL NO.: シリアル番号を表示します。 MODEL NAME: モデル名を表示します。 ALTITUDE: 高度を表示します。 LONGITUDE: 経度を表示します。 LATITUDE: 緯度を表示します。 1ST TEXT MEMO: 最初のテキストメモの内容を表示します。 THUMBNAIL OFFSET: サムネール記録位置を表示します。 NOTE: <ul style="list-style-type: none"> 同時に表示できる項目数は最大6項目です。 6項目選択した段階で残りの未チェック項目はすべて選択不可となります。 チェック済みの項目を未チェック状態に戻すことで再び項目の変更が可能になります。 	59.94Hz 50Hz
INFORMATION SEL.	選択されたクリップ数、クリップの再生時間などのサムネール情報を表示するか、ボンディング機器の情報を表示するかの選択をします。 THUMBNAIL INFO.: 選択されたクリップのクリップ数や再生時間のサムネール情報を表示します。 BONDING DEV. INFO.: ボンディング機器の情報を表示します。	59.94Hz 50Hz
THUMBNAIL INFO.	選択されたクリップ数、クリップの再生時間などの表示を設定します。 NUM OF CLIPS: 選択されたクリップ数を表示します。 DUR OF SEL CLIPS: 選択クリップの合計再生時間を表示します。 TOTAL DURATION: 表示されているクリップの合計再生時間を表示します。	59.94Hz 50Hz
TEXT MEMO IND	サムネール画面のクリップに表示されるテキストメモインジケータの表示モードを設定します。 ALL: テキストメモが付加されている全てのクリップに、インジケータを表示します。 HIDE CARD SERIAL: 次のようなテキストメモのみが付加されたクリップは、テキストメモインジケータを非表示にします。 <ul style="list-style-type: none"> カードのシリアル番号が記載されたテキストメモ その他クリップメタデータでオフセットが設定されていないテキストメモ カードのシリアル番号が記載されたテキストメモを、メタデータとして記録するには、メニュー「CARD SERIAL」(→101 ページ)を「ON」に設定します。 テキストメモにオフセットが設定されているかどうかは、クリッププロパティ画面の「MEMO」の「OFFSET」で確認できます。	59.94Hz 50Hz

STORAGE COPY SETUP

CLIP > STORAGE COPY SETUP

__は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
VERIFY	エクスポート時にベリファイを行うか、行わないかを設定します。 ON: ベリファイを行います。 OFF: ベリファイを行いません。 NOTE: TYPE Sフォーマットのストレージデバイス使用時のみ有効です。	59.94Hz 50Hz

REC/PB FUNCTION

REC/PB > REC/PB FUNCTION

__は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
RECORDING	記録の方式を選択します。 NORMAL :通常記録 LOOP :LOOP記録	59.94Hz 50Hz
AUTO REC	カメラレコーダーからのHD SDI*1・HDMI入力信号の記録 / 停止信号に従って、自動的に記録 / 停止を行うかを選択します。 TYPE1 : HD SDIに付加されているLTC情報内の記録 / 停止信号に従って自動的に記録 / 停止を行います。 TYPE2 : HD SDIに付加されているSVITC情報内の記録 / 停止信号に従って自動的に記録 / 停止を行います。 TYPE3 : 他社製カメラレコーダー使用時に設定します。 TYPE4 : HDMIに付加されている記録/停止信号に従って自動的に記録/停止を行います。 OFF : 自動的に記録 / 停止を行いません。 NOTE : <ul style="list-style-type: none"> SD SDI信号には対応しておりません。 「OFF」以外に設定し、REC PAUSE状態にすると、スーパーインポーズ画面に「AREC」と表示されます。 自動記録を開始するには、[REC]  ボタンと[PAUSE]  ボタンを同時に押して本機をREC PAUSE状態にしてください。REC PAUSE状態以外では動作しません。また、自動停止を受け付けた後は、REC PAUSE状態になります。 対応確認済みの機器については、Webサイトをご覧ください。(→「WebサイトURLについて」2ページ) 通常操作で本機が記録状態にあるときには、本設定は無効となり、自動停止しません。 	59.94Hz 50Hz
REPEAT PLAY	再生のときに、リピート再生を行うかを設定します。 ON : リピート再生をします。最終クリップを再生後、先頭のクリップから再生を続けます。 OFF : リピート再生をしません。最終クリップで再生を停止します。 NOTE : <ul style="list-style-type: none"> TEXT MEMOの再生時は、リピート再生を行いません。 リピート再生中にP2カードを抜くと、存在しなくなったクリップの再生に到達した時点で再生を中止します。 リピート再生中にP2カードを挿入しても、再生を停止して再度リピート再生を実施するまで、追加されたクリップは再生されません。 	59.94Hz 50Hz
SIMUL REC	2つのmicroP2カードスロットの2枚のP2カードに同時記録を行うかを設定します。 ON : 同時記録します。 OFF : 同時記録しません。	59.94Hz 50Hz
CONT. REC	入力信号が乱れたときに記録を継続するか停止するかを設定します。 ON : 記録を継続します OFF : 記録を一時停止します	59.94Hz 50Hz

*1 3G-SDI LEVEL-A、3G-SDI LEVEL-B DL、1.5G-SDI信号を、“HD SDI”信号と記載しております。

REC/PB SETUP

REC/PB > REC/PB SETUP

__は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
REC MEDIA	<p>記録するスロットを選択します。</p> <p>microP2: microP2 メモリーカード(カードスロット1,2)を使用します。</p> <p>P2: P2 メモリーカード(カードスロット3)を使用します。</p> <p>NOTE: 選択されていないスロットは記録はできませんが再生はできます。スロットの表示は記録禁止カードと同等の表示となります。</p>	59.94Hz 50Hz
FILE SPLIT	<p>AVC-LongGフォーマットでmicroP2メモリーカード(32 GB超)に記録するときに、記録ファイルを4 GB単位で分割するか、1ファイルにするかを選択します。</p> <p>ONE FILE: 1ファイルで記録します。</p> <p>SPLIT: 4 GB単位で分割します。</p> <p>SHORT SPLIT: 記録フォーマットに関係なく、128 秒単位で分割します。</p> <p>NOTE: 1ファイルにした場合、そのクリップはP2メモリーカードや32 GBのmicroP2メモリーカードへのコピーやストレージデバイスへのコピー・エクスポートができません。 また、メニュー「CODEC USAGE」(→98 ページ)で「OFF」以外に設定時、「ONE FILE」は選択できません。 「SHORT SPLIT」を選択すると、約128秒ごとの記録ファイルに分割されますが、P2機器でクリップのサムネール操作をする場合は、1つのクリップとして操作できます。1回の連続記録時間は約3.5時間です。約3.5時間経過後は、記録を停止して「REC WARNING」が表示されます。 なお、ループレック時は、「SHORT SPLIT」は無効になります。</p>	59.94Hz 50Hz
CC REC	<p>SD SDI入力信号に多重されたクローズドキャプション信号を記録するかを選択します。</p> <p>ON: 入力信号にクローズドキャプション信号が多重されている場合に記録します。</p> <p>OFF: 記録しません。EE出力もブランキングされます。</p>	59.94Hz
CC(F1) BLANK	<p>再生時のSD SDIから出力される第1フィールドのクローズドキャプション信号のON / OFFを設定します。</p> <p>BLANK: 強制ブランキングします。</p> <p>THROUGH: ブランキングしません。</p>	59.94Hz
CC(F2) BLANK	<p>再生時のSD SDIから出力される第2フィールドのクローズドキャプション信号のON / OFFを設定します。</p> <p>BLANK: 強制ブランキングします。</p> <p>THROUGH: ブランキングしません。</p>	59.94Hz
SHUTTLE MAX	<p>シャトル動作の最大速度を設定します。</p> <p>X8: ×8倍速 X16: ×16倍速 X32: ×32倍速 X60: ×60倍速 X100: ×100倍速</p>	59.94Hz 50Hz
FF.REW MAX	<p>FF、REW動作の最大速度を設定します。</p> <p>X32: ×32倍速 X60: ×60倍速 X100: ×100倍速</p> <p>SEEK: クリップの先頭へのシーク(移動)動作</p>	59.94Hz 50Hz
SEEK POS SEL	<p>[NEXT]ボタン、[PREV]ボタンを押したときのシーク(移動)動作で移動する位置を選択します。</p> <p>CLIP: クリップの先頭 CLIP&TEXT MEMO: クリップの先頭、およびテキストメモの設定点</p>	59.94Hz 50Hz

DUAL CODEC SETUP

REC/PB > DUAL CODEC SETUP

◆NOTE:

メニュー「RECORDING」(→96 ページ)で「NORMAL」以外を選択しているとき、または「SIMUL REC」(→96 ページ)で「ON」を選択しているときは、「CODEC USAGE」を「PROXY REC(P2)」または「PROXY REC(P2&SD)」に設定してもプロキシデータの記録を行うことができません。

―は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
CODEC USAGE	<p>プロキシデータの記録を行うメディアを選択します。</p> <p>PROXY REC(P2): P2 カードにプロキシデータの記録を行います。</p> <p>PROXY REC(P2&SD): P2 カードとSD メモリーカードの両方にプロキシデータの記録を行います。</p> <p>STREAMING: ストリーミングを出力します。</p> <p>OFF: プロキシデータの記録およびストリーミングの出力を行いません。</p> <p>CODEC USAGEが変更できない場合は、PROXY REC MODEまたはSTREAMING MODEの設定を変更してください。</p>	<p>59.94Hz 50Hz</p>
PROXY REC MODE	<p>プロキシデータの記録モードを設定します。</p> <p>LOW 2CH MOV (1080iモード時のみ)</p> <p><u>HQ 2CH MOV</u></p> <p>SHQ 2CH MOV</p> <p>AVC-G6 2CH MOV</p> <p>各モードの詳細は、「記録モードと記録信号(ビデオ、オーディオ)」(→32 ページ)を参照してください。</p>	<p>59.94Hz 50Hz</p>
STREAMING MODE	<p>ストリーミングの転送モードを設定します。</p> <p>LOW</p> <p><u>HQ</u></p> <p>AVC-G6</p> <p>SHQ(QoS)</p> <p>AVC-G(QoS)</p>	<p>59.94Hz 50Hz</p>
QoS MAX RATE	<p>QoS動作時の映像データの最大ビットレートを設定します。この設定は、本機からの操作でストリーミング配信を開始するときに使用されます。</p> <p>メニュー「START TRIGGER」(→106 ページ)で「AJ-PG50」を選択しているときに設定できます。</p> <p>256Kbps</p> <p>512Kbps</p> <p>1Mbps</p> <p>1.5Mbps</p> <p>2.5Mbps</p> <p>3.5Mbps</p> <p>6Mbps</p> <p><u>9Mbps</u></p> <p>「STREAMING MODE」で「SHQ(QoS)」を選択している場合は、「9Mbps」を選択できません。</p>	<p>59.94Hz 50Hz</p>
QoS MIN RATE	<p>QoS動作時の映像データの最小ビットレートを設定します。この設定は、本機からの操作でストリーミング配信を開始するときに使用されます。</p> <p>メニュー「START TRIGGER」(→106 ページ)で「AJ-PG50」を選択しているときに設定できます。</p> <p><u>256Kbps</u></p> <p>512Kbps</p> <p>1Mbps</p> <p>1.5Mbps</p> <p>2.5Mbps</p> <p>3.5Mbps</p> <p>6Mbps</p> <p>9Mbps</p>	<p>59.94Hz 50Hz</p>

REC/PB > DUAL CODEC SETUP (続き)

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
STREAMING LATENCY	<p>ストリーミング配信中の遅延モードを設定します。この設定は、本機からの操作でストリーミング配信を開始するときに使用されます。</p> <p>メニュー「START TRIGGER」(→106 ページ)で「AJ-PG50」を選択しているときに設定できません。</p> <p>NORMAL: ストリーミングの安定性を重視する場合に設定します。</p> <p>SHORT: ストリーミングの遅延を少なくすることを重視する場合に設定します。</p>	59.94Hz 50Hz

TC/UB/CTL

REC/PB > TC/UB/CTL

―は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
CTL DISPLAY	<p>CTLカウンター表示の12 / 24時間表示を選択します。</p> <p>±12h: 12時間表示</p> <p>24h: 24時間表示</p>	59.94Hz 50Hz
TCG MODE	<p>内蔵タイムコードジェネレーターの動作モードを設定します。</p> <p>REGEN: P2カードに記録された最終のタイムコードとの連続性を保つように内蔵タイムコードジェネレーターを同期させます。</p> <p>PRESET: [TC PRESET]ボタンで設定された値から記録を開始します。</p> <p>EXT: タイムコード入力端子または、映像信号のVITC、SLTCから入力する外部タイムコードを使用します。選択はメニュー「EXT TC SEL」(→99 ページ)で設定します。</p>	59.94Hz 50Hz
UBG MODE	<p>内蔵タイムコードジェネレーターのユーザズビットの動作モードを設定します。</p> <p>REGEN: P2カードに記録された最終のユーザズビットに内蔵タイムコードジェネレーターを同期させます。</p> <p>PRESET: [TC PRESET]ボタンで設定された値から記録を開始します。</p> <p>EXT: タイムコード入力端子または、映像信号のVITC、SLTCから入力する外部UBを使用します。選択はメニュー「EXT TC SEL」(→99 ページ)で設定します。</p>	59.94Hz 50Hz
RUN MODE	<p>内蔵タイムコードジェネレーターが歩進する動作モードを設定します。</p> <p>REC RUN: 記録中のみ歩進します。</p> <p>FREE RUN: 電源が投入されている間、動作モードに関係なく歩進します。</p>	59.94Hz 50Hz
EXT TC SEL	<p>外部タイムコードを用いるときに使用するタイムコードを設定します。</p> <p>EXT LTC: TIME CODE IN端子のLTC</p> <p>S/H LTC: SDI IN端子またはHDMI IN端子に入力された信号に付加されているLTC情報</p> <p>S/H VITC: SDI IN端子またはHDMI IN端子に入力された信号に付加されているVITC情報</p> <p>NOTE: 「S/H LTC」、「S/H VITC」設定時、ビデオ入力信号として「SD SDI」が選択されているときは、入力信号のVITCを使用します。</p>	59.94Hz 50Hz
VITC GEN	<p>内部タイムコードジェネレーターの値を、VAUX領域へ記録するかどうかを設定します。</p> <p>ON: 内部タイムコードジェネレーター値を記録します。</p> <p>OFF: 内部タイムコードジェネレーター値を記録しません。入力ビデオ信号にVITC情報が重畳されているときは、その値を記録します。</p> <p>NOTE: メニュー「LINE&FREQ」が「720-59.94P」、「720-50P」に設定されているときは、下記の動作になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> VAUX領域に記録されるタイムコード: 本メニューがOFFであっても、入力ビデオ信号にVITC情報が重畳されていない場合は、内部タイムコードジェネレーター値が記録されます。 VAUX領域に記録されるユーザズビット: 本メニューの設定に関わらず、常にフレームレート情報が記録されます。 	59.94Hz 50Hz

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
DF MODE	CTLおよびTCGのドロップフレームモード / ノンドロップフレームモードを設定します。 DF : ドロップフレームモードを使用します。 NDF : ノンドロップフレームモードを使用します。	59.94Hz
VITC BLANK	再生時、メニュー「VITC POS-1」と「VITC POS-2」で指定した位置にVITC信号を出力するかを選択します。 BLANK : 出力しません。 THROUGH : 出力します。 NOTE : <ul style="list-style-type: none"> 本設定は、SD SDI出力にのみ有効です。 EE時は、入力信号に多重されたVITC信号がそのまま出力されます。 	59.94Hz 50Hz
VITC POS-1	VITC信号の挿入位置を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 59.94 Hz設定時: LINE 10 ~ LINE 16 ~ LINE 20 50 Hz設定時: LINE 7 ~ LINE 11 ~ LINE 22 NOTE : <ul style="list-style-type: none"> メニュー「VITC POS-2」と同じラインは選択できません。 本設定は、SD SDI出力にのみ有効です。 [RESET]ボタンを押しても工場出荷時設定に戻りません。 	59.94Hz 50Hz
VITC POS-2	VITC信号の挿入位置を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 59.94 Hz設定時: LINE 10 ~ LINE 18 ~ LINE 20 50 Hz設定時: LINE 7 ~ LINE 13 ~ LINE 22 NOTE : <ul style="list-style-type: none"> メニュー「VITC POS-1」と同じラインは選択できません。 本設定は、SD SDI出力にのみ有効です。 [RESET]ボタンを押しても工場出荷時設定に戻りません。 	59.94Hz 50Hz
HD EMBD LTC	HD SDI出力にLTC情報を重畳するかしないかを選択します。 ON : LTCを重畳します。 OFF : LTCは重畳しません。	59.94Hz 50Hz
HD EMBD VITC	HD SDI出力にVITC情報を重畳するかしないかを選択します。 ON : VITCを重畳します。 OFF : VITCは重畳しません。	59.94Hz 50Hz

REC META DATA

REC/PB > REC META DATA

__は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
LOAD	SDメモリーカードに保存されたメタデータアップロードファイルをロードします。	59.94Hz 50Hz
RECORD	ロードされているメタデータを記録時に付加するか、付加しないかを設定します。 ON: 付加する OFF: 付加しない	59.94Hz 50Hz
CARD SERIAL	シリアル番号やカードの種類が記載されたテキストメモをメタデータとして記録する機能の有効/無効を設定します。 ON: 記録します OFF: 記録しません	59.94Hz 50Hz
USER CLIP NAME	USER CLIP NAMEへ記録するデータを設定します。 •「RECORD」が「ON」のとき TYPE1: ロードしたデータ設定値を記録する TYPE2: ロードしたデータ+カウンター値を記録する •「RECORD」が「OFF」のとき TYPE1: GLOBAL CLIP IDと同じ値を記録する TYPE2: CLIP NAMEと同じ値を記録する	59.94Hz 50Hz
INITIALIZE	ロードした全メタデータを削除し、初期化します。	59.94Hz 50Hz
PROPERTY	ロードしたメタデータの確認や修正を行います。	59.94Hz 50Hz
LANGUAGE	メタデータを表示するときの表示言語を設定します。 ENGLISH: 英語表示 JAPANESE: 日本語表示	59.94Hz 50Hz

I/F SETUP

CLOCK

I/F SETUP > CLOCK

詳細は「年月日・時刻を合わせる」(→24 ページ)を参照してください。

BASIC

I/F SETUP > BASIC

__は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
BEEP	ビープ音のON / OFF を切り替えます。 ON : ビープ音を出力します。 OFF : ビープ音を出力しません。 NOTE: ビープ音は[PHONES]端子からも出力されます。	59.94Hz 50Hz
KEYBOARD	接続するキーボードの種類を設定します。 QWERTY(101) QWERTY(109) AZERTY QWERTZ	59.94Hz 50Hz
POWER ON GUI	電源投入時にサムネール画面を表示するかを設定します。 THUMBNAİL : サムネール画面を表示します。 OFF : サムネール画面を表示しません。	59.94Hz 50Hz
AUTO POWER OFF	ボタンの操作がなかったときに、電源を自動的にOFFにするまでの時間を設定します。 10min : 非操作10分で電源をオフします。 30min : 非操作30分で電源をオフします。 60min : 非操作60分で電源をオフします。 90min : 非操作90分で電源をオフします。 OFF : 本機の電源をOFF にせずに通電状態を保持します。 NOTE: <ul style="list-style-type: none">この設定が「OFF」以外となっても、再生中(可変速再生、早送り/早戻し再生、一時停止含む) および記録中は、電源OFF になりません。USB ケーブルで外部機器と接続して通信状態になっているときや、PLAYLISTモードでは、上記ボタンの操作がなかった場合でも電源OFF にはなりません。ストリーミングを行っている場合は設定を「OFF」にしてください。時間を設定している場合は非操作で電源OFFになります。	59.94Hz 50Hz

VIDEO

I/F SETUP > VIDEO

__は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
INPUT SEL	<p>ビデオの入力信号を選択します。</p> <p>HD SDI: SDI端子(HD信号入力)を選択します。</p> <p>SD SDI: SDI端子(SD信号入力)を選択します。</p> <p>HDMI: HDMI IN端子を選択します。</p> <p>INT SG: 内部の信号発生器を選択します。信号は、メニュー「INT SG」で選択された内部信号に切り替わります。</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機は、60 Hz JUST周波数信号には対応しておりません。入力信号には、59.94 Hz系または50 Hz系信号をご使用ください。 本機が受信できる信号フォーマットは「LINE&FREQ」の設定で決定した信号フォーマットのみのため、入力する信号も「LINE&FREQ」で設定したフォーマットと同一にしてください。 入力信号が受信できない信号の場合、「INVALID INPUT FORMAT」のワーニングを表示し、映像をブラックミュートします。 HD SDI / SD SDI の項目は「LINE&FREQ」の設定に従い表示されます。 	<p>59.94Hz 50Hz</p>
INT SG	<p>内蔵信号の種類を設定します。SMPTE、ARIB信号は、「LINE&FREQ」設定がHDフォーマット時のみ有効(SDモード時はブラック)です。</p> <p>100%CB: 100%カラーバー</p> <p>75%CB: 75%カラーバー</p> <p>SMPTE: SMPTEカラーバー</p> <p>ARIB: ARIBカラーバー</p> <p>BLACK: ブラック</p>	<p>59.94Hz 50Hz</p>
SG MOVE	<p>INT SGの上に自動的に位置が変わる四角を表示する機能を切り替えます。</p> <p>ON: 表示します。</p> <p>OFF: 表示しません。</p>	<p>59.94Hz 50Hz</p>
WIDE SEL	<p>「LINE&FREQ」が「480-59.94i」または「576-50i」設定時、WIDE情報を記録するかを設定します。</p> <p>WIDE: 記録します。</p> <p>NORMAL: 記録しません。</p>	<p>59.94Hz 50Hz</p>
EDH(SD)	<p>SD SDI出力にEDHを重畳するかを選択します。</p> <p>ON: 重畳します。</p> <p>OFF: 重畳しません。</p>	<p>59.94Hz 50Hz</p>
OUTPUT FORMAT	<p>ビデオ出力端子から出力される映像信号を選択します。</p> <p>AUTO: 現在の記録、再生フォーマットに従って、自動的に出力を切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 59.94 Hz設定時 <ul style="list-style-type: none"> 1080P: 1080/59.94p 720P: 720/59.94p 1080i: 1080/59.94i 480i: 480/59.94i 50 Hz設定時 <ul style="list-style-type: none"> 1080P: 1080/50p 720P: 720/50p 1080i: 1080/50i 576i: 576/50i <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> 「AUTO」以外を選択した場合、記録、再生フォーマットと異なる信号は自動的に変換されて出力します。 「LINE&FREQ」が「480-59.94i」または「576-50i」設定時は表示されません。 	<p>59.94Hz 50Hz</p>

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
HDMI OUT FORMAT	「LINE&FREQ」が「480-59.94i」、「576-50i」のとき、または「OUTPUT FORMAT」が「480i」、「576i」のときのHDMI出力をインターレース信号またはプログレッシブ信号に切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> 59.94 Hz設定時 480i: インターレース信号(480/59.94i)で出力します。 480P: プログレッシブ信号(480/59.94p)で出力します。 50 Hz設定時 576i: インターレース信号(576/50i)で出力します。 576P: プログレッシブ信号(576/50p)で出力します。 	59.94Hz 50Hz
3G-SDI OUT	「LINE&FREQ」(→114 ページ)が「1080-59.94P」、「1080-50P」のときの3G-SDI出力形式を選択します。 LEVEL-A: 3G-SDI LEVEL-A形式を選択します。 LEVEL-B: 3G-SDI LEVEL-B DL形式を選択します。	59.94Hz 50Hz
DOWNCON MODE	ダウンコンバーター出力時のアスペクト比を選択します。 CROP: 垂直軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は維持) LT-BOX: 水平軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は維持) SQUEEZE: 水平と垂直軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は歪むおそれがあります)	59.94Hz 50Hz

AUDIO

―は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
INPUT SEL	オーディオの入力信号を選択します。 V IN SEL: VIDEOの入力信号選択と同じ信号を選択します。 ANALOG: ANALOG AUDIO IN端子を選択します。	59.94Hz 50Hz
INPUT CH1 LEVEL	アナログオーディオ入力CH1のレベルを選択します。 4 dB 0 dB -3 dB -20 dB	59.94Hz 50Hz
INPUT CH2 LEVEL	アナログオーディオ入力CH2のレベルを選択します。 4 dB 0 dB -3 dB -20 dB	59.94Hz 50Hz
MONITOR CH	モニター出力に出力する音声を選択します。LとRの出力を選択します。また、HDMI出力の音声もこの設定に従います。 CH1 / 2: LにCH1、RにCH2を出力します。 CH3 / 4: LにCH3、RにCH4を出力します。 CH1 + 2 / 3 + 4: LにCH1 + 2、RにCH3 + 4を出力します。 CH1 + 3 / 2 + 4: LにCH1 + 3、RにCH2 + 4を出力します。	59.94Hz 50Hz
SPEAKER OUT	スピーカーへの出力ON / OFFを切り替えます。 ON: スピーカーから出力します。 OFF: スピーカーから出力しません。(BEEP音も出力しません。)	59.94Hz 50Hz
REF LEVEL	基準レベルを選択します。 FS-20: -20 dB FS-18: -18 dB FS-12: -12 dB	59.94Hz 50Hz

NETWORK

I/F SETUP > NETWORK

__は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
NETWORK SEL	ネットワークの接続方法を選択します。 WLAN: ワイヤレスLANで接続します。 4G/LTE: 3G/4G/LTEで接続します。 LAN: 本機のLAN端子で接続します。 OFF: ネットワークは使用できません。 NOTE: ネットワークの接続については「ネットワーク接続について」(→64 ページ)を参照してください。	59.94Hz 50Hz
NETWORK FUNC		
HTTP SERVER	HTTP サーバー機能について設定します。 BROWSE: P2 ブラウズ機能を有効にします。 BROWSE(+CTRL): HTTP サーバー機能と、端末側から録画開始や停止、タイムコードやユーザービットのプリセット制御を有効にします。 DISABLE: HTTP サーバー機能を無効にします。	59.94Hz 50Hz
USER ACCOUNT	ユーザーアカウント名を設定します。	59.94Hz 50Hz
ACCOUNT LIST	設定されているアカウント名を表示します。また、アカウントの新規登録や削除、パスワードの変更も行うことができます。	59.94Hz 50Hz
FTP CLIENT SERVICE		
SETTING DATA	クライアントサービスの設定値をどこから取得するかを設定します。 INTERNAL: 本機に設定されている設定値を使用します。 SD CARD: SDカードスロットに挿入されたSDメモリーカード内のファイルの設定値を使用します。「SD CARD」に設定しているときは、本機の電源を入れる前にSDメモリーカードを挿入してください。	59.94Hz 50Hz
SERVER URL	接続先サーバー名またはアドレスを設定します。	59.94Hz 50Hz
LOGIN USER	接続するユーザーIDを設定します。	59.94Hz 50Hz
LOGIN PASSWORD	接続するときのパスワードを設定します。	59.94Hz 50Hz
SSH	SSHを用いてファイルを転送する場合に設定します。 ENABLE: SSHを使用します。 DISABLE: SSHを使用しません。	59.94Hz 50Hz
SSH PORT	SSHを使用するときのネットワークのポート番号を設定します。サーバー側と同じ番号に設定してください。 初期値: <u>22</u> なお、設定値はセキュリティ対応のため表示されません。	59.94Hz 50Hz
LOAD (SD CARD)	SDメモリーカードから、クライアントサービスの設定値を読み込みます。	59.94Hz 50Hz
SAVE (SD CARD)	SDメモリーカードに、クライアントサービスの設定値を保存します。	59.94Hz 50Hz
REC DURING UPLOAD	レックデュアリングアップロード機能を設定します。 ENABLE: レックデュアリングアップロード機能を利用します。 DISABLE: レックデュアリングアップロード機能を利用しません。	59.94Hz 50Hz
AUTO UPLOAD	本機で操作して記録したクリップを、記録停止時に自動的にアップロードリストに登録する機能を有効にするか、有効にした場合は、対象のクリップの種別を設定します。 REC CLIP (PROXY): 記録クリップのプロキシデータをアップロードの対象にします。 REC CLIP: 記録クリップ(メイン記録データとプロキシデータ)をアップロードの対象にします。 DISABLE: 記録クリップをアップロードの対象にしません。	59.94Hz 50Hz
UPLOAD LIST	アップロードするクリップのリスト情報を表示します。	59.94Hz 50Hz

I/F SETUP > NETWORK (続き)

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
SAVE LOG (SD CARD)	アップロードリストに登録されたクリップ情報(月日、クリップ番号(グローバルクリップID)、ステータス)の最新ログ1000件までをSDメモリーカードに保存できます。	59.94Hz 50Hz
STREAMING SETTING		
START TRIGGER	ストリーミング映像の配信を開始する方法を設定します。 AJ-PG50 : 本機からストリーミング配信の開始/停止を操作します。 RECEIVER : SP2 Browser やP2 Streaming Receiver などを使用し、ネットワーク上の端末からストリーミング配信の開始/停止を操作します。	59.94Hz 50Hz
SETTING DATA	「START TRIGGER」で「AJ-PG50」を選択しているときに、ストリーミング配信をするための設定値をどこから取得するかを設定します。 INTERNAL : 本機に設定されている設定値を使用します。 SD CARD : SD カードスロットに挿入されたSDメモリーカード内のファイルの設定値を使用します。「SD CARD」に設定しているときは、本機の電源を入れる前にSDメモリーカードを挿入してください。	59.94Hz 50Hz
SERVER ADDR.	「START TRIGGER」で「AJ-PG50」を選択しているときに、ストリーミング映像を受信する機器のIPアドレスを設定します。	59.94Hz 50Hz
RTSP PORT	「START TRIGGER」で「AJ-PG50」を選択しているときに、ストリーミング配信に必要なRTSPポート番号を設定します。 工場出荷時の設定: 554	59.94Hz 50Hz
LOAD (SD CARD)	「START TRIGGER」で「AJ-PG50」を選択しているとき、かつ、「SETTING DATA」で「INTERNAL」を選択しているときに、SDメモリーカードから、ストリーミング配信に必要な接続情報を読み込みます。	59.94Hz 50Hz
SAVE (SD CARD)	「START TRIGGER」で「AJ-PG50」を選択しているとき、かつ、「SETTING DATA」で「INTERNAL」を選択しているときに、SDメモリーカードに、ストリーミング配信に必要な接続情報を保存します。	59.94Hz 50Hz
STREAMING	「START TRIGGER」で「AJ-PG50」を選択しているときに、本機からストリーミング配信を開始/停止します。 START : ストリーミング配信を開始します。 STOP : ストリーミング配信を停止します。	59.94Hz 50Hz
LAN PROPERTY		
MAC ADDRESS	本機のLAN端子のマックアドレスを表示します。(変更できません)	59.94Hz 50Hz
DHCP	DHCPによる自動ネットワーク設定を行います。 ENABLE : DHCP(自動取得)を利用します。 DISABLE : DHCP(自動取得)を利用せず、設定を入力します。 「DISABLE」を選択した場合は、以下のメニューが表示されますので、設定を行ってください。 IP ADDRESS : IPアドレスを設定します。 SUBNET MASK : サブネットマスクを設定します。 DEFAULT GATEWAY : デフォルトゲートウェイアドレスを設定します。 PRIMARY DNS : 優先DNSサーバーのアドレスを設定します。 SECONDARY DNS : 代替DNSサーバーのアドレスを設定します。 DHCP SERVER : 有線LAN で接続しているときに、DHCP SERVER 機能を利用するかを設定します。	59.94Hz 50Hz
WIRELESS PROPERTY		
MAC ADDRESS	本機のワイヤレスLAN のMAC アドレスを表示します。(変更できません)	59.94Hz 50Hz
TYPE	接続方法を選択します。 DIRECT : 本機のネットワーク機能にスマートフォン、タブレット端末、パーソナルコンピュータから直接アクセスできます。 INFRA : ワイヤレスアクセスポイントと接続します。	59.94Hz 50Hz
SSID INPUT MODE	SSID の設定方法を設定します。 SELECT : アクセスポイントの一覧から選択します。 MANUAL : 手動で入力します。	59.94Hz 50Hz
SSID	ネットワーク名(SSID)を表示します。	59.94Hz 50Hz

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
BAND	2つの通信方式(2.4 GHzまたは5 GHz)を切り替えます。 2.4GHz 5GHz	59.94Hz 50Hz
CHANNEL (2.4GHz)	「TYPE」で「DIRECT」を選択し、ワイヤレスLAN で接続しているときに、使用するチャンネルを設定します。 AUTO CH1 CH6 CH11	59.94Hz 50Hz
CHANNEL (5GHz)	「TYPE」で「DIRECT」を選択し、かつ、「BAND」で「5GHz」を選択し、ワイヤレスLANで接続しているときに、使用するチャンネルを設定します。装着するワイヤレスモジュールによって、選択肢が変わります。 AUTO CH36 CH40 CH44 CH48	59.94Hz 50Hz
ENCRYPTION	暗号化方式を設定します。 WPA-TKIP WPA-AES WPA2-TKIP WPA2-AES NONE	59.94Hz 50Hz
ENCRYPT KEY	暗号化キーを設定します。8 ~ 63 文字の文字列または64 桁の16 進数で設定します。 工場出荷値: 01234567890123456789abcdef	59.94Hz 50Hz
DHCP	「TYPE」で「INFRA」を選択しているとき、DHCP による自動取得を利用するかを設定します。 ENABLE : 自動取得を利用します。 DISABLE : 自動取得を利用しません。 「IP ADDRESS」、「SUBNET MASK」、「DEFAULT GATEWAY」、「PRIMARY DNS」、 「SECONDARY DNS」を設定してください。	59.94Hz 50Hz
IP ADDRESS	「DHCP」で「DISABLE」を選択しているとき、IP アドレスを設定します。 工場出荷値: 192.168.0.1	59.94Hz 50Hz
SUBNET MASK	「DHCP」で「DISABLE」を選択しているとき、サブネットマスクを設定します。 工場出荷値: 255.255.255.0	59.94Hz 50Hz
DEFAULT GATEWAY	「TYPE」で「INFRA」を選択し、「DHCP」で「DISABLE」を選択しているときのデフォルトデフォルトウェイを設定します。 工場出荷値: 192.168.0.254	59.94Hz 50Hz
PRIMARY DNS	「TYPE」で「INFRA」を選択し、「DHCP」で「DISABLE」を選択しているとき、もしくは「DHCP」で「ENABLE」を選択し、優先DNS サーバーを取得できないとき、優先DNS サーバーを設定します。 工場出荷値: 0.0.0.0	59.94Hz 50Hz
SECONDARY DNS	「TYPE」で「INFRA」を選択し、「DHCP」で「DISABLE」を選択しているとき、もしくは「DHCP」で「ENABLE」を選択し、優先DNS サーバーを取得できないとき、代替DNS サーバーを設定します。 工場出荷値: 0.0.0.0	59.94Hz 50Hz
DHCP SERVER	「TYPE」で「DIRECT」を選択し、ワイヤレスLAN で接続しているときに、DHCP SERVER 機能を利用するかを設定します。 ENABLE : DHCP SERVER 機能を利用します。 DISABLE : DHCP SERVER 機能を利用しません。	59.94Hz 50Hz
4G/LTE PROPERTY		
APN	プロバイダーから提供されたAPN(アクセスポイント名)を設定します。	59.94Hz 50Hz
USER ID	プロバイダーから提供されたユーザー名を設定します。	59.94Hz 50Hz
PASSWORD	プロバイダーから提供されたパスワードを設定します。	59.94Hz 50Hz
DIAL NO.	電話番号を設定します。詳しくは、ご契約のプロバイダーの説明書を参照してください。	59.94Hz 50Hz

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
NETWORK TOOLS		
LOG DISPLAY	接続ログを表示します。	59.94Hz 50Hz
STATUS DISPLAY	ネットワークの状態を表示します。	59.94Hz 50Hz
INITIALIZE	ネットワークの各種設定を初期化し、工場出荷状態に戻します。	59.94Hz 50Hz
PING	ネットワークの接続を確認します。	59.94Hz 50Hz

DISPLAY

__は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
GUI OUTPUT	サムネイル画面をHDMI OUTとSDI OUTへ出力するかを設定します。 LCD : 出力しません(液晶モニターのみに表示) ALL : LCD、HDMI OUTとSDI OUTすべてへ出力します。	59.94Hz 50Hz
OSD OUTPUT	スーパーをHDMI OUTとSDI OUTへ出力するかを設定します。 LCD : 出力しません(液晶モニターのみに表示) ALL : LCD、HDMI OUTとSDI OUTすべてへ出力します。	59.94Hz 50Hz
OSD GRADE	録再または再生画面でのスーパー表示を設定します。 ALL : すべてを表示します。 NO LVL METER : オーディオレベルメーターを表示しません。	59.94Hz 50Hz
OSD TC SELECT	スーパー表示内容を設定します。 ここで、データとは[COUNTER]ボタンで選択されているCTL / TC / UBの値のことを指します。 TIME : データ T&STATUS : データ・動作状態 T&S&M : データ・動作状態・クリップ番号・映像フォーマット・音声ビット数 T&REC TIME : データ・REC TIME T&REC DATE : データ・REC DATE T&UB : データ・ユーザーズビット ただし、[COUNTER]ボタンでUBを選択しているときは、ユーザーズビットの次にタイムコードが表示されます。 T&CTL : データ・CTL ただし、[COUNTER]ボタンでCTLを選択しているときは、CTLデータの次にタイムコードが表示されます。 T&T : データ・タイムコード NOTE : 「T&S&M」に設定したときは、ワーニングやエラーが発生するとエラーメッセージがスーパー表示されます。	59.94Hz 50Hz
WFM TYPE	ウェーブフォーム、ベクトルモニター表示を選択します。 WAVE : 波形表示 VECTOR : ベクトル表示 OFF : 表示しません。	59.94Hz 50Hz
WFM POSI	ウェーブフォームモニターの表示位置を選択します。 R/T : 右上の位置です。 L/T : 左上の位置です。 R/B : 右下の位置です。 L/B : 左下の位置です。 NOTE : 液晶モニターへの表示は、左右移動のみになります。	59.94Hz 50Hz
4:3 MARKER	液晶モニターに4:3 マーカーを表示するかを設定します。 ON : 表示します。 OFF : 表示しません。	59.94Hz 50Hz

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
CHARA V POSI	スーパー表示の垂直方向文字位置を設定します。 TOP: 上側に表示します。 BOTTOM: 下側に表示します。	59.94Hz 50Hz

LCD MONITOR

__は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
TIME OUT	いずれかの操作を行ったあと一定時間(約5分)が経過すると、自動的に液晶モニターのパックライトを消すことができます。 5min: 約5分後、自動的に液晶モニターのパックライトが消灯します。 OFF: 液晶モニターのパックライトは消灯しません。	59.94Hz 50Hz
BACKLIGHT	液晶モニターのパックライトの明るさの調整を行います。 -3: 最も暗くなります。 Q: 通常の明るさです 1: 通常より明るくなります。	59.94Hz 50Hz
BRIGHTNESS	液晶モニターの明るさの調整を行います。 -15 ~ Q ~ 15	59.94Hz 50Hz
COLOR LEVEL	液晶モニターの色合いの調整を行います。 -15 ~ Q ~ 15	59.94Hz 50Hz
CONTRAST	液晶モニターのコントラストの調整を行います。 -30 ~ Q ~ 30 NOTE: この設定値とR、G、Bのコントラストの設定をかけた値がR、G、Bそれぞれのコントラスト調整値となります。	59.94Hz 50Hz
R CONTRAST	液晶モニターのR(Red)のコントラストの調整を行います。 -30 ~ Q ~ 30 NOTE: この設定値と「CONTRAST」の設定値をかけた値が調整値となります。	59.94Hz 50Hz
G CONTRAST	液晶モニターのG(Green)のコントラストの調整を行います。 -30 ~ Q ~ 30 NOTE: この設定値と「CONTRAST」の設定値をかけた値が調整値となります。	59.94Hz 50Hz
B CONTRAST	液晶モニターのB(Blue)のコントラストの調整を行います。 -30 ~ Q ~ 30 NOTE: この設定値と「CONTRAST」の設定値をかけた値が調整値となります。	59.94Hz 50Hz
LCD REVERSE	液晶モニターの表示を上下左右反転表示する機能の設定をします。 NORMAL: 通常表示 REVERSE: 上下左右反転表示 NOTE: REVERSE設定時、設定メニューの反転表示が移動する方向や、サムネール表示画面のカーソルの移動する方向も上下左右反転します。	59.94Hz 50Hz

USER BUTTON

I/F SETUP > USER BUTTON

[USER1] ~ [USER6]の各ボタンに、メニューで設定した特定の機能を割り振ることができます。

設定は内部に保存され、電源のOFF/ONを行ってもそのまま利用できます。また割り振られた機能や設定はダイアグ表示で確認することもできます。

—は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
USER1	<p>TEXT MEMO: テキストメモボタンとして機能します。</p> <p>MARKER: ショットマークのON / OFFボタンとして機能します。</p> <p>DELETE: 「DELETE」ショートカットボタンとして機能します。</p> <p>FORMAT: 「FORMAT」ショートカットボタンとして機能します。</p> <p>COPY: 「COPY」ショートカットボタンとして機能します。</p> <p>EXPORT: 「EXPORT」のショートカットとして機能します。</p> <p>EXPLORE: 「EXPLORE」ショートカットボタンとして機能します。</p> <p>CLIP PROPERTY: 「CLIP PROPERTY」ショートカットボタンとして機能します。</p> <p>CARD STATUS: 「CARD STATUS」ショートカットボタンとして機能します。</p> <p>1 CLIP PLAY: 単一クリップ再生ボタンとして機能します。</p> <p>SLOT CLIPS: サムネール画面の表示を「SELECTED CLIPS」→「SLOT1」→「SLOT2」→ と切り替えます。</p> <p>SLOT SEL: 記録するP2カードスロットを変更します。</p> <p>REC MEDIA: 「REC/PB SETUP」-「REC MEDIA」の設定を変更します。</p> <p>DATA DISPLAY: 「DATA DISPLAY」の設定を変更します。</p> <p>SEEK POS SEL: 「SEEK POS SEL」の設定を変更します。</p> <p>CTL DISPLAY: 「CTL DISPLAY」の設定を変更します。</p> <p>TCG MODE: 「TCG MODE」の設定を変更します。</p> <p>UBG MODE: 「UBG MODE」の設定を変更します。</p> <p>RUN MODE: 「RUN MODE」の設定を変更します。</p> <p>EXT TC SEL: 「EXT TC SEL」の設定を変更します。</p> <p>VIDEO IN SEL: 「INPUT SEL」 (VIDEO)の設定を変更します。</p> <p>INT SG: 「VIDEO」-「INT SG」の設定を変更します。</p> <p>AUDIO IN SEL: 「INPUT SEL」 (AUDIO)の設定を変更します。</p> <p>MONITOR CH: 「MONITOR CH」の設定を変更します。</p> <p>GUIT OUTPUT: 「GUIT OUTPUT」の設定を変更します。</p> <p>OSD OUTPUT: 「OSD OUTPUT」の設定を変更します。</p> <p>OSD GRADE: 「OSD GRADE」の設定を変更します。</p> <p>WFM TYPE: 「WFM TYPE」の設定を変更します。</p> <p>REC D.UP: 「REC DURING UPLOAD」の設定を変更します。</p> <p>UP LIST: 「UPLOAD LIST」ショートカットボタンとして機能します。</p> <p>STREAMING: 「STREAMING」の設定を変更します。</p> <p>LOAD SETUP DATA: 「SETUP DATA」-「LOAD」のショートカットボタンとして機能します。</p> <p>NO ASSIGN: 機能割り当てを行いません。</p> <p>NOTE: 同じ項目を他の[USER]ボタンに設定することも可能です。</p>	<p>59.94Hz 50Hz</p>
USER2	<p>設定内容は「USER1」と同様です。</p> <p>工場出荷時の設定はMONITOR CHです。</p>	
USER3	<p>設定内容は「USER1」と同様です。</p> <p>工場出荷時の設定はTEXT MEMOです。</p>	
USER4	<p>設定内容は「USER1」と同様です。</p> <p>工場出荷時の設定はREC MEDIAです。</p>	
USER5	<p>設定内容は「USER1」と同様です。</p> <p>工場出荷時の設定はSLOT SELです。</p>	
USER6	<p>設定内容は「USER1」と同様です。</p> <p>工場出荷時の設定はMARKERです。</p>	

FILE

FILEメニューは録再画面モードで有効になります。
(サムネール画面モードでは無効になります。)

SETUP DATA (SD CARD)

FILE > SETUP DATA (SD CARD)

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
LOAD	SDメモリーカードに保存されたセットアップデータのファイルリスト一覧から選択したファイルを本機に読み込みます。	59.94Hz 50Hz
SAVE	本機の現在のメニュー設定値を、SDメモリーカードに保存された既存のファイルリスト一覧から選択したファイルに上書きします。	59.94Hz 50Hz
SAVE AS	本機の現在のメニュー設定値を、SDメモリーカードに新規ファイルとして ファイル名、タイトルを入力して、保存します。	59.94Hz 50Hz

SD CARD PROPERTY

FILE > SD CARD PROPERTY

SDメモリーカードの状態を表示します。
フォーマット状態や、空き容量などを確認できます。

SD STANDARD:	SDメモリーカードがSD/SDHC/SDXC準拠でフォーマットしているかを表示します。 SUPPORTED: SD/SDHC/SDXC 準拠 NOT SUPPORTED: SD/SDHC/SDXC 非準拠
USED:	使用済み容量[バイト]
BLANK:	空き容量[バイト]
TOTAL:	全容量[バイト]
PROXY REM:	プロキシ記録の場合の記録残量
NUMBER OF CLIP:	コピーおよびプロキシ記録によりSDメモリーカードに入っているクリップ数
PROTECT:	書き込み禁止状態

FORMAT SD CARD

FILE > FORMAT SD CARD

SDメモリーカードをフォーマットします。

LOAD USER DATA

FILE > LOAD USER DATA

本機内のメモリーに保存されたユーザーファイルを読み出します。

INITIALIZE

FILE > INITIALIZE

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
LOAD FACTORY DATA	メニュー設定値がすべて工場出荷状態になります。 選択すると「SYSTEM RESTART」の確認メッセージが表示されます。 「YES」を選択すると自動で再起動します。	59.94Hz 50Hz
SAVE USER DATA	メニュー設定値をユーザーデータとして本機内のメモリーに保存します。 ユーザーが固有に設定する保存データとして使用できます。 ユーザーデータの読み出しは「FILE」→「LOAD USER DATA」で行います。	59.94Hz 50Hz

設定したデータの保存と読み込み

指定したメニュー項目をSDメモリーカードへ保存および本機へ読み込むことができます。

SDメモリーカードへの保存には既存ファイルに上書きする「SAVE」と、新規にファイルを作成する「SAVE AS」の2つの操作があります。

◆NOTE:

SDメモリーカードはSDカードスロットへ挿入して使用します。

■ 既存ファイルに上書きする

- 1 カーソルボタンで、メニュー「SAVE」(→111 ページ)にカーソルを合わせ、[SET]ボタンを押す
次のように、SDメモリーカード内の所定のフォルダーに格納されたSETUP DATA の一覧が表示されます。

NO	FILE NAME	TITLE	DATE TIME
EXIT			
1	upload	Panasonic	2013-JUL-01 14:45:36

- 2 [上] / [下]カーソルボタンで上書きしたいファイル名の項目に移動し、[SET]ボタンを押す
タイトル入力画面とキーボードが表示されます。キーボードから設定したい文字(最大8文字)を入力します。(→「キーボードの利用」117 ページ)
- 3 タイトルを入力後[MENU]ボタンを押す。
- 4 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、[SET]ボタンを押す
ファイルの保存が開始されます。
- 5 完了メッセージが表示されたら、[SET]ボタンを押す

■ 新規にファイルを作成する

- 1 カーソルボタンでメニュー「SAVE AS」(→111 ページ)にカーソルを合わせ、[SET]ボタンを押す
ファイル名、タイトル名入力画面とキーボードが表示されます。キーボードから設定したいファイル名(最大8文字)とタイトル名(最大12文字)を入力します。(→「キーボードの利用」117 ページ)
- 2 ファイル名およびタイトル名を入力後、カーソルボタンで「OK」ボタンを選択する
- 3 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、[SET]ボタンを押す
ファイルの保存が開始されます。
- 4 完了メッセージが表示されたら、[SET]ボタンを押す

◆NOTE:

本機で保存したセットアップファイルは、他機種では使用できません。同様に他機種で保存したセットアップファイルは、本機では使用できません。

■ セットアップファイルを読み込む

- 1 カーソルボタンでメニュー「SETUP DATA(SD CARD)」→「LOAD」(→111 ページ)にカーソルを合わせ、[SET]ボタンを押す
SDメモリーカード内の所定のフォルダーに格納されたセットアップファイル の一覧が表示されます
- 2 [上] / [下]カーソルボタンで上書きしたいファイル名の項目に移動し、[SET]ボタンを押す
- 3 確認メッセージで「YES」にカーソルを合わせ、[SET]ボタンを押す
ファイルの読み込み処理が開始されます。
「SYSTEM RESTART」の確認メッセージが表示されます。
「YES」を選択すると自動で再起動します。

■ 設定データをユーザーエリアに書き込む

- 1 カーソルボタンでメニュー「SAVE USER DATA」(→112 ページ)にカーソルを移動させ、[SET]ボタンを押す

確認メッセージが表示されます。

- 2 確認メッセージの「YES」にカーソルを移動させ、[SET]ボタンを押す

設定したデータが本機の内部メモリーのユーザーエリアに書き込まれます。

- 3 完了メッセージが表示されたら、「OK」を選択して [SET]ボタンを押す

メニュー「SAVE USER DATA」に戻ります。

■ 書き込まれたユーザーデータを読み出す

- 1 メニュー「LOAD USER DATA」(→111 ページ)にカーソルを移動させ、[SET]ボタンを押す

確認メッセージが表示されます。

- 2 確認メッセージの「YES」にカーソルを移動させ、[SET]ボタンを押す

本機の内部メモリーのユーザーエリアから設定したデータを読み込みます。

- 3 完了メッセージが表示されたら、「OK」を選択して [SET]ボタンを押す

メニュー「LOAD USER DATA」に戻ります。

SYSTEM

SYSTEM MODE

SYSTEM > SYSTEM MODE

__は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明
LINE&FREQ	<p>システムのライン数と周波数、記録フォーマット、オーディオの量子化ビット数を設定します。ライン数および周波数を選択すると、その周波数などで選択可能な項目のみ表示されます。周波数を変更すると機器の、再起動が必要です。再起動が必要な場合は、ダイアログが表示されます。</p> <p>1080-59.94P:ライン数1080p、システム周波数59.94 Hzを選択します。</p> <p>1080-50P:ライン数1080p、システム周波数50 Hzを選択します。</p> <p>1080-59.94i:ライン数1080i、システム周波数59.94 Hzを選択します。</p> <p>1080-50i:ライン数1080i、システム周波数50 Hzを選択します。</p> <p>720-59.94P:ライン数720p、システム周波数59.94 Hzを選択します。</p> <p>720-50P:ライン数720p、システム周波数50 Hzを選択します。</p> <p>480-59.94i:ライン数480i、システム周波数59.94 Hzを選択します。</p> <p>576-50i:ライン数576i、システム周波数50 Hzを選択します。</p>
REC FORMAT	<p><「LINE&FREQ」のサブメニュー> 記録のコーデックを選択します。</p> <p>AVC-I200/**: AVC-Intra200を選択します。</p> <p>AVC-I100/**: AVC-Intra100を選択します。</p> <p>AVC-I50/**: AVC-Intra50を選択します。</p> <p>AVC-G50/**: AVC-LongG50を選択します。</p> <p>AVC-G25/**: AVC-LongG25を選択します。</p> <p>AVC-G12/**: AVC-LongG12を選択します。</p> <p>DVCPRO HD/**: DVCPRO HD(100 Mbps)を選択します。</p> <p>DVCPRO50/**: DVCPRO50(50 Mbps)を選択します。</p> <p>DVCPRO/**: DVCPRO(25 Mbps)を選択します。</p> <p>DV/**: DV(25 Mbps)を選択します。</p> <p>NOTE: 設定値の「**」は記録のフレームレートが表示されます。ただし59.94は60と表示します。</p>
AUDIO SMPL RES	<p>記録フォーマットがAVC-Intra100 / AVC-Intra50の場合の音声記録の量子化ビット数を選択します。</p> <p>16BIT: 音声記録ビット数を16ビットとします。</p> <p>24BIT: 音声記録ビット数を24ビットとします。</p> <p>NOTE: この設定項目にかかわらず、記録フォーマットがAVC-Intra200、AVC-LongG50、AVC-LongG25の場合は24ビット、AVC-LongG12、DVCPRO HD、DVCPRO50、DVCPRO、DVの場合は16ビットとなります。</p>

SYSTEM SETUP

SYSTEM > SYSTEM SETUP

__は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
AV PHASE	<p>映像出力に対する音声出力の位相を調整します(20.8 μsステップ)。</p> <p>-128 ~ 0 ~ 127</p> <p>ー: 映像出力に対して、音声出力の位相を進めます。</p> <p>+: 映像出力に対して、音声出力の位相を遅らせます。</p>	<p>59.94Hz 50Hz</p>
GPS	<p>本機とネットワーク接続した外部機器などから位置情報を取得するかを設定します。</p> <p>位置情報が取得できないときは、メタデータには位置情報は記録されません。</p> <p>EXTERNAL: 位置情報を取得します。</p> <p>OFF: 位置情報を取得しません。</p>	<p>59.94Hz 50Hz</p>

項目	設定内容および概略機能説明	FREQによる表示項目
P.OFF GPS DATA	<p>メニュー「GPS」(→114 ページ)で「EXTERNAL」を選択している場合、本体の電源を切ったときに位置情報を保持するかクリアするかを設定します。</p> <p>HOLD: 位置情報を保持し、次に本体の電源を入れてから新しく位置情報を取得するまでの間、保持したデータを利用して記録します。</p> <p>CLEAR: 位置情報をクリアし、次に本体の電源を入れてから新しく位置情報を取得するまでの間、位置情報は記録されません。</p>	59.94Hz 50Hz

HOURS METER

SYSTEM > HOURS METER

項目	設定内容および概略機能説明
OPERATION	本機の電源が入っていた時間の総合計を表示します。
P.ON TIMES	本機の電源を入れた回数の総合計を表示します。
LCD	本機の液晶モニターが点灯していた時間の総合計を表示します。
FAN	本機のファンが回転していた時間の総合計を表示します。

VERSION

SYSTEM > VERSION

本機の各種バージョンを表示します。

項目	設定内容および概略機能説明
VERSION	本機的全ファームウェアのバージョン(代表バージョン)を表示します。
MODEL NAME	本機の製品名を表示します。
SERIAL NO.	本機の製造番号を表示します。
NETWORK ID	本機のネットワークIDを表示します。
UID	本機固有のユニークIDを表示します。

OPTION MENU

SYSTEM > OPTION MENU

オプションメニューは[DISPLAY]ボタンを押しながら[MENU]ボタンを押すと表示します。

__は工場出荷時の設定です。

項目	設定内容および概略機能説明
INT LOCK MODE	<p>液晶表示と出力信号を、入力信号基準から、内部のフリー信号基準に載せかえる機能を設定します。HDMI入力にのみ機能します。HDMI入力信号の周波数がずれており、本機で受信できない場合に活用できます。</p> <p>ON: フリー信号基準モードとなります</p> <p>OFF: 通常モードとなります</p> <p>NOTE:</p> <ul style="list-style-type: none"> 液晶表示と出力信号および記録した映像は、フレーム落ち/同一連続フレーム/映像重なり等になる場合があります。 「INT LOCK MODE」の機能が動作しているときは、液晶モニターの付加情報表示部に「INT LOCK」と表示されます。
AREA SETTING	<p>本機を使用する地域を選択します。「AREA SELECT」画面で、次の設定ができます。</p> <p>NTSC: 日本以外のNTSC 地域を選択します。</p> <p>NTSC(J): 日本を選択します。</p> <p>PAL: PAL 地域を選択します。</p>

入力 / 出力対応フォーマット一覧

メニュー「LINE&FREQ」、「REC FORMAT」などの設定による、入出力対応フォーマットを下記に示します。

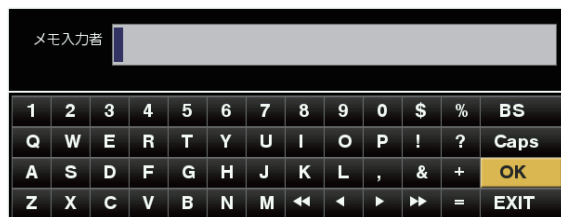
圧縮フォーマット 「REC FORMAT」	サンプリング	量子化	ビデオフォーマット「LINE&FREQ」		
			1080-59.94i 1080-50i	720-59.94p 720-50p	1080-59.94p 1080-50p
AVC-Intra200	4:2:2	10 bit	記録再生	記録再生	
AVC-Intra100	4:2:2	10 bit	記録再生	記録再生	記録再生 <3G-SDI>
AVC-Intra50	4:2:0	10 bit	記録再生	記録再生	
AVC-LongG50	4:2:2	10 bit	記録再生	記録再生	
AVC-LongG25	4:2:2	10 bit	記録再生	記録再生	記録再生 <3G-SDI>
AVC-LongG12	4:2:0	8 bit	記録再生	記録再生	記録再生 <3G-SDI>
DVCPRO HD	4:2:2	8 bit	記録再生	記録再生	

圧縮フォーマット 「REC FORMAT」	サンプリング	量子化	480-59.94i 576-50i
DVCPRO50	4:2:2	8 bit	記録再生
DVCPRO	4:1:1	8 bit	記録再生
DV	---	8 bit	記録再生

キーボードの利用

フルキーボード

フルキーボードは、メタデータの入力など英数字の入力が必要なときに表示されます。
入力したい文字にカーソルを移動し、[SET]ボタンを押すと文字が入力されます。
カーソルの移動はカーソルボタンで行います。



次のキーボード上のキーは、対応する機能を実行します。

キー	機能
BS	1文字削除
Caps	大文字小文字切り替え
OK	入力保存しソフトウェアキーボードを閉じる
EXIT	入力破棄しソフトウェアキーボードを閉じる
◀◀	カーソル位置を先頭文字に移動
◀	カーソル位置を1文字分戻す
▶	カーソル位置を1文字分進める
▶▶	カーソル位置を最終文字の次の入力位置に移動

◆NOTE:

- [RESET]ボタン押しで入力文字をすべて消去します。
- [EXIT]ボタンを押したときは閉じる前に確認メッセージが表示されますので、閉じる場合は「YES」を選択して[SET]ボタンを押してください。
- Capsの切り替えにより、記号の内容も変化します。

テンキーボード

テンキーボードは、数字のみ入力が必要なときに表示されます。
入力したい数字にカーソルを移動し、[SET]ボタンを押すと数字が入力されます。
カーソルの移動はカーソルボタンで行います。



次のキーボード上のキーは、対応する機能を実行します。

キー	機能
BS	1文字削除
OK	入力保存しソフトウェアキーボードを閉じる
EXIT	入力破棄しソフトウェアキーボードを閉じる
◀	〈10進数入力時〉 カーソル位置を1文字分戻す 〈タイムコード入力時〉 カーソル位置を1項目戻す
▶	〈10進数入力時〉 カーソル位置を1文字分進める 〈タイムコード入力時〉 カーソル位置を1項目進める

USBキーボード

フルキーボードやテンキーボードを表示するメニューを選択しているときに、USBキーボードをUSB3.0端子に接続すると、USBキーボードからの入力を行うことができます。
メニューで事前にキーボードの種類の設定が必要です。
(→メニュー「KEYBOARD」102 ページ)

◆NOTE:

- 入力できる文字は英数字と記号のみとなります。
- キーボードによっては正しく動作しない場合があります。

未永くお使いいただくために

お手入れについて

お手入れの際は、ベンジンやシンナーを使わないでください。

- ベンジンやシンナーを使うと、本機が変形したり、塗装がはげたりするおそれがあります。
- お手入れの際は、DC入力をはずし、ACコードをコンセントから抜いておきます。
- 柔らかい、清潔な布で本機を拭いてください。汚れがひどいときは、水でうすめた台所用洗剤にひたした布で汚れを拭き、乾いた布で仕上げてください。

結露

結露が起こるのは、暖房を入れた部屋の窓ガラス一面に水滴(露)が付くのと同一原理です。本機やカードを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気が立ちこもる湿度の多いところや、暖房を入れた直後の部屋へ移動したとき
 - 冷房を入れているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したとき
- このようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに、10分程度放置したままお待ちください。

保管上のお願い

湿気が少なく、比較的湿度が一定な場所にそれぞれ保管してください。

推奨周囲温度: 15℃～25℃

推奨相対湿度: 40%～60%

■ 本機

- ほこりが入らないよう、柔らかい布で包んでください。
- 外装の劣化や液晶画面の損傷のおそれがありますので、直射日光が当たらない場所で保管してください。

■ P2カード・SDメモリーカード

- P2メモリーカードを本機から取り出したときは、必ず専用キャップを取り付けて砂やほこりがコネクター部に付着しないようにしてください。また、保管時や携帯時は、専用ケースに入れてください。
- microP2メモリーカードやSDメモリーカードを本機から取り出したときは、必ずケースに収納してください。
- 腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。
- 車の中や直射日光の当たるところなど温度が高くなる場所には置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところには置かないでください。

ワーニングシステム

ワーニング内容一覧

電源を入れた後や操作中に異常が検出されると、**⏻/|**(電源)ランプ、およびビープ音で異常発生を知らせます。

◆NOTE:

同時に複数のエラーが起こった場合、順位が上のものを表示します。

1. システムエラー

モニター表示	エラーコードを表示します。
⏻/ (電源)ランプ	1秒間に4回点滅します。
カードアクセスランプ	
ビープ音	早い繰り返し
ワーニング内容	基準信号の異常や通信異常です。
記録・再生の動作	停止します。
対策	「エラーコード表」を確認し、お買い上げの販売店にご相談ください。

2. FORMAT不一致

モニター表示	エラーコードを表示します。
⏻/ (電源)ランプ	1秒間に4回点滅します。
カードアクセスランプ	
ビープ音	早い繰り返し
ワーニング内容	SYSTEM モードが内部で不一致となり、再起動が必要です。
記録・再生の動作	動作できません。
対策	メッセージに従って一度電源を切ってから、再度電源を入れて、エラー表示がないことを確認してください。

3. カード取り出しエラー

モニター表示	エラーコードを表示します。
⏻/ (電源)ランプ	1秒間に4回点滅します。
カードアクセスランプ	
ビープ音	早い繰り返し
ワーニング内容	アクセス中のP2カードを取り出したため、本機の内部メモリーに異常が発生しています。
記録・再生の動作	動作できません。
対策	メッセージに従って一度電源を切ってから、再度電源を入れてください。抜いたカードのクリップに異常がないか確認し、必要に応じて修復を行ってください。

4. 記録異常 / 記録停止

モニター表示	「REC WARNING」表示
⏻/ (電源)ランプ	1秒間に4回点滅します。
カードアクセスランプ	
ビープ音	早い繰り返し
ワーニング内容	<ul style="list-style-type: none">記録回路の設定の異常です。何らかの原因で記録が継続できない状態です。
記録・再生の動作	記録を継続する場合と停止する場合があります。
対策	「ワーニング情報の表示」(→120 ページ)を参照してください。

エラーコード

コードNo.	メッセージ表示	内容	動作
E-30	TURN POWER OFF <P2 CARD>	カードの読み書きに異常が発生したときに表示されます。 一度、電源を切ってからご使用ください。	カード取り出し 異常
E-31	TURN POWER OFF <SYSTEM MODE>	システムモードの異常 一度、電源を切ってからご使用ください。	FORMAT不一致
E-35	SYSTEM ERROR <CODEC>	CODECマイコンの異常 一度、電源を切ってからご使用ください。	システムエラー
E-36	SYSTEM ERROR <P2 SYSTEM>	P2CSマイコンの異常(異常通知) 一度、電源を切ってからご使用ください。	システムエラー
E-37	SYSTEM ERROR <P2CS>	P2CSマイコンの異常(通信断) 一度、電源を切ってからご使用ください。	システムエラー
E-39	SYSTEM ERROR <INITIALIZE>	ビデオ初期化異常 一度、電源を切ってからご使用ください。	システムエラー
E-50	BATTERY TOO LOW	バッテリーの電圧が、アンダーカット電圧以下になったときに表示されます。	低電圧

ワーニング情報の表示

ワーニング発生時に、OSD表示およびインフォメーション表示にメッセージが表示されます。

メッセージ表示	内容	デッキ動作
CANNOT REC	P2カードに記録ができないときに表示します。 【原因】 <ul style="list-style-type: none"> • ライトプロテクトがされている • カードに容量がない • 使えないカードに記録しようとしている • 記録中にカード状態が変わった • BUSY中に記録しようとした 	停止(STOP)
CANNOT LOOP REC	メニュー「RECORDING」(→96 ページ)が「LOOP」のときに、P2カードに記録 ができないときに表示します。 【原因】 <ul style="list-style-type: none"> • ライトプロテクトがされている • カードに容量がない • 使えないカードに記録しようとしている • 記録中にカード状態が変わった • BUSY中に記録しようとした 	停止(STOP)
CANNOT PLAY	クリップの異常などで、再生を停止したときに表示します。 【原因】 <ul style="list-style-type: none"> • クリップがないときに、再生しようとしている • 使えないカードで再生しようとしている • その他の原因で再生を受け付けられない または 再生停止 • BUSY中に再生しようとした 	停止(STOP)

メッセージ表示	内容	デッキ動作
BATTERY NEAR END	バッテリーの電圧が低下しています。 バッテリーを交換するなどしてください。	動作継続
SLOT SEL INVALID	[SLOT SEL]ボタン([USER]ボタンへ割り付け時)を押したときに、P2カードの記録スロット切り替えができないときに表示します。	動作継続
BUSY	クリップ情報を読み込み中や、クリップ構成が変化しているときに表示します。BUSYの表示中は、操作ができません。 【原因】 <ul style="list-style-type: none"> • カード挿抜時 • UPDATING中 • 記録後処理中 • その他 	動作継続
FAN STOPPED	ファンモータが停止したときに表示されます。 表示後、30秒経過後自動で電源がOFFされます。また30秒間はBEEP音が鳴ります。すみやかに使用を中止の上、電源OFFし、販売店にご相談ください。	動作継続
BACKUP BATT EMPTY	電源ON時に内蔵時計のバックアップ電池の電圧低下を検出したときに表示します。 「内蔵時計の電池について」(→24 ページ)を参照してください。	動作継続
REC WARNING <FRAME SIGNAL>	記録中に映像や音声に異常が発生したときに表示します。 一度電源を切ってからご使用ください。 記録中に入力信号が乱れると、乱れた映像を記録しながら、記録は継続されます。本機に入力する信号を確認してください。 信号は正常に戻ると、記録を継続したままでも、映像/音声は正しく記録されます。	継続
TEMPORARY PAUSE IRREGULAR SIG	記録中に映像や音声に異常が発生し、記録を一時停止中に表示します。 信号が正常に戻れば、自動的に記録を再開します。 クリップは分割されます。タイムコードが不連続になる場合があります。 AVC-Gを記録しているときは、記録終了後に一度カードの挿抜を行い、「NG」(黄色)が表示されたクリップの修復を行ってください。	記録一時停止
REC WARNING <OVER MAX# CLIPS>	1枚のP2カードにクリップ総数の上限を超えて記録しようとした場合に表示します。 P2カードを交換するか、不要なクリップを削除してください。 メニュー「FILE SPLIT」(→97 ページ)で「SHORT SPLIT」を選択している場合、1回の記録開始の操作をした時点から、約3.5時間経過後に表示します。記録は停止します。	停止 (STOP)
CARD ERROR <****>	記録中にP2カードが原因でデータ異常が発生したときに表示します。 記録停止後も次の操作を行うまで表示します。 また再生中にP2カードの異常で再生が停止したとき3秒間表示します。 (**は発生したスロット番号マークです) エラーが発生したスロットのP2カードを交換してください。	停止 (STOP)
REC WARNING <REC DATA>	記録中に記録データに異常が発生したときに表示します。 一度電源を切ってからご使用ください。	動作継続または 停止 (STOP)

メッセージ表示	内容	デッキ動作
DIR NG CARD <***>	ディレクトリー配置が不適切です。速やかにカードのバックアップを取り、フォーマット後ご使用ください。 (* *は発生したスロット番号マークです)	動作継続
RUNDOWN CARD <***>	規定の書き替え回数を超えています。P2カードの交換をお勧めいたします。 (* *は発生したスロット番号マークです)	動作継続
SD CARD <***>	SDHC/SDXC メモリーカードがmicroP2メモリーカードスロットに挿入されています。 (* *は発生したスロット番号マークです) 動作は継続しますが、microP2メモリーカードまたはP2メモリーカードへの記録をお勧めします。	動作継続
REC IMPOSSIBLE <***>	SDHC/SDXC メモリーカードがP2カードスロットに挿入されており、現在のシステムモードでは記録できません。 (* *は発生したスロット番号マークです) システムモードを変更(→114 ページ)するか、microP2メモリーカードまたはP2メモリーカードに記録してください。	動作継続
AUTH NG CARD <***>	microP2メモリーカードのCPS 認証に失敗しています。 (* *は発生したスロット番号マークです) CPS 認証に失敗したmicroP2メモリーカードは記録再生できません。 「CPSの手動認証 / 自動認証」(→54 ページ)を参考にして設定を変更してください。	動作継続
STORAGE INTERMITTENT	ストレージデバイスのクリップを再生中にストレージデバイスの性能低下などにより再生に途切れが発生したときに約3秒間表示します。 より性能の高いストレージデバイスを使用してください。	動作継続
PB INTERMITTENT	SDHC/SDXC メモリーカードで再生途切れが発生しています。再生の性能が保障できないカードが挿入されていますので、microP2メモリーカードまたはP2メモリーカードのご利用をお勧めします。	動作継続
PROXY ERROR	動作と原因:プロキシデータの記録は停止しますが、本素材の記録は継続します。	動作継続
PROXY REC WARNING	<ul style="list-style-type: none"> • 電気回路の異常(PROXY ERROR) • プロキシデータの記録異常(PROXY REC WARNING) • プロキシデータの記録異常が発生した場合、記録中のプロキシデータは以下のように処理されます。 <ul style="list-style-type: none"> - P2カードに記録中のプロキシデータは削除されます - SDメモリーカードに記録中のプロキシデータは、削除も修復もされません。 	
SIMUL REC WARNING <***>	サイマル記録中に一方のカードに異常が発生しました>(* *は異常が発生したスロット番号マークです) 異常が発生したカードは記録が停止しますが、もう一方のカードには引き続き記録が継続されます。	動作継続
CHECK SLOT <***>	microP2 メモリーカードをゆっくりと挿入したり、カードの端子が汚れていたりしているなどのため、正常に認識できません。 - 挿入したmicroP2 メモリーカードには記録できません。 - 挿入したmicroP2 メモリーカードを確認してください。 (* *は異常が発生したスロット番号マークです。)	動作継続

メッセージ表示	内容	デッキ動作
LAN ERROR	LANの接続・切断に失敗したときなどに表示します。一度、電源をOFFにしてからご使用ください。 再度このメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	停止 (STOP)
UP LIST #99/100	レックデュアリングアップロード機能のアップロードリストの登録数が99になりました。 あと1つクリップをアップロードリストに登録できます。不要なアップロードリストを削除してください。	動作継続
UP LIST #100/100	レックデュアリングアップロード機能のアップロードリストの登録数が上限に達しました。 さらに追加登録が必要なときは、不要なアップロードリストを削除してください。	動作継続
UP LIST OVER MAX	レックデュアリングアップロード機能のアップロードリストの登録数が上限に達しているため、追加登録ができません。 追加登録が必要なときは不要なアップロードリストを削除してください。	動作継続
INVALID TC MODE	再生時、タイムコードがDFモードで記録されている場合に表示されます。タイムコードのドロップポイントで映像出力が乱れ、音声出力はミュートされます。再生クリップを確認してください。 フレームレートが24Pのクリップを本機で再生する場合、タイムコードはNDFモードで記録されている必要があります。 EE、記録時にHD SDI入力上のタイムコードがDFモードの場合に表示されます。この場合、正常に記録されません。	動作継続
INT SG	メニュー「INPUT SEL」(→103 ページ)で「INT SG」が選択されている場合に、[REC]ボタンを押してEEモードになる開始2秒間表示されます。	動作継続
NO INPUT	「INPUT SEL」によって選択されている端子に入力信号がない場合(アナログオーディオを除く)に、[REC] ボタンを押してEEモードになる開始2秒間表示されます。	動作継続
INVALID INPUT FORMAT	「INPUT SEL」によって選択されている端子の入力信号が受信できない信号の場合に表示されます。入力された信号は、ミュートされます。	動作継続
HDCP EXISTED	HDMI入力を選択しているときにHDCP信号を検出した場合に表示されます。なおHDCP信号を検出した場合は、記録ができません。またSDI/HDMIおよびストリーミング映像も出力されません。	動作継続

サムネールのワーニング情報の表示

項目	メッセージ	内容	対応
サムネール	CANNOT ACCESS!	コンテンツ不良などによりデータへアクセスできません。	メディア、クリップを正常な状態としてからご使用ください。

項目	メッセージ	内容	対応
サム ネール	CANNOT CHANGE!	サムネールが生成できず灰色  になっているテキストメモはサムネールが変更できません。	サムネールが表示できるよう設定やコンテンツを修正してください。
	CANNOT DELETE!	コンテンツバージョンが不整合のため削除できません。	機器とコンテンツのバージョンを合わせてください。
	CANNOT FORMAT!	P2カードなどの問題でフォーマットができません。	P2カードを確認してください。
	CANNOT RE-CONNECT!	またぎクリップではないコンテンツを選択しているなどでクリップの再結合ができません。	選択しているコンテンツを確認してください。
	CANNOT REPAIR IN SELECTION!	選択したクリップの一部が修復できませんでした。	選択しているコンテンツを確認してください。
	CANNOT REPAIR!	修復できないコンテンツを選択しています。	選択しているコンテンツを確認してください。
	CANNOT SAVE! FILE NAME IN USE	既に同じ名前を設定ファイル名がSDメモリーカードに存在します。	別の名前で保存してください。
	CARD FULL!	P2カード、SDメモリーカードが一杯です。	空き領域のあるメディアを挿入してください。
	INVALID VALUE!	入力しようとしたデータ値が不正規です。	正常な範囲のデータを設定してください。
	LACK OF CAPACITY!	カードの記録容量が不足しています。	記録容量が十分あるカードを挿入してください。
	MISSING CLIP!	複数枚のP2カードにまたがって記録されたクリップが全てそろっていないクリップにはショットマークを付けることはできません。	またがって記録された全てのP2カードを挿入してください。
	NO CARD!	P2カード、SDメモリーカードが入っていません。	対応メディアを挿入してください。
	NO FILE!	所定のファイルが存在していません	ファイルを確認してください。
	NO COPY TO SAME CARD!	コピー元とコピー先が同じカードのためコピーできません。	選択しているクリップが入っていないカードへコピーをしてください。
	NO INPUT!	データが入力されていません。	データを入力してから設定をしてください。
	NO SD CARD!	SDメモリーカードがありません。	SDメモリーカードを挿入してください。
	NOT SELECTED!	クリップを選択せずに削除などを行おうとしました。	削除などを行うクリップを選択してください。
	SAME CLIP IS SELECTED!	選択クリップ中に同一クリップ(コピーで複製したものが)が複数個含まれています。	同一クリップ(コピーで複製したものは同時に複数個コピーはできません。同一クリップを選択から外してください。
TOO MANY CLIPS!	選択しているクリップが多すぎます。	選択しているクリップ数を減らしてください。	

項目	メッセージ	内容	対応
サム ネール	UNKNOWN CONTENTS FORMAT!	本機で対応していないバージョンのコンテンツ のワーニングです。	機器とコンテンツのバージョンを合わせてください。
	UNKNOWN DATA!	<ul style="list-style-type: none"> メタデータの文字コードが不正規です。 ファイル内のデータに問題があります。 	<ul style="list-style-type: none"> メタデータの文字コードはUTF-8となっています。 ビューアーなどで正しい文字を入力してください。 再度ファイルを作成しなおしてください。
	USER CLIP NAME MODIFIED!	クリップ名にカウンター値を付加するときに文 字を削除する必要があります。	カウンター付加の設定でユーザークリップ名とカウ ンターは合わせて100バイトまでしか保存できませ んので、文字を自動的に削除します。
	WRITE PROTECTED!	P2カード、SDメモリーカードがライトプロテク トされています。	書き込み可能なメディアを挿入してください。
	CANNOT OPERATE THIS MENU, WHILE "REC DURING UPLOAD" ENABLED.	メニューを実行できません。	「REC DURING UPLOAD」メニューの設定を 「DISABLE」に変更してから 実行してください。
スト レージ	CANNOT ACCESS CARD!	P2カードのアクセス中にエラーが発生しまし た。	P2カードを確認してください。
	CANNOT ACCESS TARGET!	接続先のターゲットのアクセス中にエラーが発 生しました。	ストレージデバイスの状態や接続を確認してくださ い。
	CANNOT COPY! FORMAT STORAGE DEVICE TO FAT	クリップコピー可能なパーティションがスト レージデバイスに存在しないためクリップコ ピーできません。	FAT形式でフォーマットしなおすか、P2カードをエク スポートしてパーティションを作成してください。
	CANNOT FORMAT!	ストレージデバイスのフォーマットができませ ん。	接続しているストレージデバイスを変更してくださ い。
	CANNOT RECOGNIZE STORAGE DEVICE!	ストレージデバイスが正しく認識できません。	ストレージデバイスの電源を入れなおすか、接続する ストレージデバイスを変更してください。
	CANNOT SELECT! MAX.6 PARTITIONS	6パーティションより多いストレージデバイス の選択(同時マウント)はできません。	選択済みパーティションを解除してください。
	CARD IS EMPTY! CANNOT COPY!	コピーするP2カードが空です。	空のカードはコピーする必要がないためコピーを行 いません。
	FORMAT P2 CARD!	クリップの存在するP2カードへはインポートで きません。	P2カードをフォーマットしてください。
	LACK OF CAPACITY!	ストレージデバイスの空き容量が足りません。	空き容量の十分ある新しいストレージデバイスまた はフォーマットしたストレージデバイスを使用してく ださい。
	MISMATCH COMPONENT!	コピー元とコピー先のP2カードの品番が不一致 です。コピーできません。	同一品番のP2カードを使用するか、クリップ単位で インポートしてください。

項目	メッセージ	内容	対応
ストレージ	TOO MANY PARTITIONS!	パーティションが多すぎます。	ストレージデバイスの最大パーティション数は23です。新しいストレージデバイスまたはフォーマットしなおして使用してください。
	UNKNOWN DEVICE CONNECTED!	未対応のDVDドライブなどが接続されています。	接続機器を正しいストレージデバイスに変更後、一度電源をOFFにして、再び電源をONにしてください。
	VERIFICATION FAILED!	コピー後のベリファイ確認が不一致でした。	再度コピーを行ってください。
ソフトウェアキーボード	CANNOT CHANGE!	テキストメモがない状態で入力者を変更しようとしました。	テキストメモを先に入力してください。
	CANNOT SET!	入力された値が異常です。	入力値を変更してください。
	INVALID VALUE!		
AUTHENTICATION ERROR!	手動認証に失敗しました	正しいパスワードを入力してください。	
ネットワーク	CANNOT CONNECT!	ネットワークに接続できません。	LAN設定が正しいか見直して、LANケーブルが正しく接続されているか、お使いのネットワーク環境が機能しているか確認してください。
	CANNOT FIND FTP-SERVER!	接続先のFTPサーバーが見つかりません	FTP CLIENTのURL項目が正しいか確認してください。
	LOGIN FAILED!	接続先のFTPサーバーへのログインに失敗しています。	FTP CLIENTのUSER IDおよびUSER PASSWORD項目が正しいか確認してください。
	PING FAILED!	PINGに失敗しました。	LAN設定およびFTP CLIENTのURL項目が正しいか見直して、LANケーブルが正しく接続されているか、お使いのネットワーク環境が機能しているか確認してください。
	CANNOT ACCESS GATEWAY!	ゲートウェイサーバーにアクセスできません	LAN設定が正しいか見直してください。
	CHECK LAN SETTING	ゲートウェイサーバーにアクセスできません	LAN設定が正しいか見直してください。
	IP ADDRESS IS USED!	設定したIP ADDRESSは他の機器で利用されています。	ネットワーク管理者に相談のうえ、他のIP ADDRESSを設定してください
	INVALID VALUE!	入力しようとしたデータ値が不正規です	正常な範囲のデータを設定してください。
UPLOAD LIST ERROR!	アップロードリストへの追加に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> •「REC DURING UPLOAD」(→105 ページ)を再設定してください。 •アップロードリストが登録可能上限(100)になっていないか確認してください。 	

本機搭載ファームウェアのアップデート

メニュー「SYSTEM」 - 「VERSION」(→115 ページ)で本機のバージョンを確認のうえ、下記のWebサイトのファームウェアに関する最新情報にアクセスし、必要に応じてファームウェアをダウンロードしてください。

アップデートはダウンロードしたファイルを、SDメモリーカードを介して本機にダウンロードすることにより完了します。アップデート方法の詳細については当社Webサイト(→「WebサイトURLについて」2 ページ)をご覧ください。

◆NOTE:

本機で使用するSDメモリーカードは、SD規格、SDHC規格、SDXC規格に準拠したものをお使いください。
また、SDメモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンス などのご相談は、まず、 お買い上げの販売店 へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社(裏表紙)までご連絡ください。

*内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。
万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社では、このメモリーカードポータブルレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年間保有しています。

*補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。

保守・点検(有料)についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

メンテナンス時間の目安と実施項目

下記のメンテナンス実施時間は、標準的な目安として設定しており、部品の寿命時間ではありません。また、使用する環境や使用方法により劣化する時間は異なりますのでお気をつけください。

部品名	数量	定期保守点検と時間
液晶モニター	1	LCD ON 8,000時間ごとに交換
ファン	1	12,000時間ごとに交換
ACアダプター	1	12,000時間ごとに交換

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。


■ ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカードポータブルレコーダー
品番	AJ-PG50
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

総合

電源:	DC(==) 7.28 V(バッテリー使用時)
	DC(==) 12 V(AC アダプター使用時)
消費電力:	21.4 W

 は安全項目です。

動作周囲温度:	0℃～40℃
動作周囲湿度:	10%～80% (結露なし)
保存周囲温度:	-20℃～50℃
質量:	1.1 kg
外形寸法 (幅×高さ×奥行):	108 mm x 85 mm x 217 mm (セット足および端子キャップなど突起部を除く)
記録メディア:	P2メモリーカード、microP2メモリーカード
記録フォーマット:	AVC-Intra200 / AVC-Intra100 / AVC-Intra50 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25 / AVC-LongG12 DVCPRO HD / DVCPRO50 / DVCPRO / DV フォーマット切り替え
プロクシーファイルフォーマット:	MOV(QuickTime形式)
プロクシービデオ圧縮フォーマット:	H.264/AVC Baseline Profile, H.264/AVC High Profile
プロクシーオーディオ:	AAC-LC、リニアPCM
記録ビデオ信号:	1080/59.94p, 1080/50p, 1080/59.94i, 1080/50i, 720/59.94p, 720/50p, 480/59.94i, 480/50i
記録オーディオ信号:	AVC-Intra200 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25: 48 kHz 24 bit 4CH AVC-LongG12: 48kHz 16 bit 4CH AVC-Intra100 / AVC-Intra50: 48 kHz 16 bit 4CH 48 kHz 24 bit 4CH DVCPRO HD: 48 kHz 16 bit 4CH DVCPRO50: 48 kHz 16 bit 4CH DVCPRO / DV: 48 kHz 16 bit 4CH

記録時間:

カード	記録方法(圧縮方式) 59.94 Hz / 50 Hz					
	AVC-Intra200	AVC-Intra100 / DVCPRO HD	AVC-Intra50 / AVC-LongG50 / DVCPRO50	DVCPRO	AVC-LongG25	AVC-LongG12
16 GB×1	約8分	約16分	約32分	約64分	約54分	約108分
32 GB×1	約16分	約32分	約64分	約128分	約110分	約220分
64 GB×1	約32分	約64分	約128分	約256分	約220分	約440分

◆NOTE:

- 1080/59.94p, 1080/50pでは、上記時間の半分になります。
- 上記の時間は、いずれもP2カードに1クリップを連続記録したときのもので、
- 記録するクリップ数によっては、記録できる時間は上記より短くなることがあります。

ビデオ

デジタルビデオ

サンプリング周波数:	AVC-Intra200 / AVC-Intra100 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25 / DVCPRO HD: (59.94 Hz) Y : 74.1758 MHz、P _B /P _R : 37.0879 MHz (50 Hz) Y : 74.2500 MHz、P _B /P _R : 37.1250 MHz
	AVC-Intra100 / AVC-LongG25: (1080/59.94p) Y : 148.3516 MHz、P _B /P _R : 74.1758 MHz (1080/50p) Y : 148.5000 MHz、P _B /P _R : 74.2500 MHz
	DVCPRO50: Y:13.5 MHz、P _B /P _R : 6.75 MHz
	DVCPRO: Y: 13.5 MHz、P _B /P _R : 3.375 MHz
量子化:	AVC-Intra200 / AVC-Intra100 / AVC-Intra50 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25: 10 bit AVC-LongG12 / DVCPRO HD / DVCPRO50 / DVCPRO / DV: 8 bit
ビデオ圧縮方式:	AVC-Intra200 / AVC-Intra100 / AVC-Intra50: MPEG-4 AVC / H.264 Intra Profile AVC-LongG50 / AVC-LongG25 / AVC-LongG12: MPEG-4 AVC / H.264 High Profile DVCPRO HD: DV-Based Compression (SMPTE ST 370)
カラーサンプリング:	AVC-Intra200 / AVC-Intra100 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25: Y : P _B : P _R = 4 : 2 : 2
解像度:	AVC-Intra100 / AVC-LongG25 / AVC-LongG12: 1920 × 1080 (1080/59.94p、1080/50p) AVC-Intra200 / AVC-Intra100 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25 / AVC-LongG12: 1920 × 1080 (1080/59.94i、1080/50i) 1280 × 720 (720/59.94p、720/50p) AVC-Intra50: 1440 × 1080 (1080/59.94i、1080/50i) 960 × 720 (720/59.94p、720/50p)

ビデオ入力信号

SDI入力:	BNC×1
HDMI入力:	HDMI×1 (HDMI TYPE A端子)、(ビエラリンク非対応、HDCP対応)

ビデオ出力信号

SDI出力(HD/SD切り替え式):	BNC×1
HDMI出力:	HDMI×1 (HDMI TYPE A端子)、(ビエラリンク非対応)

◆NOTE:

「VIDEO」 - 「INPUT SEL」で「HDMI」を選択した場合、HDMI出力端子からは映像・音声等の信号は出力されません。

オーディオ

デジタルオーディオ

サンプリング周波数:	48 kHz (ビデオに同期)
量子化:	16 bit (AVC-LongG12 / DVCPRO HD / DVCPRO50 / DVCPRO / DV) 16 bit / 24 bit切り替え可能 (AVC-Intra100 / AVC-Intra50) 24 bit (AVC-Intra200 / AVC-LongG50 / AVC-LongG25)
ヘッドルーム:	12 dB / 18 dB / 20 dB (切り替え可能)
ディエンファシス:	T1=50 μ s, T2=15 μ s (ON / OFF自動切り替え)

オーディオ入力信号

アナログ入力(CH1, CH2):	XLR×2
SDI入力:	BNC×1
HDMI入力:	2 CH(リニアPCM), 16 bit

オーディオ出力信号

SDI出力:	BNC×1
アナログ出力 (モニター(L/R)):	ステレオミニジャック (3.5 mm径)
ヘッドホン出力:	ステレオミニジャック (3.5 mm径)、レベル可変
HDMI出力:	2 CH (リニアPCM)、16 bit
内蔵スピーカー:	丸型×1 (モノラル)

その他入出力

タイムコード入力:	BNC×1, 0.5 V[p-p]~8.0 V[p-p], 10 k Ω
LAN:	RJ-45×1, 100BASE-TX / 10BASE-T
USBホスト:	USB3.0 HOST (TYPE A)×1
USBデバイス:	USB2.0 DEVICE (TYPE B)×1

ACアダプター

定格入力: AC(～) 100 V-240 V, 50 Hz/60 Hz, 1.2 A
定格出力: DC(=) 12 V, 3.0 A

は安全項目です。

動作周囲温度:	0 °C ~ 40 °C
動作周囲湿度:	10% ~ 90% (相対湿度、結露なし)
質量:	約225 g
外形寸法(幅×高さ×奥行):	115 mm × 37 mm × 57 mm (DCコード部を除く)

バッテリーチャージャー

入力電圧: DC(==)12 V、3.0 A
出力電圧: DC(==) 8.4 V、4.0 A

は安全項目です。

充電電流:	最大4,000 mA
動作周囲湿度:	10%～80% (相対湿度、結露なし)
質量:	約230 g
外形寸法(幅×高さ×奥行):	130 mm × 48 mm × 107 mm

バッテリーパック

電圧: DC(==)7.28 V
容量: 5900 mAh、43 Wh

は安全項目です。

さくいん

■ 数字			
1 クリップ再生	37, 45		
3G-SDI OUT	104		
4:3 MARKER	108		
4G/LTE	65, 68		
4G/LTE PROPERTY	107		
■ A			
ACCOUNT LIST	105		
AC アダプター	10, 22		
ANALOG AUDIO IN 端子	16		
APN	107		
AREA SETTING	115		
AUDIO	104		
AUDIO LABEL-PB ボタン	13		
AUDIO LEVEL-REC ボタン	13		
AUDIO OUT 端子	16		
AUDIO SMPL RES	114		
AUTHENTICATE	93		
AUTO POWER OFF	102		
AUTO REC	31, 96		
AUTO UPLOAD	105		
AV PHASE	114		
■ B			
B CONTRAST	109		
BACKLIGHT	109		
BAND	107		
BASIC	102		
BEEP	102		
BRIGHTNESS	109		
■ C			
CANCEL ボタン	14		
CARD SERIAL	101		
CARD STATUS	91		
CC REC	97		
CC(F1) BLANK	97		
CC(F2) BLANK	97		
CHANGE PARTITION NAME	93		
CHANNEL (2.4GHz)	107		
CHANNEL (5GHz)	107		
CHARA V POSI	109		
CLIP	91		
CLIP PROPERTY	91		
CLOCK	24, 102		
CODEC USAGE	98		
COLOR LEVEL	109		
CONT. REC	96		
Content Protection System	26		
CONTRAST	109		
COPY	92		
COUNTER ボタン	13		
CPS	26, 54		
自動認証	55		
手動認証	54		
CPS PASSWORD	91		
CTL	86		
CTL DISPLAY	99		
■ D			
DATA DISPLAY	93		
DC IN 端子	18		
DEFAULT GATEWAY	107		
DELETE	92		
DELETE FOLDER	93		
DELETE LAST PARTITION	93		
DF MODE	100		
DHCP	106, 107		
DHCP SERVER	107		
DIAG ボタン	14		
DIAL NO.	107		
DIRECT モード	66		
DISPLAY	108		
DISPLAY ボタン	13		
DOWNCON MODE	104		
DUAL CODEC SETUP	98		
■ E			
EDH(SD)	103		
EJECT ボタン	15		
ENCRYPT KEY	107		
ENCRYPTION	107		
EXCH. THUMBNAIL	92		
EXIT ボタン	14		
EXPLORE	92		
EXPORT	92		
EXT TC SEL	99		
■ F			
FAN	18, 115		
FF.REW MAX	97		
FF ボタン	14		
FILE	111		
FILE SPLIT	97		
FORMAT	92		
FORMAT SD CARD	111		
FORMAT(STORAGE)	92		
FREE CAP. OF PARTITION	91		
FTP CLIENT SERVICE	105		
FTP エクスプローラー画面	73		
FTP クライアント	70, 73		
FTP サーバー			
インポート	78		
エクスポート	77		
書き戻し	76		
転送	75		
フォルダ一覧	73		
FTP サムネール画面	74		
■ G			
G CONTRAST	109		
GPS	114		
GUI OUTPUT	108		
■ H			
HD / SD - SDI IN / OUT 端子	17		
HD EMBD LTC	100		
HD EMBD VITC	100		
HDMI IN 端子	16		
HDMI OUT FORMAT	104		
HDMI OUT 端子	16		
HOURS METER	115		
HTTP SERVER	105		
■ I			
I/F SETUP	102		
IMPORT	92		
INDICATOR	93		

INFORMATION SEL	94	P2 メモリーカードスロット	15
INFRA モード	67	PASSWORD	107
INITIALIZE	72, 101, 108, 112	PAUSE ボタン	14
INPUT CH1 LEVEL	104	PB POSITION	93
INPUT CH2 LEVEL	104	PHONES (ヘッドホン) 端子	16
INPUT SEL	103, 104	PING	72, 108
INT LOCK MODE	115	PLAY ボタン	14
INT SG	103	POWER ON GUI	102
IP ADDRESS	107	PREV ボタン	14
K		PRIMARY DNS	107
KEYBOARD	102	PROPERTY	91, 101
L		PROPERTY DISP.	94
LAN PROPERTY	106	PROXY REC MODE	98
LANGUAGE	101	Q	
LAN 端子	16	QoS MAX RATE	98
LCD	115	QoS MIN RATE	98
LCD MONITOR	109	R	
LCD REVERSE	109	R CONTRAST	109
LINE&FREQ	114	REC DURING UPLOAD	105
LOAD	101, 111	REC FORMAT	114
LOAD (SD CARD)	105, 106	REC MEDIA	97
LOAD FACTORY DATA	112	REC META DATA	101
LOAD USER DATA	111	REC/PB	96
LOG DISPLAY	108	REC/PB FUNCTION	96
LOGIN PASSWORD	105	REC/PB SETUP	97
LOGIN USER	105	RE-CONNECT	92
LOOP REC	31	RECORD	101
M		RECORDING	96
MAC ADDRESS	106	REC ボタン	14
MENU ボタン	14	REF LEVEL	104
microP2 メモリーカードアクセスランプ	15	REMAIN SETUP	91
microP2 メモリーカードスロット	15	REPAIR	92
MODEL NAME	115	REPEAT PLAY	96
MODE ボタン	13	REPOSITION	91
MONITOR CH	104	RESET ボタン	13
N		REW ボタン	14
NETWORK	41, 105	RTSP PORT	106
NETWORK FUNC	105	RUN MODE	99
NETWORK ID	115	S	
NETWORK SEL	105	SAVE	111
NETWORK TOOLS	108	SAVE (SD CARD)	105
NEXT ボタン	14	SAVE AS	111
O		SAVE LOG (SD CARD)	106
OPERATION	115	SAVE USER DATA	112
OPTION MENU	115	SD / SDHC / SDXC メモリーカードスロット	16
OSD GRADE	108	アクセスランプ	16
OSD OUTPUT	108	SD CARD	91
OSD TC SELECT	108	SD CARD PROPERTY	111
OSD 表示	83	SDHC メモリーカード	28
OUTPUT FORMAT	103	SDXC メモリーカード	28
P		SD メモリーカード	28, 77
P.OFF GPS DATA	115	フォーマット	53
P.ON TIMES	115	SECONDARY DNS	107
P.only インジケーター	42	SEEK POS SEL	97
P2 ブラウズ	71	SERIAL NO.	115
P2 プレイリスト	82	SERVER ADDR.	106
P2 カード	25	SERVER URL	105
アクセスランプ	25	SETTING DATA	105, 106
記録時間	25	SETUP DATA (SD CARD)	111
記録データの取り扱い	27	SET ボタン	14
状態確認	53	SG MOVE	103
フォーマット	53	SHIFT ボタン	14
P2 メモリーカードアクセスランプ	15	SHUTTLE MAX	97

SIMUL REC	31, 96
SORT	94
SPEAKER OUT	104
SSH	105
SSH PORT	105
SSID	106
SSID INPUT MODE	106
START TRIGGER	106
STATUS DISPLAY	108
STOP ボタン	14
STORAGE COPY SETUP	95
STREAMING	106
STREAMING LATENCY	99
STREAMING MODE	98
STREAMING SETTING	106
SUBNET MASK	107
SYSTEM	114
SYSTEM MODE	114
SYSTEM SETUP	114
T	
TC PRESET ボタン	14
TC/UB/CTL	99
TCG MODE	99
TEXT MEMO IND	94
THUMBNAIL INFO.	94
THUMBNAIL SETUP	93
THUMBNAIL SIZE	93
THUMBNAIL ボタン	14
TIME CODE IN 端子	17
TIME OUT	109
TOP/BOTTOM ボタン	14
TYPE	106
U	
UBG MODE	99
UID	115
USB HOST 端子	56
USB2.0 デバイス端子	16
USB3.0 HOST 端子	16
USB3.0 TYPE A	16
USB キーボード	117
USB デバイス	81
USER	110
USER 1-3・4-6 ボタン	14
USER ACCOUNT	105
USER BUTTON	110
USER CLIP NAME	51, 101
USER ID	107
V	
VERIFY	95
VERSION	115
VIDEO	103
VITC BLANK	100
VITC GEN	99
VITC POS-1	100
VITC POS-2	100
W	
WFM	85
WFM POS1	108
WFM TYPE	108
WIDE SEL	103
WIRELESS PROPERTY	106

あ	
アクセスランプ	
microP2 メモリーカード	15, 25
P2 メモリーカード	15, 25
SD / SDHC / SDXC メモリーカード	16
アップデート	127
い	
インポート	
FTP サーバー	78
ストレージデバイス	63
う	
ウェブフォームモニター表示	85
え	
エクスプロア	
FTP サーバー	73
ストレージデバイス	59
エクスポート	
FTP サーバー	77
ストレージデバイス	58
エディットコピーインジケータ	41
エラーコード	120
お	
お手入れ	118
か	
カーソル操作ボタン	14
カード残量	54, 83
カードシリアル番号	51
カードスロット	41
microP2 メモリーカード	15
P2 メモリーカード	15
SD / SDHC / SDXC メモリーカード	16
外部モード	87
カウンター値	51
可変速再生	36
き	
キーボード	117
記録	
クリップ	30
記録音声レベル調整	30
記録時間	25
記録スロットの変更	30
く	
クリップ	
送り/戻し	38
可変速再生	36
記録	30
コピー	47
コマ送り再生	37
再生	36, 44
削除	48, 62, 75
修復	48
選択	46
単一クリップ再生	37
リピート再生	38
連結	48
クリップの分割	26
クリップメタデータ	
表示	49
付加	51
変更	50
け	
結露	118
こ	
コピー	
クリップ	47
ストレージデバイス	59

コマ送り再生	37, 45
さ	
再生	
クリップ	36, 44
テキストメモ	45
再生音声レベル調整	36
再生時間	20
再生不可インジケータ	42
サムネール	39
FTP サーバー	74
各部の名称とはたらき	40
ストレージデバイス	61
表示	39
表示の変更	43
変更	50
ワーニング情報	123
し	
時刻	24
自動電源オフ	23
充電時間	20
初期化	
ネットワーク設定	72
ショットマーク	47
ショットマークインジケータ	41
す	
ストリーミング機能	33
ストレージデバイス	41, 56
情報表示	59
インポート	63
エクスポート	58
コピー	59
接続	57
フォーマット	57
スピーカー	15
せ	
接続ログ表示	72
た	
ダイアグ表示	85
タイムコード	86
タイムゾーン	24
単一クリップ再生	37, 45
て	
データ	
保存・読み込み	112
定格	129
テキストメモ	46
送り/戻し	38
削除	46
テキストメモインジケータ	41
デッキ情報表示	85
デュアルコーデック（プロキシ）記録	32
テンキーボード	117
電源	19, 23
電源ボタン	13
電源ランプ	13
と	
時計	24
ドライバー	12
に	
入力/出力対応フォーマット一覧	116
ね	
ネットワーク機能	71
ネットワーク接続	64

ネットワーク設定	66
FTP クライアント	70
有線 LAN	69
ワイヤレス LAN	66
ネットワーク設定の初期化	72
ネットワークの状態	84
年月日	24
は	
バッテリー	10, 21
バッテリー残量	42, 84
バッテリー装着部	17
バッテリーの充電	19
バッテリーロック解除ボタン	17
ふ	
ファームウェア	127
ファン	18
フォーマット	
P2 カード	53
SD メモリーカード	53
ストレージデバイス	57
不完全クリップインジケータ	41
付属品	12
不明クリップインジケータ	41
不良クリップインジケータ	41
フルキーボード	117
プロキシインジケータ	41
プロキシデータ	32
へ	
ヘッドホンジャック	16
別売品	12
ほ	
保管	118
ホットスワップ記録	31
め	
メインモード	30
メタデータアップロードファイル	51, 52
メニュー	
構成	89
操作	88
も	
モード	
P2 プレイリスト編集モード	82
USB デバイスモード	81
メインモード	30
モニター音量調整ボタン	14
ゆ	
ユーザーズビット	86
有線 LAN	65, 69
り	
リピート再生	38
れ	
レックデュアリングアップロード機能	78
レックデュアリングアップロード状態インジケータ	42
ろ	
録再画面	30
わ	
ワーニング情報	120
サムネール	123
ワーニング内容	119
ワイドインジケータ	41
ワイヤレス LAN	66

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ 0120-872-233

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2014-2022